2010









CSR報告書 **CSR REPORT**

これまで、社員とその家族を対象におこなってきた、 食や農について考える農業体験イベントを、 2009年からは、お客様やお取引先様と共同でおこないました。 ステークホルダーとの関わりを広げていくことも、 持続可能な社会構築に向けた貢献の一つと考えています。

We extend the target for our clients and partners to attendee of agricultural activities. We suppose that increasing the number of stake-holders is one of the contributions for sustainable social.



昨年まで当報告書は、日本語と英語の併記で編集しておりましたが、字が小さく、読みにくいとのご指摘を受け、今年は別ページで編集をいたしました。日本語: P.1~58、英語: P.59~116 We edited this report in Japanese and English without same page for keep the readability from this one. Japanese : P.1~58, English : P.59~116

会社概要

会社名:株式会社リヴァックス		
所 在 地 :兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番16号		
設 立: 1974年(昭和49年)3月26日		
代 表 者:代表取締役社長 赤澤 健一		
資本金 :8,100万円		
従業員数:35名(2010年3月末現在) ※うちアルバイト1名含む		
売 上 高:13億426万円(2010年3月期)		
主な事業内容:産業廃棄物の収集運搬 中間処理(破砕・乾燥) 特別管理産業廃棄物の収集運搬 廃棄物の総合リサイクル事業 環境コンサルテーション		
 グループ会社:株式会社大栄 (一般廃棄物処理業(西宮市)) :株式会社大協 (一般廃棄物処理業(伊丹市)) ※グループ会社は事業ドメインが違うため、当報告書の対象外としています。 各社で個別の報告書を発行しています。詳細はURLを参照ください。 http://www.daiei.gr.jp/ http://www.d-aikyo.co.jp/ 		

編集方針

方針:国際標準化機構で策定中の「社会的責任に関す るガイダンス(ISO26000)」を参考にして、本報告書 は編集しました。ガイダンスの中核課題である、①組 織統治、②人権、③労働慣行、④環境、⑤公正な業務 履行、⑥消費者課題、⑦コミュニティ参画及び開発、 の7項目を整理し、「組織統治・公正な業務履行」「環 境」「人権・労働慣行」「コミュニティ参画及び開発・消 費者課題」の4項目で編集しました。

また、国際化する社会環境に対応して、日本語圏以 外の皆様にも当社の取組を知っていただきたく、日本 語と英語を併載しています。

対象組織 株式会社リヴァックス 全社

対象期間

2009年度(2009年4月~2010年3月) ※活動内容に一部、2010年度を含みます。

発行日

2010年10月(前回:2009年10月、次回:2011年10月) ※当報告書中の肩書は当時のものを掲載しています。

対象分野

弊社の事業活動に関する、環境的側面・社会的側面・経 済的側面について、報告いたします。

参考ガイドライン

- ・GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン」 (2006年版)
- ・環境省「環境報告ガイドライン」(2007年版)

2009年度の受賞

「第13回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」 サステナビリティ報告書賞 優良賞 (主催:東洋経済新報社、グリーンリポーティングフォーラム)

「第6回エコプロダクツ大賞」エコサービス部門 エコプロダクツ大賞審査委員長特別賞(奨励賞) (主催:エコプロダクツ大賞推進協議会)

過去の受賞歴

2006年度「第10回環境報告書賞・サステナビリティ 報告書賞| 環境報告書賞 中小企業賞 (主催:東洋経済新報社、グリーンリポーティングフォーラム)

2006年度「第10回環境コミュニケーション大賞」 環境報告書部門奨励賞 (主催:環境省、財団法人 地球・人間環境フォーラム)

2006年度「第4回パートナーシップ大賞」グランプリ (主催:特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター)

2007年度「第11回環境コミュニケーション大賞」 環境報告書部門 奨励賞 (主催:環境省、財団法人 地球・人間環境フォーラム)

2008年度「第7回日本環境経営大賞」 環境経営部門 環境経営優秀賞 (主催:三重県、日本環境経営大賞表彰委員会)

目次

■会社概要・編集方針	1
■受賞歴・目次 ————————————————————————————————————	2
■ご挨拶	3

ページ

組織統治・公正な業務履行

■リヴァックスの事業活動 ────	5
■ CSRの考え方 ————	7
■ミッション・理念 ――	8
■経営計画	9
■組織統治	—— 12
■目標と実績	—— 15
■情報開示	20

環 境

■環境	22
■廃棄物フロー	23
■産業廃棄物のリサイクル ―――	25
■マテリアルバランス ――	26
■業務活動での取り組み	27
■オフィスでの取り組み ――	28
■環境負荷の低減	29

人権・労働慣行

■労働安全衛生	31
■教育	34
■人事制度	35

コミュニティ参画及び開発・消費者課題

■コミュニケーション ────	41
■ 適正処理	47
■苦情・事故	50

■第三者委員会 ------- 53

- ■GRIガイドライン対照表 —— - 57 ------ 58
- ■アンケート集計結果 ――



株式会社リヴァックス _{代表取締役社長} 赤洋澤 健 -

「ご報告」

2009年10月1日社名を『大栄サービス株式会社』から『株式会社リヴァックス(REVACS Corporation)』に変更しました。 2009年春、誰にどのような価値を提供するのかを、より明確にするために「ミッション」「経営理念」「ビジョン」「行動指 針」の体系を定めました。この目指すべき方向を更にステークホルダーの皆さまに宣言するべく、『REVACS』という社名に 想いをこめ変更することに致しました。

『REVACS』という社名の意味ですが、弊社の事業における重要なキーワードとして『Re』があります。Reduce, Reuse, Recycleの"3R"はもちろんのこと、その他にResource, Reverse, Restructureなどをキーワードとして、弊社はお客さまの ニーズから新たな事業機会を見出し、枠組みを越えて再構築、事業化する取り組みをおこなってきました。

そして今後も取り組みを続けて行く事業の方向は、Equity(公明正大)なEnterprise(事業)で、Economy(経済的)で Ecology(環境配慮)なEnergy(エネルギー・活力)を社会に供給することです。

その結果として、社会やお客さまがValue(価値ある)と感じるものをMax(最大限)にすることであると考え、その活動を 通じてCommunity(社会)とCustomer(お客さま)にSatisfaction (満足)を提供し続ける存在でありたいと考えます。 この機会を新たな創業と位置付け、ミッションの実現に向けてひとつずつ取り組んでゆく所存です。

「はじめに」

弊社は1960年代より産業廃棄物の処理を手がけてきた経験を生かし、お客様(排出事業者)への「発生抑制」「再使用」「再 資源化」「適正処理」というサービスを通じ、地球環境の保全並びに循環型社会の構築へのお手伝いと企業市民として地域社会 への貢献の取り組みを、ご縁を頂いております皆様に広くご理解いただきたいという気持ちで、第9冊目となります「CSR報告書 2010」をお届けいたします。

「自らの事業が社会に与える責任の自覚」

産業廃棄物処理施設は産業界の社会的基盤ですが、万が一事故などが発生した場合は、大きな環境負荷を与える可能性があ ります。「事故は最大の環境負荷(破壊)」であることを認識し、継続的に環境に与える負荷を低減する取り組みと共に、適切な 施設運営・管理と事故発生の未然防止を目的に環境マネジメントシステム(ISO14001)と労働安全衛生マネジメントシステム (OHSAS18001)を統合マネジメントシステムとして運用しております。

「自らの事業で社会を担う責任の自覚」

産業廃棄物のリサイクル・処理事業は、お客様(排出事業者)のご協力のもと引き続き高いリサイクル率が達成されております。 「NPO法人 こども環境活動支援協会(LEAF)」との連携を中心に、地域企業や市民の皆さんとの協働による環境学習出前授業への参加、小中学校園からの教員や生徒さん、海外研修生の受け入れなど各種事業への取り組みは地域社会への責任と貢献として例年通り続けております。

そしてリヴァックスにおいて最も重要な資産である「弊社のお客さまのために働く人たち(パートナー)」が「安心して働き、実力 を発揮できる職場づくり」は引き続き目指して参ります。

「本業を通じた社会への貢献」

「自らの事業が社会に与える責任の自覚」と「自らの事業で社会を担う責任の自覚」のいずれも真摯に受け止め、さらに持続 可能な社会形成に大きな責任があることを自覚し、『循環型』の事業の特性を活かした産業界への貢献、行政・地域社会・NPO など様々な関係者との連携、情報の開示への取り組みを通じ広く社会の安心・信頼を得る事業者としてパートナー共々取り組 んで参ります。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

「ーおわりにーインターンシップの皆さんと一緒に作った報告書」

本報告書は学生団体「EPSA」を通じて受け入れたインターンシップ生の片桐 理沙さん、山中 潤さんに作成のお手伝いいただきました。弊社担当スタッフ顔負けの活躍ぶりでしたが、お読みいただいた感想は如何だったでしょうか。このたびの経験が、ご両名の貴重な学びとなることを祈念しております。

尚、本年度も英文を含み全て弊社スタッフによる手作りとなっておりますので、稚拙な内容、言葉足らずの部分など至らぬ点 多々あるかと存じますが、ご容赦頂きますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本報告書を一生懸命作成してくれました弊社スタッフ並びにインターンシップ生の片桐さん、山中さんご両名のためにも、忌憚ないご意見などいただきますよう、併せてお願い申し上げます。

●●●●●●●●● 制作スタッフの声 ●●●●●●●●●●



株式会社リヴァックス CSR 推進室 谷口 理保



インターンシップ生 大阪大学 2年生 **片桐 理沙**



インターンシップ生大阪大学 2年生 山中 潤 今年度の報告書の作成にあたって、弊社が何を考え、この一年間で何をしてきたかとい うことを積極的に載せることで、読む方に弊社のことをより理解していただくことを目的 としました。そのため、今年は、より多くの方に理解してもらうことに重点を置き、できる だけ容易な言葉使いを心がけ、読みやすくなるよう日本語と英語を別ページにし、文字の 大きさを大きくいたしました。

そして、本年は、インターンシップ生を受け入れたこともあり、彼女たちにはインタビュー 記事の作成を中心に、製作過程における多くのお手伝いをしていただきました。

本報告書だけでは伝えきれてないことも多々あるかと思いますが、是非ともご高覧賜り、 忌憚のないご意見を賜れましたら幸甚でございます。

開放的なオフィスで、部署や役職を越えてフランクな人間関係ができ上がっている様子 が印象的でした。

目新しいものばかりで、当初長そうだ…と感じた5ヶ月間のインターンシップは、実際には あっという間に過ぎてしまいました。

CSR報告書の作成過程には、自分の能力の限界に突き当たって、何度もへこたれそうになりましたが、その分思い入れのある作品に仕上がりました。

リヴァックスの魅力が、ぎゅっと詰まった内容になっています。

インターンシップが始まった当初は、パソコンでおこなう作業や社会人の方と話すこと、 また自分に任された仕事の責任感に慣れず苦労しましたが、社員の方の気遣いや、リヴァッ クスが持つ明るい雰囲気のおかげで次第に慣れ、良い意味で緊張感を持ちながら、しかし 楽しく、さまざまなことを学ぶことが出来ました。

またCSR報告書の作成に関して、 リヴァックスの情報開示に対する真摯な姿勢や社会 的責任活動に対する熱心さにとても感銘を受けました。

今、自分のコミュニケーション能力や文章力の無さに嘆きながら苦労して作ったものが こうして形になり、非常に嬉しく、達成感を感じています。

リヴァックスの事業活動

事業フロー

リヴァックスでは、主に製造業から排出される産業廃棄物の収集運搬、中間処理(乾燥・破砕・分離)、処理先への 運搬までの一連の業務を行っています。



収集運搬

産業廃棄物の形状は液体や固体など、その性状は様々あります。その廃棄物の種類やお客様の事業形態に合わせて 車両を選び、安全で確実な収集運搬を行います。



▲脱着装置付きコンテナ車



▲高圧吸引車



▲平ボディ車

脱着装置付きコンテナ車	11台
高圧吸引車	3台
平ボディ車	1台

積替保管

産業廃棄物の処理を円滑に行うため、積替保管施設を保有しています。

◇リバース・マネジメントセンター

保管容積	735 m ²	
許可品目	汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
設置年月日	平成20年(2008年)3月11日	

◇破砕棟内の保管ヤード

保管容積	221 m ²
許可品目	廃油、燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、 ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、 ばいじん
設置年月日	平成18年(2006年)2月10日



11111 11111

環 境

コミュニティ参画及び開発・消費者課題

破砕処理

廃プラスチック類などの固形廃棄物を破砕・選別し、減容化します。

処理能力	50トン/日(8 時間) ※授権処理能力 94 トン/日	
許可品目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	
設置年月日	平成18年(2006年)2月10日	

乾燥処理

▲ 有機性廃棄物

食品工場などから排出される有機性廃棄物を乾燥処理し、お客様のご要望によって、肥料化やバイオソリッド燃料に 再資源化しています。バイオソリッド燃料は、製紙・セメント工場などでボイラー燃料として利用できます。

※バイオソリッド燃料とは、バイオマス燃料の一種で有機性汚泥等を原料とした燃料です。燃焼しても CO2 の発生がカウ ントされないカーボンニュートラルという性質があります。(熱量:18.8MJ/kg)

■当事業は兵庫県の推進している「ひょうごバイオマス ecoモデル」の第 35 号として認定され ました。兵庫県では、バイオマスの利活用を推進するため、先導的にバイオマスを利活用している 取組を「ひょうごバイオマス eco モデル」として登録し、それらの取組内容を積極的にPR 等する ことにより、県下におけるバイオマス利活用の推進を図っています。

▲ 乾燥施設



肥料化 肥料の原料として利用

バイオソリッド燃料

製紙・セメント工場などの ボイラー燃料として利用



CSRの考え方

下の図は、当社が考えるCSR(企業の社会的責任)に 基づいた行動を表したものです。

企業の社会的責任とは、企業が社会にとって必要な 存在となり、社会が企業の評価をし、社会と企業が共に お互いの持続性を考えながら取り組んでいくことでは ないかと考えています。

リヴァックスでは、経営理念・ミッションなどの根本的 な考え方を基に、社会の変化やニーズを取り込み、経営 計画や事業計画を策定し、事業活動を行います。企業 が事業を行う以上は、利益を追求する責任が発生しま すが、単に利益だけにとらわれては、企業は存続する ことが困難になります。事業活動は、イノベーションを 通じて効率化を進めるとともに、公正性(特に遵法性 と透明性)を保つことが重要だと考えます。 そして、社会性の側面では、当社の事業内容や考え方 を広く知っていただくために、HPなどのコミュニケーション ツールを通じて、積極的に情報を開示しています。また、 取り組みが独善的にならないように、ステークホルダー と直接対話を行い、当社を評価いただく第三者委員会 を開催しています。第三者委員会でいただいた様々な 意見は、事業内容や取り組みに活かして次のステージ を目指しています。

この事業性の側面と社会性の側面との呼応の中で、 本業を通じた社会貢献が行われ、持続可能な社会の 構築へとつながっていくものだと思います。

また、これらの一連の流れは、個人と組織そのものの 成長によって、さらに拡大・拡充されていくものである と思っております。



ミッション・理念

事業を行う上で、根幹となる考え方が当社のミッション・理念・ビジョンであり、それらを達成するためにパートナーへ 求める人材像を行動指針として定めています。

※パートナー:社員並びに従業員等当社のお客様のために一緒に働く全ての人たち

ミッション

全てのステークホルダーから安心・信頼される廃棄物処 理サービスを通じて、パートナー、お客様、社会の利益と繁 栄に貢献すると共に、持続可能な社会の構築を目指します。

経営理念

1. パートナーへの貢献

パートナーが仕事にやりがいを持ち、自己の価値観を 実現し、実り豊かな人生を享受するため、事業で得た 利益を還元します。そのためには多様なメンバーが存 在する価値を認め、安心して働ける職場づくり事業運営 を行うと共に、パートナーの成長が絶対に必要であること を認識し、"学びの機会"と"活躍の機会"を提供します。

2. お客様への貢献

お客様へ常に公正で利益あるプランを提供するために、 社会から必要とされる施設(ハード)とパートナー(ソフト) による最適なビジネスモデルを確立します。

3. 社会への貢献

事業が社会に与える責任と担える責任を自覚し、持続 可能な社会の構築の一翼を担う企業市民として社会に 必要とされ、社会に信頼される活動を常に心掛けます。



ビジョン

日本で一番遵法性と透明性の高いビジネスを目指します。 廃棄物を資源化(中間処理)し、社会(市場)に供給する『資源 供給会社』を目指します。

行動指針

1. 責任とプライドを持って仕事に取り組む

お客様から報酬をもらっている自覚を持ち、常にお 客様に満足いただける結果(成果)を残せるよう高い プライドを持ちながら仕事に対して真摯に取り組む。

2. 自主性と協調性のバランスをとる

「今、自分が何をすべきかを自ら考えて実践する」と いう自主性と、「みんなのために考え、協力して物事 に取り組む」という協調性のバランスをとる。

3. 前向きにチャレンジする

現状に満足せず、前向きに新しいことにチャレンジ し続け、「仕事を真剣に取り組むからこそ楽しい (面白い)」という姿勢で取り組む。

4. どんな状況にも適応する(適者生存≠弱肉強食)

変化に敏感であり、過去の成功や失敗、慣習に囚われ ず、様々あるいは困難な状況でも適応する努力をし 続ける。

5. 適正な利益を確保する

われわれが責任を負う人びとの期待に応えるため、 且つ事業基盤の確立と将来の繁栄のためには適正な 利益の確保が不可欠であることを認識する。

経営計画

長期的なビジョン達成のため、3ヶ年ごとに中期経営 計画を策定し、実行しています。中期経営計画は、ミッ ション・経営理念を達成するため、外部環境と内部環 境を考慮した上で作成しています。

また、経営理念やビジョン、環境・労働安全衛生方針の 全ての整合性をとりながら、各部門の取り組みに反映 して、実行しています。

なお、2010年3月の第五次中期経営計画の終了に 伴い、4月より第六次中期経営計画を策定し、スタート いたしました。



第五次中期経営計画の振り返り

第五次中期経営計画に基づいて、様々な活動に取組んできました。

活動項目	成果	今後の課題
差別化の強化	・有機性廃棄物の乾燥処理によるBSF化(燃料化) ・廃棄される容器入り飲料のリサイクル ・液状廃棄物の食品リサイクル法に準拠したリサイクル	・商品としてのBSFの販売ができませんでした。 今後は販売できるよう引き続き努力してまいります。
情報開示·説明責任	・CSR報告書発行部数の増加 2007年度 3,000部 → 2009年度 5,000部 第五次中期経営計画スタート年度から終了年度では、 1.5倍以上の部数を発行することができました。	・アンケートにて、読みにくい等のご意見をいただきま した。今後とも皆様の声を参考にさせていただき読み やすい報告書を目指してまいります。
収益率の向上	・2009年度黒字化達成 (詳細はP.11参照)	・施設の安定稼動 ・省エネ化の推進によるエネルギーコストの削減
基盤強化	・一人当たりの生産性が2008年度比25%向上 ・2008年度にISO、OHSAS統合マネジメントの認証取得	・財務基盤の改善

第六次中期経営計画の位置付け



コミュニティ参画及び開発・消費者課題

第六次中期経営計画

廃棄物資源化の推進の動きや、地球温暖化対策への関心の高まり、そして、世界的大不況に端を発したデフレーションという外部環境にあり、特に製造業のお客様においては、さまざまな変化への対応が求められているのではないかと思います。そのお客様に対して、当社ではお客様への貢献として何ができるのかを考えて、第 六次中期経営計画を策定いたしました。そして、第七次中期経営計画で資源供給会社を目指すにあたり、第六次では、新エネルギー創出のための設備計画をおこないます。

全社方針

全てのステークホルダーから安心・信頼される事業活動 お客様が満足できるコストパフォーマンスの高いサービスの提供

経営計画概要

項目	目標	具体的活動
		・営業、運搬、中間処理、スタッフ部門、それぞれが全体最適に向け た継続的な生産性の向上
財務基盤の確立	営業利益率10%の確保	・外部環境に合わせたバリューチェーンの見直し
		・BSFの販売による処理の付加価値の向上
		・プラントオペレーションの改善による生産効率の向上
(=CO2排出量の削減) 安心・信頼される事業活動 説明責任と透明性の高い事業活動 労働災害ゼロ 事故ゼロ う		・設備改善によるエネルギー使用量の削減
		・お客様ごとの収集運搬作業の見直し
	説明責任と透明性の高い事業活動 -	・CSR報告書の発行等の情報開示(情報発信)への取り組み
		・第三者委員会や社外内部監査員による外部評価の継続的な実施
	・労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善活動による 潜在的・顕在的リスクの低減	
	苦情ゼロ	/ 月往り・顕在りシスクの凶滅
		- 「神戸でなっ」 (1)(こを) (1)(この) (1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(
		・基本の徹底による臭気対策

財務情報

直近5年間(2005年度~2009年度)の業績推移と2010年度の予測は下のグラフの通りです。

2010年3月期の決算において営業収入(売上高)は前年度に比べ微増でしたが、営業利益は大幅に回復いたしました。各業務プロセスにおいて「収支の見える化」によるコスト意識と生産性の向上、更に自社処理施設の稼働率の向上に取り組んできた結果、効果が現れたためです。

引き続き安定的な利益の創出による健全な事業運営を目指し、全社一丸となって取り組んでまいります。

詳細な財務情報については、「産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度」(優良評価制度)に基づき、 直近3年分の貸借対照表と損益計算書をインターネット上(産廃情報ネット※)で公開しています。 ※産廃情報ネット http://www.sanpainet.or.jp





顧問公認会計士からのご意見



妙中公認会計士事務所 所長 公認会計士・税理士 **妙中 茂樹**氏 主な著書:会社の税金実務必携(清文社)

貴社と出合ってから約17年になるが、赤澤社長の経営に対する考え方は 新しい時代にマッチしたものを感じる。そのことはこのCSR報告書に顕著 に現れているが、財務面においてもそうである。財務諸表の作成責任は経営 者にあることは周知の事実であるが、中小企業においてそのことをよく理解 している経営者は意外と少ない中で、赤澤社長は財務面に対する意識も強く、 その観点からの質問を頂くことも多い。

平成19年5月に新プラントが完成して3年目に経常黒字に転換した。昨今の経済情勢では、早期に経常黒字に転換するのは非常に困難な状況であると考えていたが、赤澤社長のリーダーシップのもと、社員が一丸となってがんばった成果がこれほど早くに表れたことに感心している。

CSR推進及びコーポレートガバナンス体制

いわゆるコーポレートガバナンスでは、監査役や取締役会などが社内の統治を担い、健全な経営をおこなっていきま す。建前だけの組織統治に終わらせないために、当社では、ISO14001とOHSAS18001の統合マネジメントシステムを 使って組織統治をおこなっています。下の図は、そのCSR推進体制とコーポレートガバナンス体制の組織図です。



マネジメントシステム

当社では、ISO14001とOHSAS18001の統合認証取得をしていますが、当社の事業が環境に直結していることと、幸福 を得るための手段としての職場において不幸を起こさないために、システムそのものを経営のマネジメントシステムとして 運用しています。

1年間を一つのサイクルとして年度終わりには次年度の運用のために、環境影響評価・リスクアセスメントを全社員で実施 し、目的目標の策定をおこないます。全部門共通の目的目標に対し、各部門での目標を策定し、年間のプログラム(目標達 成のために何をいつ誰がどのようにするかの計画を定めたもの)を策定します。

計画が定められたら、各部門ごとに運用をおこない、SR委員会(P.13参照)にてその進捗を毎月確認します。Checkの機能として、年に二回行う内部監査(P.14参照)と外部監査を行い、システムの運用を確認します。12月には、マネジメントレビューを実施し、一年間の運用について振り返りをおこない、方針や目的目標、その他の要素について、変更の必要性を検討し見直し(Action)をおこない、継続的改善をおこなっています。



DET NORSKE VERTA NORSKE VERTA NORSKE VERTA BORDE 1977 p. 2 A. Marke Bor

法令順守

環境・労働安全衛生に関する法令に基づいて、適切な時期に法令に則った報告を管轄行政へしているか、法令に則った 運用がきちんとなされているかなどを、社内で年に1回確認しています。その結果、2009年度は重大な違反はありませ んでした。以下は、当社の環境と労働安全衛生に関する該当法令の一部です。

環境関連

●廃棄物の処理及び清掃に関する法律
 ●西宮市との環境保全協定書
 ●大気汚染防止法
 ●自動車から排出される窒素酸化物と粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法
 ●騒音規制法
 ●振動規制法
 ●悪臭防止法
 ●下水道法

労働安全衛生関連

●労働安全衛生法 ●酸素欠乏症等防止規則 ●労働基準法 ●消防法

SR(Social Responsibility)委員会

毎月、マネジメントシステム運用プログラムの進捗管理とパフォーマンス確認を行う SR委員会を開催しています。毎月SR委員会を開催することにより、1年間のサイクルの 途中であっても目標に対してとる手段が適切であるかを見直したり、また、目標を達成 できていない理由を元に改善策を立てることができます。

SR委員会の構成メンバーは、代表取締役社長を筆頭に、全役員と管理職が参加し、従 業員の代表として、労働組合の代表も参加しています。このSR委員会で全部門の代表 者が全体の情報共有を行い、過日、それぞれの部門でミーティングを行い、必要な情報 を全社員で共有できるようにしています。



▲SR委員会の様子

トップパトロール

マネジメントシステムの運用事項(プログラム)として、社長によるパトロールを毎月 1回行っています。各部門での手順や運用事項がきちんと運用されているかどうかや、 効率的な作業を進めるうえで必要である、整理整頓がちゃんとできているかなどを チェックし、記録として残しています。パトロールは抜き打ちで実施しており、2009年 度は45件の指摘がありました。また、社長からの指摘事項は、翌月のパトロール時に改 善がなされているかを確認しています。



コミュニティ参画及び開発・消費者課題

ISOとOHSASの統合マネジメントシステムを運用する中で、その実効性とパフォーマンスを点検するために内部監査を年に2回、外部監査を年に1回実施しています。2009年度の監査の結果、指摘を受けた事項の数は以下の表のとおりです。

内部監査に客観的な視点を取り入れるため、社外から環境審査の専門家である 笹徹氏(P.19参照)に内部監査員をお願いしております。

	内部監査第1回目 (2009年6月)	内部監査第2回目 (2010年1月)	外部監査 (2009年10月)
重大な不適合	0件	0件	0件
軽微な不適合	1件	2件	0件
観察事項	3件	1件	0件
改善の機会	0件	0件	3件
特筆すべき活動	0件	0件	1件



▲外部監査(10月)



▲内部監査(1月)

▲内部監査(6月)

顧問弁護士からのご意見



さくら法律事務所 弁護士 **上田 憲**氏 今年3月に貴社に講師として招かれ、「反社会的勢力による被害防止対 策」というテーマの勉強会に参加させていただきました。

反社会的勢力とは、暴力団をはじめとする暴力・威力と詐欺的手段を駆使 して経済的利益を追及する集団や個人を意味しますが、現在でも様々な手口 により会社と接点や関係を持ち、それを利用して巧みに不当要求が行われて いるのが実情です。

コンプライアンスの 観点からすれば、仮に会社や従業員に不祥事があっ たとしても、事実を隠蔽するために反社会的勢力と裏取引をしたり資金提 供をすることは厳に禁止すべきです。また、危機管理の観点からすれば、経 営トップが反社会的勢力との絶縁姿勢を明確にすること、それを踏まえて組 織全体としてこれを排除する社内体制を整えておくこと、いざ反社会的勢力 からのアプローチがあれば組織が一体となって毅然と拒絶することが要諦 といえます。

経営陣のみならず従業員のほぼ全員が参加して、上記のような勉強会を実施することからも窺えるように、貴社は、これまでのやり方やしがらみに囚われることなく、コンプライアンスを重視して、常にあるべき会社の姿を模索しておられます。そして、良かれと決断したものは、迅速かつ積極的に実行に移しておられます。このように常に一歩先を見据えたコンプライアンス重視の貴社の経営姿勢を、期待と興味をもって見守っています。

環境

人権・労働慣行

コミュニティ参画及び開発・消費者課題

目標と実績

マネジメントシステムにおける目的・目標に対して、2009年度の結果をご報告いたします。

目的·中期目標(200	07年度~2009年度)	2009年度目標
環境	 有機性廃棄物加工(処理)による 『燃料(供給会社』の実現 地球温暖化対策 	 温室効果ガス(CO2など)の排出量の削減 ガス:原料処理量当たり74.6m以下 軽油:全車両平均3.93km/以上 排水の適正処理 電気使用量の把握 異物混入の防止 2008年度比10%削減 14件 過積載の防止 2008年度比10%減 38,943kg
労働安全衛生	従業員や社員が安心できる、 働きやすい職場環境づくり	 事故ゼロ 休業災害ゼロ、不休災害ゼロ 物損事故:2008年度比50%削減 6件以 赤チン災害(軽傷)の数把握 酸欠事故ゼロ パトロールの実施 月1回実施 労働安全衛生教育の実施 (酸欠作業、交通ルール、VDT作業) 100% 清掃の徹底 100%
 社会貢献・コミュニケーション	すべてのステークホルダーから 安心、信頼されるための継続的な 取り組み	外部評価を取り入れた当社活動の再構築 ステークホルダーから安心、信頼されるた めの継続的な取り組み

なお、2009年度末で3カ年の終了を迎えるにあたり、2010年度より新たに3カ年の目的・中期目標を策定しました。

E	目的(2010年度~2012年度)	目標 H22 年度/2010		
環境	原単位あたりのCO2排出量の削減	●エネルギー利用における原単位あたりの CO₂排出量削減 ガスから排出するCO₂:-8% 電気から排出するCO₂:-10%		
	安心・信頼される廃棄物処理サービスの追及	 ●お客様、周辺地域からの苦情件数ゼロ ●排水処理施設の自主基準値遵守 		

2009 年度実績	結果	関連ページ
 ●温室効果ガス(CO₂など)の排出量の削減 		
ガス:72.7㎡/トン	0	P.26、27
軽油:3.93km/l	0	P.27
自主基準値の遵守	\bigtriangleup	P.30
電気使用量:91.9kWh/トン	_	P. 26、27
●異物混入件数 7件	0	P.47
●過積載該当重量 57,000kg	×	P.47
 ●事故ゼロ		P.50~52
休業災害 2件	×	
不休災害 0件	0	
物損事故14件	×	
赤チン災害 4件	_	
●パトロールの実施 12回実施	0	P.13
●労働安全衛生教育の実施 100%	0	P.34
●清掃の徹底 100%	0	
 ●内部監査員の外部的視点の導入 		P.14
●お取引先様との甲山農地の取り組み	0	P.41~42
●お客様との協働環境学習の実施		P.44~46

目的(2010年度~2	目標 H22 年度/ 2010			
労働安全衛生	パートナーが安心して働ける 職場環境づくり (労働災害・事故ゼロ)	●事故ゼロ 休業災害ゼロ、不休災害ゼロ 物損事故:2009年度比50%削減 7件		
社会貢献・コミュニケーション	すべてのステークホルダーか ら安心、信頼されるための継 続的な取り組み	 ●外部評価の継続的な実施 ●コミュニケーション活動におけるステーク ホルダーとの関与を拡充 		

環境・労働安全衛生管理責任者にお話を聞きました

宜しくお願いします。

(聞き手:インターンシップ生 山中 潤)



赤澤: 簡潔に言うと、OHSASは社員の仕事における事故や怪我を防止するために、ISOは当社の事業内容が環境に直結したものであるので、環境を考慮した適切な運営のために必要なものだと考え取得しました。

ではリヴァックスのマネジメントシステムについてお話を伺いたいと思います。

それではまず、OHSAS、ISOを取得した理由をお聞きしてよろしいでしょうか?

環境・労働安全衛生管理責任者 赤澤 正人

山中:では、何故その二つを統合することになったのでしょうか?

山中: 貴重なお時間を取っていただき、ありがとうございます。

赤澤:二つのシステムが似通っていたので、統合した方が簡潔で分かりやすく なる、効率が良くなると考えたからです。

山中: OHSASのシステムについてはリスクアセスメントの観点から児島さん、白井さんにお聞きしました。(P.32参照)では、ISOのシステムはどのようなものなのでしょうか?

赤澤:基本的にはOHSASと同じで、まず環境影響評価を行い、作業項目の環 境影響をどのように小さくして行くかを計画します。

そして実際に事故、苦情があったときには、それが二度と起こらないように計 画を見直し、作業の改善を行います。

山中:よくわかりました。 作業員、会社全体による計画内容に対するチェック、情報共有はどのようにし て行われているのでしょうか?

赤澤: チェックに関しては、日々の作業の中で実質的に行われるもの、そして 定期的に行っているものがあります。

例えば、月に一回社長による社内パトロールがあり労働・環境面共に適切な作 業が行われているかをチェックします。また、年度始めに計画したプログラム、 つまりある問題点に対する改善策とその実行に対して、実際に運用した結果 をチェックし、更なる改善策を考えます。

そして、全体のチェックと情報共有の両面を担うのが、月に1回行われるSR 委員会です。

日々の作業面に関する情報共有については、関係部署(営業、業務課、処理セン ター)が毎日作業後にミーティングを行っており、次の日の作業予定と注意点、 その日の小さな気づきや反省を話し合います。また、ホワイトボードに作業内 容を明示し視覚化するなどして、日々の作業の安全性や効率化を図っています。

組織統治・公正な業務履行 山中: では、以上の統合システムの取得前と取得後で、当社にどのような変 化、効果がありましたか? 赤澤:まず、外部からの評価が上がりました。食品関係のお客様が多くおられ るのですが、特に環境や労働安全衛生の認証をとられているお客様が当社に 見学にこられた際に、「ちゃんとやっているね。」と言っていただけるように なりました。 また社内に関しては作業員の意識変化が言えると思います。以前は、ただ作 業をこなすだけであったのが、システム導入後は、この作業は安全か、環境影 響はどうかということまで考えるようになりました。 山中:ありがとうございます。では最後に、現在のシステム内での改善点は何 かありますか? 赤澤:会社全体として見ると、このマネジメントシステムを導入したことで 意識面、環境影響・労働安全面共に向上したと言えます。 しかし、改善点を挙げるとするならば、部署毎でヒヤリハットの報告数に差 があることです。 ヒヤリハットは事故を未然に防ぐためにとても重要なものなのですが、その 毎月の報告数が部署によって異なります。これは所属長の意識の差によるも のだと思いますが、ヒヤリハットの報告はシステムの中で求められているも のなので、環境・労働安全衛生のために個人の意識に左右されずに適正な運 営に努めたいと思います。 山中:ありがとうございます。 環境に直接携わり、危険な作業も含む企業の経営者としての考え方や、統合 システムの中での情報共有とチェックの方法を聞くことができました。 そして、リヴァックスのステークホルダーに対する責任感の強さや、一企業 として自らを律する姿勢は非常に素晴らしいものだと思いました。 貴重なお話をありがとうございました。

社外内部監査員からのご意見



CEAR登録 環境主任審査員 有限会社笹環境審查事務所 代表取締役 笹 徹氏

無事故、無災害の会社へ

社外監査員の視点で御社の「環境」と「労働安全衛生」の二つのマネジメン トシステムの内部監査に参画させて頂いて2年になりました。嬉しかったの は小さなことですが、処理センターから西宮市下水道への排水の水質管理レ ベルが向上したことです。従来は水質(pH:酸、アルカリ性の度合)が大きく 変動し、規制値を超えるケースも見られましたが、連続監視式pH計が設置さ れ、関係者の努力の結果、2009年ではpH値が6.6~7.6(規制値:5.0~9.0) と安定した管理状態が継続しています。環境面では臭気の管理等の課題も残 されていますが、設備投資も一巡しており今後は「環境マネジメントシステ ム:ISO14001」の運用により解決することは充分可能と考えます。

一方、同業他社では殆んど認証されていない「労働安全衛生マネジメント システム: OHSAS 18001 | を御社で有効に駆使して重大災害はもとより、 多発する作業事故や赤チン災害等を撲滅していただきたいと考えます。 これには根気が肝要です。前回の内部監査では収集運搬車のドライ バーの一人ひとりの話に耳を傾けました。「あの時に、車を降りて後方を 確認していたら、あの事故は防げたのに」といった声もありました。この ようなフランクで前向きな声を活かして課題を解決し無事故、無災害の会社へ 成長する道の入口に立っていると評価します。

環境経営研究者からのご意見



法政大学大学院環境マネジメント 研究科環境マネジメント専攻 環境経営プログラム

環境経営のリーダーへ

中小企業において、環境経営はどのようにして実現されるのか。この疑問 を解決すべく、第三者より環境経営の実践を評価されている貴社を、研究対 象として選定させていただきました。

インタビューを経て、貴社が、①本業において環境の負荷低減を実施、②自 社の強み、弱みを分析し、環境をチャンスと捉えた競争戦略を遂行、③有機性 廃棄物加工による『燃料供給会社』の実現という規制を超えた自主的な戦略 を決行していることが分かりました。

したがって、中小企業における環境経営の一つの方法に、貴社が実践して 修士課程 2年 **清田しづか**氏 いる「戦略的環境経営」があると考察できます。

> これからの社会では、今までの「個の利益」のみを優先する戦術やビジネ スモデルが成り立たないとも言われています。これまで以上に「社会の利益」 に注力した環境経営を実践していただき、環境経営のリーダーになられる ことを心より期待しております。

情報開示

「日本で一番遵法性と透明性の高いビジネスを目指します」というビジョンのもと、リヴァックスでは社内外に対して積極的に情報開示を推進しています。

ホームページ

ホームページでは、会社情報や許可情報はもちろんのこと、当社での処理の様子をリアルタイムで確認できるウェ ブカメラを設置し、お客様ではない方でも当社の搬入口・処理施設内等を見ていただけます。(P.47参照)また、ウェブ 上で当社の施設内部の説明がわかるフラッシュ動画を掲載し、遠方の方でも当社の構造をご覧いただけるようにな っています。





▲ウェブ上で施設見学

CSR報告書

地域社会の皆様や、お客様に当社を理解していただきたいと思い、2002年より社員の手で毎年報告書を作成しています。2002年から2005年は「環境報告書」、2006年は「環境・社会報告書」、2007年から「CSR報告書」と報告する内容に合わせて、報告書のタイトルを変更してきました。当社の取り組みや情報を分かりやすく、正確に提供していきます。



E.メール、E.NEWS

当社の活動をお知らせするツールとして、報告書以外に Eメールを配信しています。当社の最新情報や、産業廃棄物 に関するお知らせなどを配信しています。また、E.NEWS では、紙媒体で当社の活動を随時、まとめて報告しています。



環境

優良性評価制度

優良な処理業者を選択するための情報提供を行う「産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度」(優 良性評価制度)が財団法人産業廃棄物処理事業振興財団によって運用されています。処理事業者の評価基準は、「遵 法性」「情報公開性」「環境保全への取組」の三要素で構成されています。2005年4月より開始した当制度において、 当社は同年8月より情報をインターネット上で開示し、定期的に更新しています。

また、これを受けて2006年7月から、優良性評価制度における適合認定を各自治体より受けています。(西宮市、 兵庫県、大阪市など16自治体)





▲産廃情報ネット

業績報告会

社外への情報開示のみならず、社員に向けての情報開示も積極的におこなっています。毎月の売り上げや利益な どの情報を報告する業績報告会を2006年12月より開催しています。自分たちの部門の売上や利益が明確になる ことで、全員が自分たちの部門の利益を出すためには何をしたらいいのかを考えることができるようになりました。 なお、2009年10月に社名変更を行いましたが、社長自ら、新社名に込めた思いを発表いたしました。



▲新社名の発表



▲業績報告会

日々の情報共有

翌日の収集運搬業務の予定と搬入予定の確認を、営業・業務・処理センターの主要部門が集まって、日々読み合わせを行い、作業内容や注意事項の確認を行っています。これにより、お客様の廃棄物を適正に処理し、無駄のない作業を行えるようになりました。

また、ITインフラを活用し、日々の売上と利益を翌日に速報値として開示し、日々の作業の改善のための情報としています。また、セールスフォースというインフラを活用し、商談フェーズやお客様のニーズを明確にすることにより、 営業の効率化を図ることができました。



▲日々の読み合わせ

環境

環境方針

私たちは、廃棄物の再利用、再資源化、処理といった環境分野で事業活動をおこなっていることを認識し、その活動を通じて地球環境の保全並びに循環型社会の構築に貢献します。

- 1. 私たちは、社会的責任を自覚するとともに、環境法規制及び私たちが認めたその他の要求事項を遵守し、廃棄物を適正処理します。
- 2. 私たちは、全ての資源やエネルギーを大切にした事業活動に努めます。
- 3. 私たちは、廃棄物の再利用、再資源化で限りある物質資源の有効利用を図ることを通じて産業界に 貢献するとともに、貴重な産業資源である埋立処分地の延命に貢献します。
- 4. 私たちは、『環境学習都市にしのみや』の企業市民として、地域社会とのパートナーシップの精神に基づいたコミュニケーションを通じ、環境維持に努めます。
- 5. 私たちは、本方針を理解し、環境マネジメントシステムを構築し、汚染の予防に努めるとともに、目的・目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的に改善を図ります。
- 6. 環境方針は、当社で働く又は当社のために働く全ての人に周知します。また、外部からの要求に応じ て開示します。

2009年 10 月 1 日 株式会社リヴァックス 代表取締役社長 赤澤 健一

CO2排出量の推移

以下の表は、乾燥施設が設置された2007年からのCO2の総排出量と処理量、そこから出た原単位当たりのCO2 排出量の推移です。

2009年度のCO2総排出量は前年より31%増え5,424t-CO2でした。これは2009年の処理量が前年より57% 増えたことなどが要因として考えられます(原単位当たりのCO2排出量は前年比で16%減の0.21t-CO2/t)。

尚、今後も、エネルギー使用量削減の取り組みを通じて、CO2排出量削減を行っていきます。



廃棄物フロー

以下は2009年度に当社が取り扱った産業廃棄物のフロー図です。

取扱量 合計52,600t(昨対 118%)



乾燥処理後のリサイクル

バイオソリッド燃料化(BSF)・・・・2,395t 有機性廃棄物を乾燥させたバイオマス燃料の一種で、製紙会社 やセメント会社でボイラー燃料としてリサイクル(熱量:18.8MJ/kg)

有機性の汚泥や動植物性残さを肥料や堆肥の原料として利用し

ています。 サーマルリサイクル(異物分)・・・・・98t

廃棄物を焼却し、その熱をエネルギーとして利用しています。



容器(びん、紙パックなど)

提携先でのリサイクル

肥料化••••• •••11,124t 有機性の汚泥や動植物性残さを肥料や堆肥として利用しています。

燃料化••••• •••••5,167t 廃プラスチックや廃油・廃液などをセメント会社や製紙会社向け

の燃料として利用しています。 路盤材••••• •••••2,633t

無機汚泥を乾燥させて、道路の路盤材として利用しています。

サーマルリサイクル・・・・・・・2,451t 廃棄物を焼却し、その熱をエネルギーとして利用しています。

マテリアルリサイクル・・・・・・・・1,515t 原料として再生利用しています。

飼料化•••••• ••456t 食品の残さなどを家畜の飼料として利用しています。

その他リサイクル・・・・・・・・・・・390t



••243t

•••••• 2,971t

廃棄物の種類によって、安定型処分場、管理型処分場で それぞれ埋め立てています。

焼却••

埋立•••••







産業廃棄物のリサイクル

リヴァックスでのリサイクル

環境方針の一つとして、廃棄物の再利用・再資源化を推進していくことを掲げています(P.22 環境方針3参照)。 これを制定した2000年より、当社の取り扱う産業廃棄物のリサイクル率は向上してきましたが、2009年度は、残 念ながら前年度を下回ってしまいました。限りある物質資源の有効利用を図り、貴重な産業資源である埋め立て処 分地の延命に貢献するため、さらには、リサイクルをご要望されるお客様にお応えしていくためにも、自社内での選別 や提携先との連携を推進してまいります。



全国の産業廃棄物状況

環境省データによる全国の産業廃棄物の排出量は約4億トンとほぼ横ばいで推移していますが、リサイクルされる 量は上昇し、最終処分量は減少傾向にあります。産業界においてリサイクルの取り組みが進んでいるのがわかります。



▲全国の廃棄物量とリサイクル量、最終処分量(万トン) 出典:平成14年~平成21年発表 環境省「産業廃棄物の排出および処理状況について」より加工

マテリアルバランス

産業廃棄物の収集運搬・中間処理に伴い、当社の2009年度における資源エネルギーなどの投入量(INPUT)と 環境への排出量(OUTPUT)を表しています。限りある資源を大切にINPUTとOUTPUTの両側から資源の有効活用 に取り組んでいます。※()の中の%は2008年度との比較



組織統治・公正な業務履行

・(平成21年12月28日環境省報道発表資料)平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後排出係数等の公表について

・地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 別表第一(第三条関係)

業務活動での取り組み

処理センターでのエネルギー使用量

処理センター(破砕・乾燥施設)では、電気・工業用水・ 都市ガスのエネルギーを利用しています。2009年度 の各エネルギー利用量は、電気:2,287,030kWh、工 業用水:40,355㎡、都市ガス:1,800,564㎡でした。 ※電気使用量は破砕施設、乾燥施設、RMCの合計値

電気使用量削減のため、2009年7月よりデマンド警 報装置を設置して、 ピークデマンドの見える化を行い ました。これにより、2009年6月420kWhだったピーク デマンドが2009年3月では367kWhまで下がりました。







▲電力の見える化

環 境

車両等でのエネルギー使用量

収集運搬を行う業務課と処理センター内での重機 等の燃料として軽油を使用しています。2009年度の 軽油使用量の合計は210,507ℓと業務量の増加に伴 い、昨年より増加してしまいましたが、運搬車両の平均 燃費は昨年と同じ数値を維持することができました。

効率的な燃料使用によって大気汚染を防止するた め、収集運搬を行う業務課ではエコドライブを推進し、 毎月のミーティングで燃費の報告を行っています。



廃棄物の漏えい・流出防止対策

破砕棟内の床面は、中間処理を行う廃棄物が漏えい しないように、全てコンクリートの上に鉄板を敷いてい ます。さらに、2009年度は、破砕施設の破砕された後の 液状物を、漏えいなく輸送できるよう液輸送ラインを新 設しました。また、万が一、天災等が起こり、廃棄物流出 の可能性が発生した際には、下水排水出口をふさぐ、土 嚢を常設しました。



▲破砕後の液状物を輸送する側溝



▲緊急時用の土嚢

電気の使用

2009年度のオフィスでの電気使用量は、45,270kWhでした。オフィスでは、常に使わない場所(トイレ・給湯室等)の消灯、夜間の待機電力削減のため帰宅時の共用機器の電源を切る、空調温度管理などを行っています。また、 冷房施設の温度管理のため、5月から9月末までノーネクタイ・ノージャケットのエコスタイルを推進しています。



[▲]オフィスの電気使用量(kWh) ※2006年度はメーター設置の都合で、オフィス使用分を別々に計測できませんでした。

オフィスからの廃棄物

2009年度のオフィスからの廃棄物排出量は1,853kgで、リサイクル率は71.9%でした。オフィスでは、リサイクル 可能なもの(紙類(両面印刷済みのOA用紙、段ボール、新聞、雑誌)、ビン、缶、ペットボトル)と、リサイクル不可能な もの(コーティングされた紙、プラスチック類)に分別をしてリサイクルに努めています。



環境負荷の低減

悪臭防止対策

取り扱う廃棄物の悪臭防止対策として、各所でその対策を講じています。

破砕施設には、活性炭タイプの脱臭装置を4か所設置し、汚泥や動植物性残さの保管ヤードにはシャッターを取 り付けて、廃棄物の出し入れ時以外は閉めるようにしています。乾燥施設には、高濃度の臭気を燃焼させる脱臭炉 と低濃度の臭気を薬剤で中和させる薬液洗浄装置を設置し、臭気を処理しています。また、雨水排水溝の清掃を月 に1回、油水分離槽の清掃を1日3回おこなうことで、臭気を外に出さない工夫もしています。

なお、西宮市との環境保全協定では、1年に1回以上の臭気測定を行うこととなっていますが、当社では年に2回 に分けて実施することで、管理精度をあげています。2009年度、臭気測定の結果は以下のとおりとなっており、全 ての項目で規制基準を守ることができました。

人権・労働慣行





▲脱臭炉



▲薬液洗浄装置



▲シャッター付保管ヤード

臭気測定結果(2009年6月18日:東西、2010年2月24日:南北実施)

油合适口	扫出店	敷地境界					
測定項目	規制値	東側	西側	北側	南側		
アンモニア	1	<0.1	<0.1 <0.1		<0.1		
メチルメルカプタン	0.002	< 0.0002	<0.0002	<0.0002	< 0.0002		
	0.02	< 0.002	< 0.002	<0.002	< 0.002		
硫化メチル	0.01	< 0.001	<0.001	< 0.001	< 0.001		
	0.009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009		
トリメチルアミン	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
アセトアルデヒド	0.05	<0.005	0.005	<0.005	<0.005		
プロピオンアルデヒド	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
ノルマルブチアルデヒド	0.009	< 0.0009	<0.0009	< 0.0009	< 0.0009		
イソブチルアルデヒド	0.02	< 0.002	<0.002	<0.002	< 0.002		
ノルマルバレルアルデヒド	0.009	< 0.0009	< 0.0009	<0.0009	< 0.0009		
イソバレルアルデヒド	0.003	< 0.0003	<0.0003	< 0.0003	< 0.0003		
イソブタノール	0.9	< 0.09	< 0.09	<0.09	<0.09		
 酢酸エチル	3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3		
メチルイソブチルケトン	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
トルエン	10	<1	<1	<1	<1		
スチレン	0.4	< 0.04	< 0.04	<0.04	< 0.04		
キシレン	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
プロピオン酸	0.03	<0.003	< 0.003	<0.003	< 0.003		
ノルマル酪酸	0.001	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
ノルマル吉草酸	0.0009	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
イソ吉草酸	0.001	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
臭気濃度	30	<10	<10	<10	<10		

コミュニティ参画及び開発・消費者課題

組織統治・公正な業務履行

コミュニティ参画及び開発・消費者課題

測定項目

水質汚濁防止対策

重金属等の水質検査結果(2009年5月22日実施)

単位

水温	°C	≦ 45	21.9
pН	—	5.0~9.0	6.9
カドミウム	mg/l	≦ 0.03	<0.005
シアン	mg/l	≦ 0.3	<0.1
鉛	mg/l	≦ 0.1	< 0.01
六価クロム	mg/l	≦ 0.1	<0.02
ひ素	mg/l	≦ 0.05	< 0.01
総水銀	mg/l	≦ 0.005	<0.0005
総クロム	mg/l	≦2	<0.02
銅	mg/l	≦3	< 0.01
亜鉛	mg/l	≦5	0.05
溶解性鉄	mg/l	≦ 10	0.2
溶解性マンガン	mg/l	≦ 10	<0.1
動植物油含有量	mg/l	≦ 30	2
鉱物油含有量	mg/l	≦5	<1

法規制値

▲排水処理施設



▲連続監視式pH計

西宮市による水質測定結果 ※8月はpH測定機の異常のため、結果が出ませんでした。

	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水温	—	19	21	25	28	*	30	29	21	20	12	12	14
рН	5.0~9.0	7.4	7.4	7.3	7.0	_ *	7.6	7.1	7.4	7.4	6.9	6.6	7.1
BOD	600mg/ℓ以下	12	31	280	6	440	130	330	22	710	340	400	86
SS	600mg/l以下	17	1	12	3	7	19	59	<1	21	73	12	1

処理センターの処理工程から発生した排水は、全量を水処理施設で処理をした後に下水道へ放流しています。 2009年度から、連続監視式pH計を設置してpH管理を行い、また、排水処理施設に入る水の分析を毎週行うなど の手順を追加して、下水道へ放流する排水の水質を管理しています。また、1か月に1度の行政による排水水質検 査のほか、それに合わせた自主検査を行い、1年に1度、重金属等の測定を実施し、排水基準の順守に努めています。

結果

大気汚染防止対策

西宮市との環境保全協定によって、1年に2回、脱臭炉とボイラーの煙突から排出される大気汚染物質の測定を 行っています。2009年度の結果は以下のとおりとなり、規制値を遵守することができました。

測定項目	定項目 規制値 単位				2回目				
	排出基準	150	ppm	39.3	33.8				
窒素酸化物(Nox)	時間当たり排出量	0.42	Nm³	0.250	0.246				
	年間排出量	6.20	トン	3.715	3.638				
ばいじん	排出基準	0.05	g/m³N	<0.001	< 0.001				

大気汚染物質測定結果(2009年6月18日、2010年2月24日実施)

労働安全衛生

労働安全衛生方針

私たちは「パートナーへの貢献」「お客様への貢献」「社会への貢献」の経営理念のもと、当社で働くすべての人が、 安全と健康を通じて豊かな人生を享受できる事が企業の社会的責任であると共に、労働災害や事故が「最も大きな 環境破壊」であることを認識し、労働安全衛生活動を推進します。

- 1. 私たちは、労働安全衛生に関わる法令及び私たちが認めたお客様、社会及び公的機関などの要求事 項を遵守します。
- 2. 私たちは、私たちの責任において行う全ての事業活動での安全の確保に努めます。
- 3. 私たちは、廃棄物処理業が潜在的なリスクが大きい事業活動であることを認識し、収集運搬時の安 全の確保、処理センターや依頼先などの作業での無事故・無災害に努めます。
- 4. 私たちは、お客様、社会及び公的機関などとのパートナーシップの精神に基づいたコミュニケーション を通じ、安心及び信頼の確保、維持・向上に努めます。
- 5. 私たちは、本方針を理解し、事業活動全般に係わる危険源を認識し労働災害や事故の未然防止及び 疾病予防を図るため、労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、目的・目標を定め、定期的に見 直しを行い、継続的に改善を図ります。
- 本方針は、当社で働く又は当社のために働くすべての人に周知します。また、外部からの要求に応じて開示します。

2009年 10 月 1 日 株式会社リヴァックス 代表取締役社長 赤澤 健一

リスクアセスメント

労働安全衛生のマネジメントシステムにおいて、1年に一度、全社員で全行程におけるリスクアセスメントを行います。2009年度は、242件の危険源抽出を行い、リスク管理対象の危険源を55件から26件へ低減することができました。リスクポイントが高く重大な危険源については、ハードとソフトの二重対策をおこないます。

たとえば、乾燥施設内の高温箇所では自動制御システムによる安全管理を行って いますが、それに付け加えて、一時間ごとの温度点検、目視確認、記録表への記入を しています。これにより、ハードシステムと人間の手による監視が互いに補完しあい、 火災の起こる可能性を低減しています。

また、定常作業でないメンテナンス時の高所からの落下防止として、安全帯を取り 付けられる場所を新たに設置したり、センサー感知で自動点灯をするライトを設置し て、日没後に退出する際、段差による転倒のリスクを低減するなど、日々、労働環境に おけるリスク低減に取り組んでいます。



▲段差を照らすライト

労働安全衛生とリスクアセスメントについてお話を聞きました



処理センター 乾燥 係長 **児島 毅**(左) 白井 雄人(右)

(聞き手:インターンシップ生 山中 潤)

山中:貴重なお時間を取っていただきありがとうございます。 労働安全衛生、リスクアセスメントに関してお話を伺いたいと思います。 宜しくお願いします。 当社では現場での安全衛生や事故防止のためにどのような取り組みがされ ているのでしょうか?

児島: 当社では、リスクアセスメントを行うことによって安全・事故防止に努めています。一年に一回、現場における危険な項目や作業内容を羅列し、それが起こる頻度と重篤度を評価します。そして、合計点が規定以上の点数を取った場合、それに対する対策と改善をある一定の点数以下になるまで繰り返し考えます。

山中:なるほど。では、リスクアセスメントでの評価や対策も踏まえて、作業手順やマニュアルは作られるのですか?

児島:そうですね。また、新しい機械や施設が導入された場合や、機械の使用 手順が変更した場合には何か別の危険なことが起こりえるかどうかを考 え、またリスクアセスメントをし直します。

山中:分かりました。しかし、手順通りにおこなっても日々の活動の中で事故 が起こってしまう場合もありますよね?それに対してはどう対処しておら れるのですか?

児島:日々の活動の中では、ヒヤリハットという活動をおこなって対処しています。ヒヤリハットとは、「事故には直接繋がらなかったけどヒヤッとした」ことや「事故に繋がりかねないハッとした」ことがあった場合に、原因の発見と対策を考え、所属長の評価をいただく活動のことです。

山中:実際、具体的にはどのようなヒヤリハットがありましたか?

白井: 最近では実際、設備のメンテナンス中にヒヤリハットが発生しました。 機器の洗浄をアルカリ系洗浄剤で行い、ホースを抜く時に洗浄剤が跳ねて作 業員にかかってしまってヒヤッとしたことがありました。

山中:なるほど。

白井:他にも、色々な薬液を使ってプラントから発生する臭いを消す薬液洗 浄装置というのがあるのですが、最近、その薬液を送る配管から薬液が漏れ 出た跡が残っていたのです。バルブが劣化していた所から薬液が漏れ出てい た様なのですが、もし人が通って漏れ出た液がかかったら事故になっていた でしょう。 環

境



▲実際に取り付けたチェーン

山中:これに対してはどのように対策を取られたのでしょうか?

白井:まず、壊れているバルブを取り替えました。加えて、目に入ると非常に 危険なので防護メガネを必ず装着するように義務づけています。後は、いつ また劣化して薬液が漏れるか分からないので、バルブの外側に容易に人が入 れないようにチェーンを付けるよう検討しています。

児島:この様に、まず自分達で予想出来ることをリスクアセスメントで挙げて 対策を取り、それを作業員全員が理解して手順通りに作業をしながら、それ でもヒヤリハットがあった場合にはまた対策を取って行くということを 繰り返しています。日々の作業の中で手順の見直しを重ねることによって、 徐々に作業の精度を上げて行き、より安全な作業現場、そして事故防止を目 指しています。

山中:ありがとうございます。

ヒヤリハットという言葉を新しく知り、小さなことをないがしろにせず、皆で それを共有することが大きな事故を防ぐ方法であると再認識しました。 また、大きな事故が起こりうる現場で、いかに組織的に作業時の危険性への 意識を高め、作業員の安全を高めて行くのかについて知ることが出来ました。 貴重なお話をありがとうございました。

Column)なぜヒヤリハットが大事なのか?

アメリカの損害保険会社で、技術・調査部の副部長をしていたハインリッヒ (1886~1962)が提唱した法則でハインリッヒの法則というものがあります。

ハインリッヒは、労働災害5,000件あまりを統計学的に調べ、計算し、以下 のような法則を導きました。災害は「1:29:300」という比率で起こっており、 その内訳は「重傷」以上の災害が1件あったら、その背後には、29件の「軽傷」を ともなう災害が起こり、300件もの「ヒヤリハット」した(危うく大惨事になる) 傷害のない災害が起きているのです。さらに、幾千件もの「不安全行動」と「不 安全状態」が存在しており、そのうち予防可能であるものは「労働災害全体の 98%を占める」ことなどを分析で明らかにしました。 そして、この法則から、以下の教訓を導き出しました。

・災害を防げば傷害はなくせる。

•不安全行動と不安全状態をなくせば、災害も傷害もなくせる。

つまり、不安全行動や不安全状態が顕在化されたヒヤリハットを対処して いくことで、大きな事故や災害が起きる可能性をなくせるのです。



自己実現の手段であるべき仕事において、事故などの災害はあってはならないものであり、無事故無災害を目指 すことは、如いては働くパートナーの幸福を享受するものであると考えています。そのため、当社では定期的な教育 や訓練を行っています。

酸素欠乏及び硫化水素中毒防止

有機性の産業廃棄物から発生する硫化水素等による中毒や、汚泥貯留槽に入る時に起きる酸素欠乏は大きな危険源としています。そのため、社内の貯留槽で処理作業を行う処理センターでは、毎月エアラインマスク等保護具着 用訓練をおこなっています。また、お客様先で貯留槽の清掃作業を実際に行う業務課や、作業前の下見作業を行う 営業課などでも、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者の資格者を増やして、社内での講習も行い、知識向上を図っ ています。

ー般教育と専門教育

1年に一度、年度初めに全パートナー(社員、アルバイト、協力会社)を対象に一般教育を行っています。環境方針、 労働安全衛生方針、全社の目的・目標、関連する法律を再確認します。また、各部門で自部門の環境影響やリスクア セスメント、手順の見直しを専門教育として実施しています。

緊急事態対応訓練

廃棄物の貯留槽における作業時の酸素欠乏を緊急事態と定義づけています。2009年度は、大型の貯留槽の清掃 作業前に営業、業務、乾燥の関係部門で緊急時を想定した訓練を行いました。実際に、貯留槽の清掃作業中に酸素 欠乏者が出た場合、出入り口が一か所だけだったり、出入り口が小さい場所では、助けに入ることが二次災害を引 き起こすことを確認し、ピットの清掃を行う際の手順や緊急事態の対応手順などを見直しました。

また、火災を想定した緊急事態対応訓練も、年に1度行い、同様にその手順が適切であるかを確認しています。



▲ピットでの酸素欠乏を想定した 緊急事態対応訓練の様子

人事制度

当社では、経営理念の一つに「パートナーへの貢献」として、『パートナーが仕事にやりがいを持ち、自己の価値観 を実現し、実り豊かな人生を享受するため、事業で得た利益を還元します。そのためには多様なメンバーが存在す る価値を認め、安心して働ける職場づくり、事業運営を行うと共に、パートナーの成長が絶対に必要であることを認 識し、"学びの機会"と"活躍の機会"を提供します。』と掲げています。これに則って、当社の人事制度は、年功主義 と能力主義を調和させた制度としています。また、人事評価制度は、ミッション・経営理念・ビジョンを実現するた めには、自分が何をするべきかが反映されております。

福利厚生と女性社員の登用

社員が安心して働ける環境づくりを目指して福利厚生制度の充実に取り組んでいます。また、男女分け隔てなく、 採用や役職者への登用をおこない、育児休業制度、産前産後休暇制度の導入など女性が働きやすい環境の整備に も取り組んでいます。

今後も社員が安心して働きながら、能力を思う存分発揮できるよう制度の充実に努めていきます。



●慶弔見舞金制度 ●定年退職者再雇用制度 ●半日有給休暇制度

●介護休業制度

●自己啓発支援制度
組織統治・公正な業務履行

環 境

中途で入社した方にお話を聞きました

^{営業課} 秦 和真 (聞き手:インターンシップ生 片桐 理沙)

片桐:まず、はじめに…中途採用とは、どのようなものですか?

秦 : 中途採用とは、企業が即戦力を求めて不定期に行う人材採用のことで す。特に、職務経験のある人材を対象にしていますね。

片桐:では、秦さんも以前どこかに勤めていらっしゃったのですか?

秦 :はい、金融関係の仕事をしていました。

片桐:どのような理由で、リヴァックスに転職されたのですか?

秦 :転職の際、一番に気にしたのは、休暇制度や立地点など…労働条件です ね。以前勤めていた会社は個人営業でしたから、休日に仕事が入ることがあ り、なかなか自分のプライベートな時間を持てないことが不満でした。法人 営業のリヴァックスなら、原則として休日・祝日は会社が休みになりますか ら…その点が魅力的でしたね。また、法人営業を経験してみたいという好奇 心も手伝って、転職を決意しました。

片桐:実際にリヴァックスで働かれてみて、仕事や会社の雰囲気はどうでしたか?

秦 :以前勤めていた会社とは、営業の体系に違いがありましたから、慣れるのに時間がかかりました。しかし、パートナーが目標を共有して切磋琢磨しあう環境で、自ずと自分の能力が磨かれましたように感じます。人間関係が円滑で、非常に働きやすい職場ですね。

片桐:これからの展望を教えてください。

秦 :私は営業課で、特に新規開拓事業に取り組んでいます。上司から成果
 を評価してもらえた時は、仕事にやりがいを感じますね。売り上げを伸ばし、
 更に会社に貢献できるよう、努力していきたいです。

片桐:ありがとうございます。パートナーひとりひとりが、自分のライフスタ イルに合わせて働き方を選べるよう工夫されている点から、リヴァックスが パートナーの自己実現を重視し、経営理念「パートナーへの貢献」を果たし ていることを認識しました。貴重なお話ありがとうございました。

MVP社員、永年勤続社員表彰

社員のモチベーション向上のために、人事評価制度では評価しきれない部分で貢献した社員をMVP社員として、半年に一度選出し、表彰をしています。2009年度の上半期は該当者なし、下半期は2名が表彰されました。また、 10年間ごとの節目に、これまでの功労をたたえ、永年勤続社員表彰をおこなっています。2009年度は勤続10年で 1名が表彰されました。



▲MVP社員(2009年度下半期)



▲永年勤続表彰

雇用関係

2009年度は3名の退職者がありましたが、全て自主 退職によるもので、雇用調整は行っておりません。人員 が少なくなった分、1人当たりの仕事量が増えるとこ ろですが、仕事の効率を上げ、1人当たりの生産性を高 めることで、補完しました。

なお、将来のコア人材を確保するため、今年度より新 卒採用を開始し、また、業務の拡充に合わせて、適宜中 途採用等も行う予定にしています。



健全な労使関係

株式会社リヴァックス労働組合は、当社の管理職(課長職相当)以外の従業員で構成され、ユニオンショップ制で す。労働組合と会社経営側との労使交渉は適宜行われますが、それ以外にも、毎月行われるSR委員会に労働組合代 表が出席し、従業員の要望等を経営側に伝える機会が設けられています。

SR委員会の場での意見交換や状況報告によって、労使一体となった環境・労働安全衛生マネジメントシステムの 運用が形成されています。

環 境

労働組合の委員長にお話を伺いました

(聞き手:インターンシップ生 片桐 理沙)



営業課 主任 **稲富 啓介** 片桐: 労働組合とはどういったものですか?

稲富:賃金や労働時間をはじめ、さまざまな労働条件の維持・改善を図ることを を主たる目的として、賃金労働者が自発的に結成した組織のことです。

片桐:主にどのような活動をされているのですか?

稲富:2008年度から、労働者と会社が積極的に意見交換するために、毎月SR 委員会に出席しています。また、人事制度や賞与などの労働条件を向上し、 ISO14001やOHSAS18001の規格に基づき働きやすい職場を実現するこ とを目標に、活動しています。

片桐: SR委員会では、どのようなことをされているのですか?

稲富:月に1度開催されるSR委員会ではマネジメントシステム運用プログラムの管理とパフォーマンス確認を行っています。労働組合の委員長が参加し、労働組合でまとめられた意見・要望を伝えています。パートナーが豊かな人生を享受するために、労働者と会社のよりよい協調関係を目指し、両者の間に立って活動する重要な機会です。

片桐:労働組合の活動により、以前に比べ職場環境は改善されたと思いますか?

稲富:はい。2008年に、ISO14001とOHSAS18001の総合認証を取得し、労働者と会社が一体となって環境・労働安全衛生マネジメントシステムの運用に取り組むようになりました。

全てのパートナーの、労働安全衛生の意識を徹底する事に成功した結果… 以前よりプラントの規模が大きくなったにも関わらず、大きな事故・けがが 発生する可能性が低くなりました。

片桐:これからの展望について教えてください。

稲富:そうですね… 現在、会社からは良い労働条件を提示して頂いているので、この労働環境を維持していくとともに、会社のためにプラスになることは積極的に取り組み、改善点は協力して話し合っていきたいと思います。労働者と会社が対立することなく、お互いが納得できる形で、より快適な職場を実現できるよう取り組んでいきます。

片桐: ありがとうございます。 具体的な活動を伺って、労働組合の活躍により、 良好な雇用関係が保たれていることを改めて認識しました。 貴重なお話をありがとうございました。

永年勤続表彰者にお話を聞きました

販売管理課 主任 **飯田 裕彦** (聞き手:インターンシップ生 山中 潤)

山中:本日は貴重なお時間を取っていただきありがとうございます。 では、リヴァックスの労働環境についてお話を伺いたいと思います。 宜しくお 願いします。

飯田さんは勤続10年を迎えられたということですが、リヴァックスの人事制 度、労働環境に関してどう思われますか?

飯田: 当社はOHSASのシステムを導入しており、社員の健康や大きいことで 言えば生死に関して非常に注意しながら取り組んでくれているので、安心し て働くことが出来ています。

山中:育児・介護休業制度などの現行の制度について社員全員が確実に理解、 認識していますか、また活用されていますか?

飯田:はい。毎年、半年間どうであったかを面談をする場もありますし、就業 規則は誰でも見ることが出来る場所に置いてあります。活用に関しては、女 性の方で育児休業等を活用している人はいますが、男性はまだいないよう です。実際的には仕事を長期間休むことは難しいですし、自分としても休み たくないと思います。ずっと家に居るのも嫌ですしね。

山中: なるほど(笑)。ただ、育児休暇を申請すれば誰でも平等に制度を活用 出来るということですね。

ところで、近年労働問題として、労働疾病やハラスメント等を良く聞くので すが・・・。

飯田:見て分かるように、事務所は仕切りが無く非常にオープンなオフィス で、良い意味でも悪い意味でも見られています。そのため、そのような問題 は発生しにくい環境であると思います。

山中:日本特有の厳しい上下関係や女性下位に関してはどうですか?

飯田:一般的な社会人としての上下関係はもちろんあるのですが、ストレスは 感じられません。また当社は男女が平等に働ける環境であると思いますし、 むしろ女性の方が優遇されているように思う程です(笑)。例えば、人事評価 制度においても男女で差は無いと思います。 山中: 職場としてはクリアーでオープン、平等な環境であるということですね。 では、社員から見たリヴァックスの魅力とは何でしょうか?

飯田:大きい会社ではないからかもしれませんが、何か問題が起こると全員 で解決しようという姿勢がある所ですね。毎日夕方に行うミーティングにも 表れているように、全員が参加して会社の業績なり問題提起なりを改善して いこう、という雰囲気があると思います。

自分も問題解決に参加できるという気持ちになりますし、やはり問題が解決 したときや売り上げがあがったときには、普通に仕事をこなすだけよりも達 成感が得られます。また、月に一回行われる業績報告会には誰でも参加でき、 ーヶ月の業績や他部署の現状に関して知ることが出来ます。情報共有をする ことで一ヶ月の自分の頑張りも見え、モチベーションの維持・向上にも繋が ります。加えて同じく月に一回行われるSR委員会には、労働組合の委員長も 参加されるので、何か労働面において要望があれば委員長を通して会社の幹 部に直接伝えることが出来ます。

山中: 勤続10年という節目を迎えられて思うことがあれば・・・

飯田: このように10年という節目で表彰してもらうと自分の区切りになりま すし、振り返ることで気持ちも改められますね。私は、入社してから会社の 売り上げが良い状態をあまり経験していなかったのですが、10年間仕事を してきてここ数年、やっと利益が少し出るようになって来ました。またこれ からの10年間、皆で売り上げがあがったね、業績が上がったね、などと言い ながら喜べるように、続けて頑張りたいと思います。

山中: ありがとうございます。 リヴァックスがオープンで平等な職場だというこ とを再認識しました。また、全員参加で会社を成長させるという姿勢が、 更に クリアーで平等な職場を作る、という良い循環が成立しているように思います。 貴重なお話をありがとうございました。

コミュニケーション

経営理念に「社会への貢献」を掲げ、ミッションとして「全てのステークホルダーから安心・信頼される廃棄物処 理サービスを通じて、パートナー、お客様、社会の利益と繁栄に貢献すると共に、持続可能な社会の構築を目指しま す」と掲げているように、単に利益責任を追及するのではなく、お客様や社会への貢献も持続可能な社会構築にと って重要なことだと考えています。

甲山農業塾への参画

当社のお客様には食品業界の方が多く、食や農について学び体験する場を推進することが、お客様と社会への 貢献の一つだと考えています。そこで、NPO法人こども環境活動支援協会(LEAF)が主催している「甲山農業塾プ ロジェクト」に、2008年からスポンサーを続けています。

また、当社では、年間12,558トンの産業廃棄物を、肥料やたい肥の原料として提携先に収集運搬しているという点では、事業活動における農業との関わりがありましたが、直接農業の場に接する機会がありませんでした。2007年にこのスポンサーのお話をいただいた時、実際の農業の現場に触れる良い機会だと考え、参加させていただくこととなり、現在にいたっております。この2年間、スポンサーとしての関わりや、また自社でおこなうイベントを通じて、今まで知らなかった多くの事を勉強させていただく良い機会を得られたと実感しております。

農業・里山体験イベントの実施

甲山農業塾が行われている農地を利用して、当社主催で農業・里山体験イベントを6月と 9月の2回開催しました。2008年度は社内のイベントとして開催していましたが、2009 年度は、参加対象者を当社のお取引先にもお声をかけて開催いたしました。

6月には、弊社のお取引と社員のご家族を合わせて26名が参加し、田植え、野菜の収穫や 生き物観察を行い、収穫したジャガイモ、タマネギ、ニンジンはその場で調理し、カレーを つくりました。

9月には、49名が参加し、6月に植えたもち米の稲刈りを行いました。刈った稲は天日干し を行い、事前に用意していただいた稲で、脱穀とモミすりを体験しました。



▲田植え(6月)



▲脱穀の様子(9月)

スポンサーとしての関わり

この甲山農業塾プロジェクトにスポンサーとして関わるにあたり、農業塾の参加者との交流もさせていただきま した。4月の開講式・3月の修了式・1月の交流会で、参加者の方々からのご意見・感想を直接伺うことができました。 参加者の中には、「これほど手間暇をかけて育てた野菜を、スーパーで見ると『どうしてこんなに安く売られてい るのだろうか?』と思うようになり、また、低農薬栽培などで頑張っている農家の方を買い支えていくことも必要だ なと思った」などの意見を聞くことができました。

また、交流会では参加者の方からサンキューボードをいただき、そこには『私たちは農業体験を通じて、作物を育て る楽しさや収穫の喜びを知るとともに、日本の農業の現状、自給率の問題、食の安全の大切さ、環境問題など様々 なことを学ぶことができました。』(一部抜粋)と書かれており、微力ながらも社会への貢献をなしえているのではな いかと考えております。





▲交流会の様子





▲修了式の様子

41

農業体験イベントについてお話を伺いました



株式会社たねや 環境経営室 主任 **木田 幸司**様

会社概要

会社名:株式会社たねや
代表者:代表取締役社長山本徳次
设 立 :昭和47年(1972年)8月18日
資本金: 9,000万円
従業員 :973名(2010年5月現在)
売上高: 176億(2009年度)
事業内容 :和菓子・洋菓子の製造
販売 / 喫茶・食事

(聞き手:インターンシップ生)片桐 理沙)

<u>片桐</u>:どのようなきっかけで、農業体験イベントに参加されたのですか?

木田:当社は、リヴァックスさんを通じて容器包装済み商品の炭化処理を委託しており、農業体験のイベントの案内を頂きました。実際に農業体験出来るということで、イベントに興味を持ち、友人と誘い合わせて参加しました。

片桐:では、農業体験をされたのは初めてでしたか?

★田:いいえ、農業体験は小学生の頃、授業の一環として行ったことがあります。 滋賀県は自然が豊かで、大阪や京都よりも農業が盛んですからね。

片桐:当日は稲刈りと野菜の収穫を行ったそうですね。野菜はどうでした?

木田:野菜は瑞々しく、とても美味しかったです。作り手の愛情が伝わってきました。

片桐:私も5月の農業体験イベントに参加しました。今年は、なかなか気候が暖かくならなかったので、例年に比べ、野菜の成長が遅かったそうです。普段、何気なく口にしている食べ物が、大変な手間を掛けて作られていることを実感して、改めて感謝の気持ちを抱きました。

では今回、農業体験イベントに参加されて、その後の生活や考え方にはなにか影響がありましたか?

木田:そうですね。近年、取り沙汰されている自給率の問題や、循環型社会の必要 性について考えさせられました。環境に配慮されたものが、市場で高い評価や支 持を得て、経済と環境が両立されることで、初めて持続可能な社会が創造される のではないか、と改めて認識しました。実際に機械を使わず、手作業で稲刈り脱 穀籾取りをやってみて、ものすごくたいへんでした。機械の便利さも分かったの ですが、利便性を追求しすぎて自然環境に過剰な負荷をかけないようにしなけ ればならないと思いました。

片桐:リヴァックスに関してはどうでしょう?

木田: 社長が積極的に社員と関わっておられる姿が印象的でした。また、今回の イベントを通じて、現地のNPO法人とタイアップし、事業を離れたところでも 活躍されている、リヴァックスさんの姿勢に共感させられました。食品リサイク ル法が改正されて、今以上に排出事業者と処分事業者も一体になって循環型社 会へ転換していくことが求められます。リヴァックスさんのこのような取組みに 対する姿勢や情熱がもっと広まっていくことを願っています。

片桐:ありがとうございます。木田さんにとって、今回の農業体験イベントが大 変有意義なものであったことが、よく分かりました。環境に対する個々人の意識 を高めることが、社会構造を変え、ひいては持続可能な社会を実現するのではな いかと感じました。貴重なお話をありがとうございました。

施設見学の受け入れ

お客様が当社に来られ、見学などを通じてコミュニケーションをとることは 重要なCSRの一環だと考えております。

2009年度は83団体453名の方に見学いただきました。(うち、直接お取引先 以外が5団体)

2009年8月6日には、西宮市教育委員会の主催する研修として、西宮市内 の小中学校の先生方が研修で当社へ見学に来られました。西宮市では環境 学習都市宣言を行っており、積極的に環境学習を行っているため、環境学習 を指導する先生方が環境について学ぶ機会として研修が開催されました。



▲研修の様子

JICA研修受け入れ

独立行政法人国際協力機構(JICA) 青年研修が大阪市環境局主催で行われ、当社で研修の受け入れを行いました。2009年9月4日、ブラジルサンパウロ市環境局の方が3名、当社の廃棄物処理施設を見学されました。研修テーマは、自国の3R推進と環境教育・社会啓発を学ぶ、とあり、当社からは廃棄物の減量化やリサイクル、そして、当社のCSRの取り組みについてお話をさせていただきました。



▲集合写真

講演会等

2009年度は下表のとおり6回の講演・講義をさせていただきました。

日付	講演会名	テーマ	主催者
2009/7/3	「廃棄コストの削減」 「食品リサイクル法の対応」 いま飲料メーカーの SCM 担 当に求められていること	ロジスティクス・SCM+流 通フェア	ロジスティクス・ SCM+ 流通フェア事 務局
2009/10/2	社内研修	CSR 活動について	当社お客様
2009/10/7	JICA研修	廃棄物処理事業者にとっての ISO26000(SR) の意味	NPO 法人こども 環境活動支援協会
2009/10/8	省エネで経営 改善セミナー	わが社が取り組む省エネ活動	西宮市商工会議所
2010/12/12	期限切れ等で廃棄される未 開封飲料のリサイクル処理 サービス	エコプレゼンテーションス テージ	エコプロダクツ 2009
2010/1/17	環境学特論 / 環境ビジネス論	リヴァックスグループの 事業戦略と ビジネスモデルについて	早稲田大学大学院 理工学研究科 / 環境エネルギー研究科



▲JICA研修での講演

環

環

堷

反社会的勢力による被害防止対策勉強会

社会との対話やコミュニケーションの中で、反社会的勢力による被害 に合う可能性もあるかもしれません。そこで、顧問弁護士である、さくら 法律事務所の上田先生(P.14参照)にお越しいただき、反社会的勢力に よる被害防止対策の勉強会を開催いたしました。

勉強会では、リヴァックスグループの事務職・管理職を中心に約30名 が参加し、反社会的勢力とは何か、被害に合わないための組織としての 予防策、具体的な対策方法などを、実際にあった具体例を交えてご教示 いただきました。



消費者教育

社会的責任(SR)として、組織が消費者を教育し、意識向上を図る活動 をすることが提唱されています。当社では、小中学校園におこなっている 環境学習が、未来の消費者への教育機会であると認識し、2008年度より 関西大学第一中学校への環境学習の受け入れを実施しています。

関西大学第一中学校では、事前学習、見学、事後学習と3段階で環境学 習を組まれており、2009年度は同校2年生252名を対象に実施されま した。事前学習は2009年11月24日に、施設見学は2009年12月10日 におこないました。事前学習では、弊社のお取引先であるコカ・コーラウ エスト株式会社環境推進部野田様が、日本のゴミ問題と空容器のリサ イクルについてお話をされ、その後、弊社代表赤澤より賞味期限の切れ た飲料の行方と題し、当社の飲料リサイクルについてお話をさせていた だきました。そして、スーパーなどで買う物を選ぶ時に、手前の賞味期限 が近いものを取ることも、廃棄物が減り、地球環境に優しい行動である こともお伝えしました。

施設見学では、事前学習でお話した実際の工程を、各クラスごとに別 れて見学してもらい、改めて、賞味期限切れ等で廃棄される飲料のリサ イクルについて理解してもらいました。



▲事前学習の様子



▲施設見学の様子

エコプロダクツ展2009出展

エコプロダクツ展2009にて、当社の「廃棄飲料リサイクル処理」「バイオソリッド燃料化事業」「本業を通じたCSR活動」の取り組みの展示をおこないました。

なお、当社の『期限切れ等で廃棄される未開封飲料のリサイクル処理サービス』が第 6回エコプロダクツ大賞・エコサービス部門でエコプロダクツ大賞審査委員長特別賞 (奨励賞)を受賞いたしました。

エコプロダクツ展主催:(社)産業環境管理協会、日本経済新聞社



環境学習を実施した先生にお話を聞きました

関西大学第一中学校 教務主任 **大西 隆**氏

(聞き手:インターンシップ生 山中 潤)

山中: 貴重なお時間を取っていただきありがとうございます。 貴校の環境教育について、またリヴァックスで行った環境学習についてお話を伺 いたいと思います。

宜しくお願いします。

まず、貴校における環境教育とはどのようなものなのでしょうか?

大西:本校は高校受験がないため、勉強する拠り所として何か一本の柱が必要でした。そこで、既に行っていた宿泊行事における環境学習に繋がる、三年間の一貫した環境教育が必要だということになったのです。

本校が環境問題に限らず教育の最終目的としているのは、生徒たちが自分で「考 動」することです。関西大学では「考える、行動する=考動する」というスローガン を掲げており、本校でも同じく、考え動ける人間を作って行きたいと考えています。 そのために、私たちはヒントとなるたくさんの情報を与えることを目的に、この ような社会見学を実施し、全ての行事において事前学習と事後学習をしっかりお こないます。生徒たちはさまざまな学習を重ねることで、思ってもみなかった社 会の繋がりに気づくことが出来るでしょう。そして、その中で自分が興味・関心 を持ったことについて調べたり、実際に自分で考えたり、行動したりするように なって欲しいと考えています。

山中: では具体的にどのような環境学習を行っておられるのでしょうか?

大西: 二年生の生徒たちは信州への自然教室で自然について学んでいましたが、 今年度から和歌山での農家民泊に変更し、農家の方々から直に農業と自然との 関わり、農業の現状についてお話を聞きます。そして、三年生の研修旅行では、沖 縄の石垣島や西表島に行ってマングローブや珊瑚礁等の自然観察、生態系につい ての学習を行います。

また昨年度から、大阪の耕作放棄地を復興させたいという団体と一緒に、生徒たちが実際に農地に行って農作業もおこなっています。

山中:なるほど。三年生の研修旅行に繋げるための、また高校や大学で自ら行動 を起こす契機となる一貫した環境教育が必要ということになったのですね。 では次に、今回のリヴァックスでの環境学習の位置づけについてお聞きしたいの ですが。

大西: リヴァックスさんでの環境学習は、もっと身近な、日常生活に関わる問題を 学ぶためのものです。

二年生での農業に関する学習や三年生での沖縄での学習は重要なものではあり ますが、グローバル過ぎて、生徒たちの日常生活とは繋がり難い側面もあります。

組織統治・公正な業務履行

環 境

そこで、もっと自分たちの足元、日常生活に深く関わって、且つ行動に移しやす い問題は何かと考えた時に、日々自分自身が必ず出す廃棄物について考えてみよ うとなり、リヴァックスさんへの施設見学をお願いすることになった次第です。 身近なペットボトルを分離させて、中身を燃料へリサイクルする珍しいリヴァッ クスさんのシステムは、まさに教科書に載っていない活きた教材です。また、リ ヴァックスさんは常識的に考えていらっしゃることが、生徒たちにとっては将来 に繋がる思わぬ発見があるかもしれないと考えました。

山中:実際に環境学習を受けた生徒さんたちの反応や理解はどうでしたか?

大西:まず、見学の約一週間前にリヴァックスさんとコカ・コーラウエストさん におこなっていただいた事前学習が非常にわかりやすく、インパクトも非常に大 きかったようです。飲料を最初に製造するコカ・コーラウエストさんとそれを最 後に処理するリヴァックスさんが同時に来てくださったことや、ペットボトルと いう普段手にしているものの話だっただけにリアリティがあったのでしょう。 また、講演の中でおっしゃった、スーパーでは賞味期限の近いものから取ること がゴミを減らす行動である、という話にも納得した様子でした。

山中:当日の様子を映像や写真で拝見させていただいたのですが、生徒さんたちが意欲的にメモを取るなど、非常に能動的に参加されていたように思います。 当日の施設見学を終えて、生徒さんたちの感想はどのようなものでしたか?

大西: 事前学習のインパクトもあってとても意欲的に参加していたと思います し、またやはり話を聞くのと実際に自分の目で見るのでは違うということも学 べたと思います。生徒たちの中には、なぜ廃棄物が燃料になるのかを不思議がっ ている子や、まだ飲めるものが処分される現実にショックを受けている子、自分 に何が出来るのかを考える子、単純にボトルと中身の飲料がどうやって分けられ ているのかに興味を持った子など、みんなそれぞれいろいろな感想を持っていた ようです。冷静に、ある意味、素直に今回の学習を受けていたように思います。

山中: ありがとうございます。貴校の環境教育の理念やカリキュラムは素晴らしい ものだと思いました。やはり生徒さんたちの意欲的な参加姿勢は、先生方の地道 な環境教育の成果であるように思います。次世代の子供たちへの環境教育の一例 と、また、そのために社会や企業は何が出来るかについて知ることが出来ました。 貴重なお話をありがとうございました。

適正処理

ウェブカメラ

当社の処理が適切に行われているか、リアルタイムの様子を当社のホームページから見ていただけるウェブカメラ を設置しています。

設置は、それぞれ、①廃棄物が当社へ搬入される様子がわかるところ、②破砕施設の全景がわかるところ、③破砕 されるものが見えるところ[※]、④乾燥施設への搬入の様子がわかるところの合計4か所となっています。

※③のカメラは、お客様の情報保護のため、廃棄物を排出されたお客様だけに公開できるよう、パスワードをかけて保護をしています。



▲①廃棄物の搬入



▲②破砕施設



▲③破砕機投入□(限定公開)



NO.135

▲④乾燥施設

契約外廃棄物の予防

お客様から受託をした産業廃棄物は、法律上の品目だけでなく、 処理可能なものであるかどうかによって、分別をお願いしています。

事前の契約とは違うものが混入されていた場合、適正な処理が 難しくなるだけでなく、それが危険物であった場合は、事故や火災の 原因になる可能性があります。



▲コンテナへの掲示

これらの混入があった場合は直ちにお客様への通知を行い、再発防止に努めています。また、お客様の事業所に設置しているコンテナ箱に混入禁止の掲示板を設置するなど、予防にも努めています。

過積載の防止

過積載防止のため、毎回お客様の計量データを収集しています。積載量を超過しているお客様にはその都度連絡 を入れて、積載量の周知をおこなっています。そして、過積載が発生した場合は、お客様と一緒に過積載の原因を 考え、その対策を講じています。また、当社で中間処理が終わった廃棄物を運び出すときも、荷積みを数回に分けて 計量器で確認しながら積載量を調整しています。

組織統治・公正な業務履行

▲マニフェスト

マニフェスト等の管理

産業廃棄物を処理するときには、「マニフェスト(産業廃棄物管理表)|と「委託契約書」が必要です。当社では、 マニフェストの発行・管理、契約書の事前締結の徹底を推進しています。マニフェストについては、管理台帳で管理 をおこない、排出事業者の方のお手元に円滑に届くようにしています。また、電子マニフェストも導入しており、お 客様のご要望に合わせて対応しています。(加入者番号:収集運搬業 2005941、処分業 3005863)



これらは企業として最低限果たさなければならない社会的責任であります。

産業廃棄物の適切な処理以前に私たちメーカーの課題は、廃棄物を出さない活動です。

この活動は食品メーカーに限ったものではありません。産業全般にいえることだといっても過言ではありません。

数年前に御社からのダイレクトメールを頂戴し、御社の廃棄物処理に対する熱い思いがDMから伝わり、 丁場まで足を運ばせて頂きました。

透明性のある事業活動内容の開示はもちろんのこと、経営理念や経営計画並びに法令順守を基本とした |企業への各種提案を頂きました。「企業は人なり|という言葉がありますがまさに人の情熱(環境に対する 思い)が会社の活動に直結していました。

取引後にはいくつかの問題も発生し、都度現場に足を運びました。苦情・事故処理件数は皆無であれば なにもいうことはありませんが、盲点を突いて起こるものです。しかし事故の原因(盲点)を迅速に探し当 て、迅速且つ的確な応急処置・恒久処置対応して頂きました。

今後におきましても人の熱意が会社活動に直結するような熱き想いを持ち続け、私たち食品メーカー に対し環境面での「安心」「安全」「環境への適応」を提言して頂きたいと考えております。

48

ステークホルダーからのご意見



大十株式会社 代表取締役 畠山 文孝氏

貴社との出会いは取引銀行主催の面談会でした。

静脈物流を積極的に取組みたいと考えていた弊社にとっては、是非ともお取引 させていただきたい企業様でした。

弊社の物流事業の大半が飲料関連(製品・資材・原料)に特化しており、飲料工 場の製造・構内作業、資材の調達物流、できあがった製品の保管〜配送(動脈物 流)を請け負っており、静脈物流にも是非ともビジネスとして参画したいとい う思いがあったからです。

両社のニーズがマッチし、お取引を開始して約2年が経過しました。ご契約企 業様の数も大幅に増えました。これもひとえに貴社の営業力(会社力)によるも のであると考えます。貴社の営業力(会社力)について私なりに考えてみました。

廃棄商品の保管・前処理~破砕・分離~燃料化を一貫して貴社施設で行える
 焼却処理よりも格安な単価で処分できる

●適正処理への取り組み(ライブカメラの設置・提携先の確認・マニフェスト、 契約書の管理、電子マニフェストの導入等々)による信頼力がある

●営業チームのポテンシャルの高さ

等々があげられると思います。その他多々あると思いますが・・・ 貴社担当の弊社営業マンが貴社の営業の方と同行営業をしたことが何度かあっ たようですが、自社の魅力についての説明が自信に満ち溢れていて説得力があ り、高いスキルを持っていると感じたという話を聞きました。

現在、貴社よりご依頼をうけて関西圏内の排出事業者様より貴社まで収集運 搬させていただいております。また、弊社からも排出事業者様をご紹介させてい ただいており、その事業者様からの信頼も得られたということで非常に感謝し ております。

お取引を開始して約2年が過ぎ、弊社も排出事業者様との契約者様数の数も 増え順調に推移しておりますが、今後とも両社の特性を活かし、タッグを組ん で更なる社会貢献を目指していきたいと考えております。

今後とも業界のリーティングカンパニーとしてご活躍されることを心よりお祈 りいたします。

会社概要

会	社	名:大十株式会社
代	表	者:代表取締役 畠山文孝
設		立 :昭和22年4月
資	本	金:1,000万円
従	業	員:78名(2010年4月1日現在)
売	F	高:52億(2009年12月実績)

 主要事業:貨物運送取扱事業、倉庫業 (入出庫作業24時間対応) トランク・ルームサービス業
 グループ会社:有限会社大十ロジスティクス こおの交通株式会社 大十バス株式会社 有限会社こおのタクシー (株)海南食品 (株)桃山食品



組織統治・公正な業務履行

過去5年間(2005年度~2009年度)に発生した苦情・事故について、ご報告いたします。2009年度の苦情・事故 は、24件でした。いずれも直ちに対応、対策を行いました。

2009年度に発生した苦情・事故

苦情 8件

内容	原因	対策
処理センターから臭気がするとの苦情。	脱臭燃焼装置の熱交換器閉塞による緊急トラ ブルが発生し、臭気が外部に出てしまった。	熱交換器閉塞の予防措置として、熱交換器 の清掃を定期的(2 週間に1度)に実施。
	薬液洗浄施設の充填物の洗浄をおこなってい たため、乾燥プラント内の雰囲気臭が未処理 のまま外部に出てしまった。	プラント定期メンテの状況を説明し、薬液洗 浄施設のメンテを最優先し対応した。
	排水処理施設調整槽の臭気吸引不足による悪 臭漏れ。	調整槽の臭気吸引不足を改善するため、臭気 吸引ブロワを一台追加した。
	雨水排水溝の会所に堆積していた沈殿物の臭 気による悪臭発生。	雨水排水溝の清掃を実施。翌月以降毎月1回 清掃を実施するよう手順の追加をおこなった。
	臭気の原因が、臭気を処理している薬剤の匂 いであった。	施設に来ていただき、臭気を処理している薬剤 の匂いであると説明し、納得いただいた。
リバースマネジメントセンター付近から悪臭 がするとの苦情。	汚泥排出後の車両の荷台洗浄を、隣接工場か ら数メートルしか離れていないリバースマネ ジメントセンター洗車場で洗浄していたため。	汚泥排出後の荷台洗浄を処理センター内で実 施するように手順を変更。
ー お客様先での場内走行時の運転が荒いと先方 担当者からの苦情。	運転手への教育不足。	部門ミーティングで周知をした。
ー お客様工場からの退出時に、ガードマンの停止 指示を無視して退出した。	前を行く車両に続いて退出し、ガードマンに 気付かなかった。	収集運搬を委託しているグループ会社へ安全 意識向上と周知の依頼をおこなった。

環境事故 2件

内容	原因	対策
お客様先で廃棄物保管用に設置していただい ている脱着式コンテナから廃棄物が漏えい。	コンテナの老朽化により、溶接個所が破断し ていて、漏えいした。	老朽箇所を修理。また、発生時に対応して、 吸 着シートを車両へ常備。
	漏えい防止用に張っていたゴムパッキンが老 朽化していた。	ゴムパッキンを厚いものへと変更、後ろ扉の 締め付け金具を 2 個タイプから 3 個タイプの ものへと変更。

人身事故 4件

内容	原因	対策
プラント洗浄に使用した、高圧温水洗浄機の片 付け時に洗浄機内に残っていた温水で火傷。	レンタルした高圧温水洗浄機であったため、 機器使用のリスクアセスメントが できていなかった。	機械を新たにレンタルする際も、リスクアセス メントを実施。
降雪時に斜面で作業をしていて、滑って転倒し、 右腕を骨折。	滑りやすい傾斜での作業を通常の靴で行って いたため。	地面が凍結しているときに履く滑り止めの安 全靴を支給。
他社中間処理施設の荷下し時に廃棄物保管 ピットへ転落。	保管ピット前で、車両荷台の後ろ扉を無理な 体勢で開けようとして転落。	車両荷台の後ろ扉をあける専用道具を全車両 に装備。
事務所階段で踏み外して骨折。	電気をつけずに階段を上ったため。	部門ミーティングで周知した。

物損事故 10件

内容	原因	対策
処理センター内でリフト作業中に 保管容器同士を接触させる。	安全確認を怠って作業していたため。	部門ミーティングで事故内容を周知した。
外部中間処理先で搬入中に車両を設備に接触。	車両後進中で後方にばかり気を取られていた ため。	部門ミーティングで危険個所として周知した。
	安全確認を怠って作業していたため。	部門ミーティングで事故内容を周知した。
- お客様先で脱着式コンテナを設置中に側溝の グレーチングを破損させる。	グレーチングを保護する鉄板がずれていた事 に気づかず、脱着式コンテナがグレーチング の上を通った。	グレーチングと保護用鉄板の間にゴムを入れ て、ずれ防止対策を行った。
- お客様の廃棄物保管ヤードのシャッターを破損。	廃棄物保管庫のシャッターが脱着式コンテナ と接触しそうな位置にあるという 認識がなかった。	部門ミーティングで危険個所として周知した。
停車中に追突された。	先方の前方不注意。	部門ミーティングで事故内容を周知した。
	安全確認不足。	部門ミーティングで事故内容を周知した。
お客様先で重機作業中にカーテンレールを 破損させた。	積み込む廃棄物が粉体で、飛散が激しく視界 が悪い。	当該廃棄物を積み込む際には散水を行い、積 み込み重機に保護カバーを取り付けていただ く。
外部収集運搬車両が汚泥荷下ろし中に弊社貯 留槽を破損した。	前後進をする際に、誘導員の指示が不明瞭 だった。	荷下し場所にマーキングをおこない、 車両ごとに前進可能距離を運転手に伝える。
場内でリフトの作業中に停車中の車両と接触。	倉庫内の狭い場所で焦って運転をしていた ため。	リフト通行スペースを決めて、ラインテープ を貼り、人と荷物を置かないように周知した。

2008年度に発生した苦情・事故

苦情 3件

内容	対策
社員の運転マナーが悪い。	事実関係を調査し、再発防止のため運転マナーについて周知徹底した。
製品室より悪臭がする。	製品室の換気口を封鎖し、風による臭気漏れを防いだ。
西宮市より一般の方から悪臭がするとの苦情が入ったとの連絡があった。	作業中はシャッターを開けっ放しにしないよう周知した。

環境事故 2件

内容	対策
搬入された廃プラスチック類に感染性廃棄物が混入。	搬入会社に混入防止対策を依頼し確認。
コンテナを交換するときに液漏れ。	収集出発前の確認項目にコンテナ不良の確認を追加し周知した。

人身事故 1件

内容	対策
場内を歩行中に転倒、左手骨折。	原因の特定に至らなかったが、部門ミーティングにて事故内容の周知をした。

物損事故 11件

内容	対策
排出先で停車中の車と接触。	部門ミーティングで事故内容を周知。
誘導員の指示なしで無断進入した車両が汚泥ピット前のポールに接触。	搬入時は誘導員の指示があるまで進入しないように収集運搬手順を改定し周知をおこなった。
保管容器を移動中にシャッターに接触。	部門ミーティングで周知。
リフトで保管容器を移動中にピットの柵を接触。	保管容器に車輪を取り付け、リフトを使用する回数を減らした。
お客様のコンテナ設置場所の蛍光灯が破損。	原因の特定に至らなかったが、コンテナ交換時には立会いを必須として、周知した。
リフト運転中に高圧吸引車のフェンダーに接触。	部門ミーティングで事故内容を周知。

高圧吸引車をバックさせている時に重機と接触、左のバックライト損傷。	部門ミーティングで事故内容を周知。
4t コンテナ車でバックしているときに、コンテナに接触。	当事者に 4t 車両の運転を禁止とした。
コンテナ交換時に床面の鉄板がめくれた。	課員へ事故状況の周知と先方誘導の指示に従うように再度周知の徹底。
バック中に車両と雨樋が接触。	部門ミーティングにて事故内容を周知。
コンテナ設置時に雨樋に接触。	部門ミーティングにて事故内容を周知。

2007年度の苦情・事故

苦情 4件

内容	対策
マニフェストの最終処分先が契約書にない。	最終処分先の確認ができるように社内書式を変更。
マニフェスト E 票の工場住所が許可証と異なる。	市町村合併による変更であることを確認。 今後は変更があれば通知してもらうように処理先に依頼。
運転マナーが悪い。	事実関係を調査し、再発防止のため運転マナーについて周知徹底した。
高圧吸引車から悪臭がする。	高圧吸引車から発生する蒸気は、脱臭剤を通してから排気するようにした。

環境事故 3件

内容	就策	環
水質基準の超過。	pH調整設備を設置。	境
処理先での漏洩事故。	ドラム缶の状態を確認してから使用する似て手順書に追加し、周知した。	
乾燥棟での小火(ぼや)発生。	設備変更や手順を追加し、再発防止を徹底した。再発防止対策書を西宮市へ提出した。	

人身事故 1件

内容	対策
釘の踏み抜き事故。	踏み抜き防止タイプの安全靴か鉄製の中敷を必ず使用することとした。

物損事故 2件

内容	対策
後方車両への衝突事故。	ルート変更。方向転換の必要がない道路に迂回して処理先へ進入することとした。
 運搬中の荷崩れ。	代替車と清掃員を派遣。留め金具の調整、荷崩れ防止手順を周知し、再発防止を徹底した。

2006年度の苦情・事故 ※2006年度以前は、環境に関する事故のみ

内容	対策
取引先で汚泥落下。	指差し呼称による確認を手順に追加した。
処理先での刺激臭などの発生。	運搬会社と排出先で防止策・対応を検討することになった。
	指差し呼称による確認を手順に追加した。
	毎日、収集予定と処理先を関係者全員で確認するようにした。
 異物の混入。	他の廃棄物が混入した可能性があるので、コンテナへの貼紙や投入後に確認することを周知した。
	出発前にコンテナの汚れや臭いを確認することとした。
 マニフェストの紛失。	当社のグループ会社が運搬する業務でのマニフェストの返却方法を改善した。
処理先での出火。	原因となった単車のガソリンを回収して排出することを社内で徹底した。

2005年度の苦情・事故

内容	対策
ピット清掃中に皮膚の炎症を起こす。	pH 値や酸素濃度を測定する「作業指示書」を事前に作成することにし、手順書に追加した。
マニフェストの紛失。	処理先の運転手にマニフェスト受領のサインをもらうことにした。
搬入先での漏水。	コンテナのパッキンを確実におこなうことを徹底した。
搬入ルート内での廃棄物飛散。	搬入ルート内の走行条件を再確認し、再発防止を徹底した。

第三者委員会の開催

【委員】



学識者 東健太郎氏 立命館大学経営学部 准教授



弁護士 檜山 洋子氏 ^{弁護士法人ethos green} 代表社員弁護士



産業界

田畑 真理氏 大阪ガス株式会社 CSR・環境部 CSR室 室長



産業界 **野田 雅資氏**

大塚化学株式会社 生産本部 環境管理室 室長兼生産革新室 安全推進担当



労働者 稲富 啓介 株式会社リヴァックス 労働組合執行委員長



ファシリテーター **梨岡 英理子氏** 株式会社環境管理会計研究所 取締役 2010年7月26日、各ステークホルダーの方々から、 当社の事業や取り組みについてご意見をいただく場 として、第三者委員会を開催いたしました。



<総括>

リヴァックスの事業は、環境に直結していること、 そして循環型社会を形成する社会基盤である点にお いて、事業そのものがCSRであるといっても過言では ない。

また、バイオソリッド燃料を製造されている御社は、 太陽光発電や風力発電のような新エネルギーを創造 される環境ビジネス産業の企業としての価値がある と思われる。

次に目指すステップとして、循環型社会における 御社の位置付けを明確にして訴求していくことや、バ イオソリッド燃料の商品化によるコーポレートブラ ンド価値の向上などがあるのではないかと思われた。

大手企業において報告書を発行することが浸透し つつある中、御社は非常に情報量が多い報告書を発 行されている。しかも、それを社内の人間だけで作成 されている点は、CSR経営が社内へ浸透されている と評価したい。

当第三者委員会の提言を受けて、さらなる持続可能 な社会構築にむけた取り組みを期待する。

1. 本業におけるCSRについて(攻めのCSR)

リヴァックスのビジョンの一つである「廃棄物を資源 化(中間処理)し、社会(市場)に供給する『資源供給会 社』を目指します。」これがまさしく御社の将来像を提 示しているものと思われる。

御社での高いリサイクル率があらわすように、すで に廃棄物処理業を超えて、循環型社会を担う社会基 盤となられている。物が循環する一連の流れの中で、 どうしても処分をしなければいけないものもあるなか、 廃棄物を有効に再利用することは、社会の要請となっ てきている。そのなかで、循環するモノの流れの中で、 廃棄物に付加価値をあたえ、新たに資源として世に送 り出している御社は、その循環型社会において、必要 不可欠な存在である。是非とも、その循環型社会にお ける御社の位置付けを明確にして世の中に訴求して いっていただきたい。



さらに、御社が扱っておられる廃棄物が、中間処理 をされた後に肥料や燃料などの資源となっているこ とだけでなく、その肥料や燃料がどのように利用され て、社会の資源として循環していっているのかをわか りやすく表現していただきたい。



2. ブランド価値の向上のために

すでに新エネルギーであるバイオソリッド燃料を製 造されている御社における、次のステップとしては、 バイオソリッド燃料が商品となって出荷されること を期待したい。商品として販売されるためには、いく つかの課題が残っているが、その一つの課題として、 どのような付加価値をつけるかが重要である。



例えば、トレーサビリティのある燃料という付加価値 もあると思う。原料の出所が明確であるし、有機物を うたった商品は付加価値がつけやすい市場環境があ る。大企業で数パーセントのCO2排出量削減に貢献 するよりは、地産地消として、地元の企業に大きく貢 献してはどうだろうか。その付加価値を共有できる企 業とコラボレーションすることが一つの起点となりう るのではないだろうか。この商品化には、販売利益の 創出は見込めないかもしれないが、この事業に物語を あたえることによって、御社のコーポレートブランド 価値のさらなる向上が見込まれるので、是非とも積極 的に取り組んでいただきたい。

また、CO2排出量削減が注目されている中、御社の バイオソリッド燃料はカーボンニュートラルであるた め、CO2排出量のカウント対象とならないことをさら にアピールされては、どうだろうか。具体的に、「バイオ ソリッド燃料1トンで何トンのCO2が削減できます。」 などのような数字を示して、それをリヴァックスの貢 献度として訴求していくことも考えられると思う。

第三者委員会の開催

3. コーポレートガバナンスについて

御社のようにもともと法的規制を強く受ける業界は、 法を遵守すること自体がCSRであるとアピールする よりも、法を遵守することは当然の前提として、それ 以上のものを自主的に探求し深化させていくことこ そが追求すべきCSRであると捉えるべきである。外 部からの規制を遵守することは当然として、それ以上 に何をしたか、何をしていくのかをうまくアピールで きれば、CSRに真剣に取り組んでいる会社だと強く 印象付けられるのではないか。

一方で、コーポレートガバナンスなどの経営基盤の整備状況における記載が本報告書では希薄だった。コンプライアンスやコーポレートガバナンスなどは、これを外部へ情報発信することにより会社の信頼性が 増すので、積極的に発信していただきたい。

静脈産業における「安心」「安全」は業態として 必須ではあるが、御社は積極的な情報開示による 「安心」、そして、業界では珍しいISO14001と OHSAS18001の統合認証取得による「安全」の確保 も目指されている。加えて、社長ご自身の「パートナ ーが幸せになるための糧を得る場である職場で、不 幸になってはならない」という強い想いが、形式だけ にとどまらない統合マネジメントシステムの運用と なっていると思われる。

そして、御社が肥料化の事業もされているからこそ、 食農教育への協賛や自分たちでの農業イベントを実 施し、実際の農業に触れられる機会をもたれていると ころは、非常に素晴らしいと感じた。

4. 報告書の作成について

少人数の会社ながら、これだけの報告書をつくって らっしゃることに感銘を受けた。しかもそれを社内の 人間だけで作成することができる状態にあることは、 社内の情報共有がしっかりなされている証だと思わ れる。そして、全員が報告書の作成にかかわることに より、全員にCSRの考え方が浸透していると思われる。 さらに、外部内部を問わず、さまざまなステークホ ルダーからのコメントを掲載しており、コミュニケー ションが豊富である。特に今年はインターンシップ生 によるインタビューがあり、これは、自社内で報告書 の企画・製作をされているからこそできることであり、 他にはない新しい発想であると思う。

5. 具体的な報告書の修正について (〇は提言を受けて修正済みのもの、*は来年度への課題)

- 1)社名変更に関する記述をいれてはどうか(〇)
- 2)コーポレートガバナンスに関する体制図をつけて はどうか(〇)
- 3)法令順守に関する年に1回の確認は具体的な内容 を記述してはどうか(〇)
- 4)マテリアルバランスなどの数字には、昨年度との 比較が容易になる記載をしてはどうか(○)
- 5)車両等のエネルギー量増加は、活動量の増加に伴うものなので、もう少しポジティブに表現しては どうか(〇)
- 6)会社の長期的変化を表す歴史を書かれてはどうか(*)
- 7))CSRのキーワードとなるような、例えば、「ワーク ライフバランス」などの言葉を軸に表現していっ てはどうか(*)
- 8)廃棄物が資源となり、その先の用途などを明確に 示すなどをして循環していることを表現してはど うか(*)
- 9)特集のページを作るなどして、今年のハイライト がわかるようにしてはどうか(*)
- 10)環境会計(外部不経済の解消を数値として表現する会計)を導入してはどうか(*)



◆ 第三者委員会の提言を受けて



長時間に渡りご議論頂きました委員の皆さまに感 謝申し上げます。

乾燥処理施設の稼動が3年目にあたる2009年度は、 稼働率の向上と全社事業採算の確保に注力いたしま した結果、年間平均稼働率は85.5%、営業収支は黒 字となり、安定的な処理事業への取り組みに一定の 成果を得ましたが、経済環境の低迷などさまざまな影 響を受け、残念ながらバイオソリッド燃料としての販 売には至りませんでした。

更に個々の実務において改善すべき点、データによる 定量的な分析や検証による事業のあり方や経営計画 等の検討しきれていない点を、今委員会でも不十分 な部分として指摘を頂いたと感じました。引き続き本 年度の検討すべき課題として、取り組んでいきたいと 思います。

事業活動の透明性、説明責任を通じてお取引先さま ばかりでなく、消費者自身が現状の廃棄物問題に触 れることで、消費行動に影響を与えられるような機会 を提供すると共に、自らの事業活動においては環境負 荷の低減やエネルギー効率の向上に取り組んでまい ります。

企業の社会的責任(CSR)への取り組みは、事業活動に起因して発生する社会影響や環境負荷への免罪 符ではなく、本業を通じてステークホルダーや社会に 貢献する姿を具体的に示すことであり、それは『事業 の持続可能性』への取り組みそのものであると考えて おります。

パートナーをはじめとするステークホルダーとの 相互理解を図るためのコミュニケーションを活発に 行い、今後もさまざまな取り組みや活動を共に進めて いきたいと思います。

◆ 株式会社リヴァックスからの参加者



代表取締役社長 赤澤健一



取締役副社長兼処理センター長 赤澤正人



取締役 管理部長 **篠田 理俊**



取締役 営業部長
原口 和之



経営企画室 室長 伊藤 隆



経理課 課長 平井 里美

GRIガイドライン対照表

項目	指標	対応ページ
1. 戦略および 1. 1	分析 最高意思決定者の声明	P.3
1. 2	主要な影響リスク及び機会	P.3
2. 組織のプロ		
2. 1	組織の名称 主要な製品及びサービス	P.1 P.1
2.3		
2. 4	本部所在地	P.1
2.5	事業を展開する国	P.1 産廃ネット
2. 6 2. 7	所有形態の性質及び法的形式 参入市場	<u></u>
2.8	組織の規模	P.1
2. 9	期間中に生じた大幅な変更	P.29 P.4
2.10 3.報告要素	報告期間中の受賞歴	P.4
報告書のプロ	ロフィール	
3. 1	報告期間	P.1
3. 2 3. 3	前回の報告書発行日 報告サイクル	P.1 P.1
3. 4	- 戦 <u>ロリインル</u> 質問の窓口	「.」 裏表紙
報告内容のス	スコープおよびバウンダリー	
3. 5	内容決定プロセス	P.1
3.6 3.7	報告組織の範囲 報告の範囲に関する制約事項	P.1 P.1
3. 8	その他の事業体の報告理由	該当なし
3.9	データ測定法および計算の根拠	P.30
3. 10 3. 11	再掲載内容の理由	i 該当なし 該当なし
	既報告内容との相違点	改ヨなし
3. 12	GRIガイドライン対照表	P.48
保証		D.C.
3. 13 4. ガバナンス、	第三者保証の方針及び手順 コミットメントおよび参画	P.44~47
4. ガハテンス、 ガバナンス	_ ヽ / / / 4/の∪ ≫ 直	
4. 1	組織の統治構造	P.13
4. 2	最高統治機関長と最高経営責任者の兼任	該当なし
4.3	最高統治機関の社外・非執行役員数 取締役会への提案及び勧告のメカニズム	i該当なし P.13、P.43
4. 4	 取締役報酬とパフォーマンスとの関係 	
4.6	利益相反問題の回避	
4. 7	最高統治機関メンバーの決定プロセス	-
4.8	組織内の使命・価値についての声明、行動規範及び原則 最高統治機関による組織のマネジメントの監督プロセス	P.8~9
4. 10	- 取同初右後則による組織のマネクタンドの監督プロセス 最高統治機関の評価プロセス	 P.44∼47
外部のイニシ	アティブへのコミットメント	
4. 11	予防的アプローチ及び原則 採用されたイニシアティブ	P.10
4. 12 4. 13	採用されたイニシアティフ 団体及び国内外における会員資格	P.1 P.19
ステークホル:		1.15
4. 14	ステークホルダーのリスト	HPに掲載
4. 15	ステークホルダーの特定及び選定の基準	該当なし
4. 16	ステークホルダー参画へのアプローチ ステークホルダーから上がったテーマへの対応	P.44~47 P.47
	- ステークホルクー からエからたり マママの外心	1.47
D. マインクレ		
経済		
経済	アプローチに関する開示	D11
経済	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス	P.11
経済	アプローチに関する開示	P.11 P.8~9 P.10
経済 マネジメント・ 経済パフォー	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標	P.8∼9
経済 マネジメント・	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス	P.8~9 P.10
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値	P.8∼9
経済 マネジメント・	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス	P.8~9 P.10
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC3 EC4	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援	P.8~9 P.10 P.11 -
経済 マネジメント・ <td>アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定能付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 E感</td> <td>P.8~9 P.10 P.11 </td>	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定能付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 E感	P.8~9 P.10 P.11
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 E感 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅	P.8~9 P.10 P.11 該当なし 該当なし 該当なし
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC6 EC6 EC6 EC7	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 E感 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合	P.8~9 P.10 P.11
経済 マネジメント・ 経済がフォー 経済的パフォー たび1 EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC67 間援的な経済	 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 道加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス マシス マシス 環境的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 E感 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 取り影響 	P8~9 P.10 P.11 正 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
経済 マネジメント・ 経済のフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 悪 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合 約影響	P8~9 P10 P11 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
経済 マネジメント・ 経済がフォー 経済的パフォー たび1 EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC67 間援的な経済	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 E感 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合	P8~9 P.10 P.11 正 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1 EC3 EC4 市場での存在 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 E感 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 1905署 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示	P8~9 P.10 P.11 広 成当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし ア3、P.11
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1 EC3 EC4 市場での存在 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 感 現地の貫低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 対助採用手順、上級管理職の割合 約影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス	P8~9 P.10 P.11 成当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P.19~23 P.3、P.11 P.15~16
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1 EC3 EC4 市場での存在 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におばるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 E感 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合 部の影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針	P8~9 P10 P11 広 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P19~23 P3,P11 P15~16 P29
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1 EC3 EC4 市場での存在 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 感 現地の貫低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 対助採用手順、上級管理職の割合 約影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス	P8~9 P.10 P.11 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P.19~23 P.3、P.11 P.15~16 P.29 P.15 P.40
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1 EC3 EC4 市場での存在 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 感 現地の局低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合 1約影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 着しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修あよび究識向上 監視およびフォローアップ	P8~9 P10 P11 広 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P19~23 P3,P11 P15~16 P29 P15 P40 P13
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8 EC9 マネジメント・	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 悪 現地の景低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合 約影響 ベス共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修あよび意識向上	P8~9 P.10 P.11 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P.19~23 P.3、P.11 P.15~16 P.29 P.15 P.40
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォ EC1 EC3 EC4 市場での存在 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3 EC3 EC6 EC7 間接的な経済 EC3 EC3	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 悪 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合 約影響 な共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修および意識向上 監視およびフォローアップ 追加の背景状況情報	P8~9 P10 P11 広 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P19~23 P3,P11 P15~16 P29 P15 P40 P13
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間援的な経辺 EC8 EC9 環境 マネジメント・ マネジメント・	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 感 現地の局低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合 1約影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 着しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修あよび究識向上 監視およびフォローアップ	P8~9 P.10 P.11 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 下19~23 P3、P.11 P.15~16 P.29 P.15 P.40 P.15~16 P.40 P.15~16
経済 マネジメント・ 経済がフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 マネジメント・ マネジメント・ 原材料 EN1 EN2 エネルギー	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 逐 現地の最低質金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 牧が影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修あよび意識向上 監視あよびフォローアップ 追加の背景状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合	P8~9 P.10 P.11 広告なし、 該当なし、 該当なし、 該当なし、 該当なし、 第3、P.11 P.15~16 P.29 P.15~16 P.40 P.15~16 P.40 P.15~16 P.40 P.15~16 P.40 P.15~16 P.40 P.15~32
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 環境的な経済 EC8 EC9 環境 マネジメント・ 原材料 EN1 EN2 エネルギー EN3	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 逐 現地の異低質金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 初影響 マグローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 列修あよびフォローアップ 追加の背景状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量	P8~9 P.10 P.11 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P.19~23 P.3、P.11 P.15~16 P.29 P.15~16 P.15~16 P.15~16 P.30 P.31~32 P.30
経済 マネジメント・ 経済がフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 マネジメント・ マネジメント・ 原材料 EN1 EN2 エネルギー	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 逐 現地の最低質金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 牧が影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修あよび意識向上 監視あよびフォローアップ 追加の背景状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合	P8~9 P.10 P.11 広告なし、 該当なし、 該当なし、 該当なし、 該当なし、 第3、P.11 P.15~16 P.29 P.15~16 P.40 P.15~16 P.40 P.15~16 P.40 P.15~16 P.40 P.15~16 P.40 P.15~32
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8 EC9 環境 マネジメント・ 原材料 EN1 EN2 エネルギー EN3 EN4 EN5 EN6	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 恋 現地の異低質金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 初学の有法の影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 超線の責任 研修および意識向上 監視およびフォローアップ 追加の背景状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 であるのもの の	P8~9 P:10 P:10 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 第3本1 P:19~23 P3、P:11 P:15~16 P:29 P:15 P:40 P:15 P:40 P:15 P:30 P:30 P:30 P:34 P:7
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間援的な経辺 EC8 EC9 環境 マネジメント・ 原材料 EN1 EN3 EN4 EN5 EN6 EN6 EN6 EN7	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 逐 現地の最低質金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 戦化期日季順、上級管理職の割合 釣影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修あよび意識向上 監視およびフォローアップ 追加の育量状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 効率改善による省エネルギー量	P8~9 P:10 P.11 広 度当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 第3章なし P:19~23 P3、P11 P:15~16 P:29 P.15~16 P:30 P.31~32 P.30 P.30 P.30 P.30 P.30 P.30 P.30
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 正名 正名 正常ジメント・ 原材料 EN1 EN4 EN4 EN5 EN4 EN5 EN6 EN7 水	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 28 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 容的影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 可修ちよび意識向上 遠加の背景状況情報 使用風材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 開接エネルギー使用量 別本で盛による省エネルギー量 エネルギーの海軍の高い製品 間接エネルギー削減量	P8~9 P:10 P.11 広 度当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 第3本1 P.19~23 P.3、P11 P.15~16 P.29 P.15~16 P.30 P.31~32 P.30
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間援的な経辺 EC8 EC9 環境 マネジメント・ 原材料 EN1 EN3 EN4 EN5 EN6 EN6 EN6 EN7	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 恋 現地の異低質金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 初学の有法の影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 超線の責任 研修および意識向上 監視およびフォローアップ 追加の背景状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 間提エネルギー使用量 であるのもの の	P8~9 P:10 P:10 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 第3本1 P:19~23 P3、P:11 P:15~16 P:29 P:15 P:40 P:15 P:40 P:15 P:30 P:30 P:30 P:34 P:7
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経況 EC8 EC9 環境 マネジメント・ 原材料 EN1 EN2 エネルギー EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN9 EN10	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 感 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 物砂影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修および意識向上 監視およびフォーアップ 追加の育量状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 間接エネルギー使用量 間接エネルギー使用量 加容能におる省エネルギー使用量 面換のうに 直接エネルギー使用量 間接エネルギー前減量 水源からの総取水量	P8~9 P10 P11 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 第3、P11 P19~23 P3、P11 P15~16 P40 P15~16 P40 P15~16 P40 P15~16 P40 P15~16 P30 P30 P34 P7、P29 P29 P30 P34 P7.929 P29 P30
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8 EC6 EC6 EC6 EC6 EC6 EC6 EC6 EC6 EN6 EN10 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN9 EN10 生物多様性	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 感 現地の最低質金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 10秒影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修ちよび意識向上 監視およびフォローアップ 追加の育量状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 効率改善による者エネルギー量 エネルギー使用量 効率改善による者エネルギー量 エネルギー動減量 水源からの総取水量 著しい影響を受ける水源 水のリサイクル及び再利用量	P8~9 P10 P11 広当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 第3本1 P19~23 P3、P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間援的な経辺 マネジメント・ <	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 応 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サブライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合 部の影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修および2歳職向上 監視および7歳職向上 監視および7ヵ間示 目標とパフォーアップ 追加の背景状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 間接エネルギー使用量 間接エネルギー使用量 間接エネルギー一般場量 水源からの総取水量 著しい影響を受ける水源 水源の少の能取水量	P8~9 P10 P10 - 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし ア19~23 P3, P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P34 P7, P29 P29 P30 P30 P34 P30 P34 P30 P34 P30 P30 P30
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8 EC6 EC6 EC6 EC6 EC6 EC6 EC6 EC6 EN6 EN10 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN9 EN10 生物多様性	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 感 現地の最低質金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 10秒影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修ちよび意識向上 監視およびフォローアップ 追加の育量状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 効率改善による者エネルギー量 エネルギー使用量 効率改善による者エネルギー量 エネルギー動減量 水源からの総取水量 著しい影響を受ける水源 水のリサイクル及び再利用量	P8~9 P10 P10 - 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし ア19~23 P3.P11 P15~16 P29 P.15~16 P30 P31~32 P30 P34 P.7, P29 P20 P30 P30 P34 P.30 該当なし
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間援的な経辺 EC8 EC9 環境 マネジメント・ 原材料 EN1 EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN9 EN10 生物多様性 EN11 EN13 EN14	 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 道加の背景状況情報 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス指標 マンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 「感 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サブライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 現地採用手順、上級管理職の割合 第0 第0 第4、のインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修あよび意識向上 監視および7ヵローアップ 道加の育景状況情報 使用原材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 効率で高による省エネルギー量 エネルギーの単の量の 二素れギーの動率の高い戦闘 間接エネルギー一般規量 水源のからの総取水量 著しい影響を受ける水源 水のリサイクル及び再利用量 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高いが域での活動・製品の著しい影響 保護・復元されるされいる生息区域 影響を管理する戦略・活動・将来計画 	P8~9 P10 P10 - 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P19~23 P3.P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P30 P30 P34 P7.P29 P30 該当なし - 該当なし
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経辺 EC8 EC9 夏城道 マネジメント・ EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN9 EN11 EN12 EN13 EN14 EN15	 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針	P8~9 P10 P10 - 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし ア19~23 P3.P11 P15~16 P29 P.15~16 P30 P31~32 P30 P34 P.7, P29 P20 P30 P30 P34 P.30 該当なし
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 開始的な経済 EC8 EC9 東海 マネジメント・ 原材料 EN1 EN2 エネルギー EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN9 EN10 生物多様性 EN11 EN12 EN13 EN14 EN15 放出物、排出	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 28 現地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 16秒影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 伊修あよび寛譲向上 監視あよびフォローアップ 追加の育量状況情報 (使用履材料の重量または量 リサイクルロ車の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 効率改善による省エネルギー使用量 効率改善による省エネルギー プレンド動楽の高い製品 間接エネルギー使用量 水源からの総取水量 水源した影響を改善したみ、源 水源したの高い所有地・面積 生物多修性の高い所有地・面積 生物多感覚にの高い所有地・面積 生物多感染化の高い所有地・面積 生物多感染活の調が、活動・将来計画 絶滅の信頼者、保護対象種の数 参加数のの 認知 管理する戦略、活動・将来計画 絶滅の信頼者、振動・活動・ 生物多感染性の高い所有地画	P8~9 P10 P11 広 度当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 第30 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P30
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経辺 EC8 EC9 夏城道 マネジメント・ EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN9 EN11 EN12 EN13 EN14 EN15	 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針	P8~9 P10 P10 - 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P19~23 P3.P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P30 P30 P34 P7.P29 P30 該当なし - 該当なし
経済 マネジメント・ 経済パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 開境的な経済 正なりためな経済 EC8 EC3 EC4 東海 マネジメント・ 原材料 EN4 EN5 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN10 生物多様性 EN11 EN11 EN11 EN15 放出物、排出 EN15 放出物、排出	アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 追加の背景状況情報 マンス指標 ーマンス 直接的な経済価値 気候変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 [28] 現地の最低質金と標準的新入社員買金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 1000 ウガショ 東地の最低質金と標準的新入社員買金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 1000 東地線用手順、上級管理職の割合 1000 ウガンライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 1000 ブライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 1000 ウガンライレーシの方は、実施管理職の割合 1000 2010 ブローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修まよび意識に、 ウガーの「アップ 追加の育量状況情報 使用風材料の重量または量 リサイクル由来の使用原材料の割合 直接エネルギー使用量 1100 1110 1110 11110 東海市の高い製品 11111 11111	P8~9 P10 P10 R 原 度当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P19~23 P3.P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P3
経済 マネジメント・ 経済がフォー 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8 定公3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8 定公3 EC8 EC9 環境 マネジメント・ EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN6 EN7 水 EN10 4<物多棟性	 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス	P8~9 P10 P10 R P10 感当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし ド19~23 P3, P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P30 P30 P30 P34 P30
経済 マネジメント・ 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経辺 EC8 EC9 環境 マネジメント・ EN1 EN2 エネルギー EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN9 EN11 EN12 EN13 EN14 EN15 放出物,排出 EN16 EN17 EN16 EN17 EN18 EN19 EN16 EN17 EN18 EN16 EN17 EN18 EN17 EN16 EN17 </td <td> アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 道加の背景状況情報 マンス損標 マンス損標 マンス損標 マンス 夏検変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 2.8 環地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 1400 1400 第の影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 アグローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 アグローチに関する開示 目標は、パフォーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標をパフォーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標主パンオーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標主パンオーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標主パンオーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関連 「日本のの主要素がは (日本のの主要素を) (日原 材料の重量または量 リサイクル由来の使用 最大 (日星 市場 市場本(日本) 市場 市場、 水源からの総取水量 注い影響を受ける水源 水のリナイクル及び再利用量 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様目 二、注意い部長等 「日本)・現実計画 絶滅の指し 「日本 「日</td> <td>P8~9 P10 P10 - 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし ア19~23 P3.P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P34 P7.929 P29 P20 P30 該当なし - 該当なし P30 該当なし P30 P30 該当なし P30 P37</td>	 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 道加の背景状況情報 マンス損標 マンス損標 マンス損標 マンス 夏検変動におけるリスクと機会 確定給付型年金制度の組織負担の範囲 政府からの財務的支援 2.8 環地の最低賃金と標準的新入社員賃金の比率の幅 サプライヤーへの方針、業務慣行、支出の割合 1400 1400 第の影響 公共利益へのインフラ投資およびサービス展開 著しい間接的な経済的影響の把握と記述 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 アグローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 アグローチに関する開示 目標は、パフォーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標をパフォーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標主パンオーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標主パンオーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関する開示 目標主パンオーマンス 方針 組織の責任 アプローチに関連 「日本のの主要素がは (日本のの主要素を) (日原 材料の重量または量 リサイクル由来の使用 最大 (日星 市場 市場本(日本) 市場 市場、 水源からの総取水量 注い影響を受ける水源 水のリナイクル及び再利用量 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様性の高い所有地・面積 生物多様目 二、注意い部長等 「日本)・現実計画 絶滅の指し 「日本 「日	P8~9 P10 P10 - 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし ア19~23 P3.P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P34 P7.929 P29 P20 P30 該当なし - 該当なし P30 該当なし P30 P30 該当なし P30 P37
経済 マネジメント・ 経済がフォー 経済的パフォー 経済的パフォー EC1 EC2 EC3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8 定公3 EC4 市場での存在 EC5 EC6 EC7 間接的な経済 EC8 定公3 EC8 EC9 環境 マネジメント・ EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 水 EN8 EN6 EN7 水 EN10 4<物多棟性	 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス	P8~9 P10 P10 P10 原 原当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし ア19~23 P3, P11 P15~16 P29 P15~16 P30 P31~32 P30 P34 P37 P30 P34 P30 P34 P35 P30 P34 P35 P30 該当なし - 該当なし P30 該当なし

	45 47	4 ct .0
項目 EN23	指 標 影響を及ぼす漏出の総件数および流出量	対応ページ P.26~28
EN24	国家間を移動した廃棄物の割合	該当なし
<u>EN25</u> 製品とサービ	_ 排水により影響を受ける水域	該当なし
EN26	へ 環境影響を軽減する取組と程度	P.34~37
EN27	製品などのリサイクル割合	P.32
<u>法令遵守</u> EN28	環境法・規制に対する罰金と件数	P.12
	米売/A /売前に/19 つ割亚C目 外	1.12
EN29	輸送による著しい環境影響	P.30
その他全般 EN30	環境保護目的の総支出・投資額	
社会		
	<u>☆正な労働条件</u> アプローチに関する開示	
<u> マネンメント</u>	アノローテに関する用小 目標とパフォーマンス	P.15~16
	方針	P.38
	組織の責任	P.15 P.39~40
	│研修及び意識向上 「監視及びフォローアップ	P.39~40
	追加の背景状況情報	P.38~39
雇用		D1
LA1 LA2	総労働力の内訳 離職率・離職数・内訳	P.1 P.41
LA3	正社員にのみ提供される福利	P.41
労使関係		
LA4 LA5	団体協約の対象となる従業員の割合 業務上の重要な変更に関する最短通知期間	P.43 該当なし
		1 RX 3'4U
LA6	公式の労使合同安全衛生委員会対象の従業員割合	P.13
LA7 LA8	欠勤の割合・業務上の傷害、死亡者数 深刻な病気に関する教育および危機管理プログラム	P.15~16 P.15~16
LA8 LA9	深刻な納丸に関する教育および厄俵官理ノロクラム 労使合意された安全衛生のテーマ	P.15~16 P.38
研修および教	.育	·
LA10 LA11	年間平均研修時間	– P.41
LATT LAT2	キャリア支援プログラム 定期的審査を受けている従業員の割合	P.41 該当なし
多様性と機会	均等	
LA13	多様性指標による従業員の内訳	P.41
LA14 人権	従業員カテゴリー別の基本給の男女比率	-
	アプローチに関する開示	
	目標とパフォーマンス	
	方針 組織の責任	P.8~9
	一組織の員任 研修及び意識向上	
	監視及びフォローアップ	P.13
10.70 6. 1. 400-0	追加の背景状況情報	-
<u>投資および調</u> HR1	達の慣行 人権に配慮された投資協定の割合・総数	
HR2	人権に配慮されたサプライヤーなどの割合と対処処置	
HR3	方針及び手順の従業員研修の総時間数・従業員の割合	
	羊則車例此数し取られた世界	
 HR4 結社の自由	差別事例件数と取られた措置	-
HR4 結社の自由 HR5	差別事例件数と取られた措置 結社の自由権利侵害業務と権利支援	-
HR4 結社の自由 HR5 児童労働	結社の自由権利侵害業務と権利支援	- -
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6		 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7	結社の自由権利侵害業務と権利支援	 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策	
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合	
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合	
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権権 HR9 地域社会	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 J 先住民の権利に関する違反事例件数と措置	
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権権 HR9 地域社会	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 リ 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示	 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権権 HR9 地域社会	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 J 先住民の権利に関する違反事例件数と措置	
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権権 HR9 地域社会	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 リ 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任	- - 該当なし P15~16 P8 P.13
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権権 HR9 地域社会	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 リ 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任	- - 該当なし P.15~16 P.8 P.13 P.40
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 リ 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修及び意識向上 監視及びフォローアップ	- - 該当なし P.15~16 P.8 P.13 P.40 P.44~47
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 リ 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任	- - 該当なし P.15~16 P.8 P.13 P.40
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 小城社会 マネジネント・ コミュニティー SOI 不正行為		- 該当なし P.15~16 P.8 P.13 P.40 P.44~47 P.19~23
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S02 S03		- - 該当なし P.15~16 P.8 P.13 P.40 P.44~47 P.19~23 P.12 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S03 S04	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 リ 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修及び意識向上 監視及びフォローアップ コミュニティに対する事業の影響評価 汚職・不正行為に関連する総数およびその割合	- - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P12
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 地域社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S02 S03 S04 公共政策	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 」 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修及び窓識向上 監視及びフォローアップ コミュニティに対する事業の影響評価 汚職・不正行為に関連する総数およびその割合 反汚職・不正行為に対して取られる措置	- - 該当なし P15~16 P.8 P13 P40 P44~47 P.19~23 P.12 該当なし 該当なし 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S03 S04		- - 該当なし P.15~16 P.8 P.13 P.40 P.44~47 P.19~23 P.12 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 小城社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S03 S04 公共政策 S05 S06 反競争的な利	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 「先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修及び意識向上 監視及びフォローアップ コミュニティに対する事業の影響評価 汚職・不正行為に関連する総数およびその割合 反汚職・不正行為に対して取られる措置 公共政策に関してとっている立場 政党、政治家への献金および物品提供の総額 動	- - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P12 該当なし 該当なし P5, P21 該当なし
HR4 結社の自由 相名 児童労働 HR5 漫劇労働 HR6 強劇労働 HR7 保安慣行 日宿 大住民の権利 H8 大住民の権利 H8 三ュニティー S01 不正行為 S02 S03 S04 公共政策 S05 S06 反防 S07	 結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 ・ ・	- - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P.44~47 P19~23 P12 該当なし 該当なし 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 小城社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S03 S04 公共政策 S05 S06 反競争的な利	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 「先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修及び意識向上 監視及びフォローアップ コミュニティに対する事業の影響評価 汚職・不正行為に関連する総数およびその割合 反汚職・不正行為に対して取られる措置 公共政策に関してとっている立場 政党、政治家への献金および物品提供の総額 動	- - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P12 該当なし 該当なし P5, P21 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公式政策 SO7 法令順守の 第07 法令順守在 SO8 製品責任	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 リ 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修及び意識向上 監視及びフォローアップ □ミュニティに対する事業の影響評価 汚職・不正行為に関連する総数およびその割合 反汚職・不正行為に対して取られる措置 公共政策に関してとっている立場 政党、政治家への献金および物品提供の総額 丁動 反競争的なへの法的措置の件数と結果 罰金と総数	- - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P19~23 P12 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公式政策 SO7 法令順守の 第07 法令順守在 SO8 製品責任		- - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P.44~47 P19~23 P12 該当なし 該当なし P5, P21 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし P12
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公式政策 SO7 法令順守の 第07 法令順守在 SO8 製品責任		- - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P12 該当なし P5. P21 該当なし I該当なし P5. P21 該当なし P12 P15~16
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公式政策 SO7 法令順守の 第07 法令順守在 SO8 製品責任		- - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P12 該当なし P5、P21 該当なし P5、P21 該当なし P5、P21 該当なし P12 P15~16 P3~4 P15~16
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公式政策 SO7 法令順守の 第07 法令順守在 SO8 製品責任		- - - - - - - - - - - - - -
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公式政策 SO7 法令順守の 第07 法令順守在 SO8 製品責任		- - - 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P12 該当なし P5,P21 該当なし P5,P21 該当なし P5,P21 該当なし P12 P15~16 P3~4,P8~9 P15~16 P15~16 P15~16
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公式政策 SO7 法令順守の 第07 法令順守在 SO8 製品責任		- - - - - - - - - - - - - -
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 小球社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 マネジネント・ ジロ SO2 SO3 SO4 SO5 SO6 SO7 SO8 製品責任 マネジネント・ 三 三 三 三 三 第層をの安全省 PR1		- - - - - - - - - - - - - -
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 先住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S02 S03 S04 公共政策 S05 S06 反競争的な行 S07 法令順守 S08 製品責任 マネジネント・		- - 該当なし P15~16 P3 P13 P44 P44~47 P19~23 P12 該当なし 該当なし E5 P21 該当なし 文当なし 該当なし P5 P21 該当なし P5 P21 該当なし P12 P15~16 P3~4, P8~9 P15~16 P3~4, P8~9 P15~16 P3~4, P8~9 P15~16 P3~16 P15~16 P15~16 P15~16 P17 P19~23
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 常ん住民の権利 HR8 地域社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S02 S03 S04 公共政策 S05 S06 反影争的な行 S07 法令順守 S08 緊島責任 マネジネント・ 二 二 第8のの安全省 ア1 PR2		- - - - - - - - - - - - - -
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 常なジネント 二三二二ティー S01 本ジネント 二三二二ティー S01 不正行為 S02 S03 S04 公式共政策 S05 S06 反競争的な行 S07 法令願費 原名の安全指 PR1 PR2 製品とサービ PR3 PR4		- 読当なし P15~16 P8 P13 P44~47 P19~23 P12 該当なし ア5, P21 該当なし P5, P21 該当なし P12 P15~16 P13 P10 P34 P12, P26~28 P6~7 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 強制労働 HR7 保安慣行 HR8 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO5 SO6 反競争的な行 SO7 法令順守 SO8 製品責任 平ネジネント・ マネジネント・ マネジネント・ マネジネント・ マネジネント・ アネジネント・ マネジネント・ SO8 製品とサービ PR3 PR4 PR5		- - - - - - - - - - - - - -
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 小田客 大住民の権利 HR8 先住民の権利 中国 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公共政策 SO5 SO6 反競争的な行 SO7 法会順守 SO8 製品責任 マネジネント・ 一 一 夏の安全省 PR1 PR2 製品とサービ PR3 PR4 PR5 マーケティンジ		- 読当なし P15~16 P8 P13 P44~47 P19~23 P12 該当なし ア5, P21 該当なし P5, P21 該当なし P12 P15~16 P13 P10 P34 P12, P26~28 P6~7 該当なし
田R4 結社の自由 相名 見童労働 田R5 児童労働 田R6 強制労働 田R7 保安慣行 田R8 地域社会 マネジネント・ コミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公共政策 SO5 SO6 反競争的な行 SO7 法令順守 SO8 製品責任 PR1 PR2 製品とサービ PR3 PR4 PR5 マーケティンシ PR6 PR7	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 」 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修及び意識向上 監視及びフォローアップ コミュニティに対する事業の影響評価 汚職・不正行為に関連する総数およびその割合 反汚聴・不正行為に対して取られる措置 公共政策に関してとっている立場 政党、政治家への敵金および物品提供の総額 予助 反競争的なへの法的措置の件数と結果 罰金と総数 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 一 取合した 監視及びフォローアップ 通加の背景状況情報 10 反第載・などへの不順守件数 スペのラペリング 必要な製品及びサービス情報の種類 ブペリングに関する規制,違反件数 顧客満足度調査 インタッション マーケディングに関する規制、違反件数	- 読当なし P15~16 P8 P13 P44~47 P19~23 P12 該当なし ア5, P21 該当なし P5, P21 該当なし P12 P15~16 P13 P10 P34 P12, P26~28 P6~7 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 漫創労働 HR7 保安慣行 小城社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S02 S03 S04 公共政策 S05 S06 S07 太令順守 S08 製品とサービ PR3 PR4 PR5 マーケティン2 PR6 PR7 顕客のプライ		- 読当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P12 該当なし P5.P21 該当なし P5.P21 該当なし P15~16 P3~4.P8~9 P15~16 P18 P15~16 P15~26 P18 P18 P18 P18 P18 P19 P34 P12.P26~28 P6~7 該当なし - -
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 常ん住民の権利 HR8 大住民の権利 HR9 地域社会 マネジネント・ 二ミュニティー SO1 不正行為 SO2 SO3 SO4 公式の第のの安全値 PR1 PR2 副をの安全値 PR3 PR4 PR5 マーケティンピ PR6 PR7 顧客のブラィイ PR8	結社の自由権利侵害業務と権利支援 児童労働業務、防止措置 強制労働のリスクがある業務と防止対策 人権に関する方針・手順の研修を受けた保安要員割合 」 先住民の権利に関する違反事例件数と措置 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 研修及び意識向上 監視及びフォローアップ コミュニティに対する事業の影響評価 汚職・不正行為に関連する総数およびその割合 反汚職・不正行為に対して取られる措置 公共政策に関してとっている立場 政党、政治家への敵金および物品提供の総額 予助 反競争的なへの法的措置の件数と結果 罰金と総数 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 一 取合した 取換り指置 クローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織の責任 一 方動 反競争的なへの法的措置の件数と結果 罰金と総数 アプローチに関する開示 目標とパフォーマンス 方針 組織及びフォーアップ 追加の背景状況情報 西 大会工 大会工 大会工 支金 支金 日標をしたっ	- 読当なし P15~16 P8 P13 P44~47 P19~23 P12 該当なし P5, P21 該当なし P5, P21 該当なし P12 P5, P21 該当なし P5, P21 該当なし P12 P15~16 P15~16 P13 P10 P34 P12, P26~28 P6~7 該当なし
HR4 結社の自由 HR5 児童労働 HR6 遠割労働 HR7 保安慣行 小城社会 マネジネント・ コミュニティー S01 不正行為 S02 S03 S04 公共政策 S05 S06 反競争的な行 S07 法令順守 S08 製品書任 マネジネント・ 一 原ドロー S06 S07 大会順守 S08 製品とサービ PR3 PR4 PR5 マーケティンジ PR6 PR7 顕客のプライ		- 該当なし P15~16 P8 P13 P40 P44~47 P19~23 P12 該当なし P5.P21 該当なし P5.P21 該当なし P15~16 P3~4, P8~9 P15~16 P18 P15~16 P18 P15~16 P18 P18 P18 P18 P19 P34 P12, P26~28 P6~7 該当なし - -

該当なし……当社の事業に該当しないもの、 ー……記載を行っていないもの、 HPに記載……http://www.revacs.com/、 産廃ネット……http://www.sanpainet.or.jp

アンケート集計結果(CSR報告書2009)

2009年10月に発行いたしました「CSR報告書2009」へのアンケート結果を以下のとおり、ご報告いたします。 たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。



編集後記

最後までご拝読賜り、誠にありがとうございます。毎年、報告書を作成するにあたっては、社内外の多くの 方々に多大なご支援を賜っております。本年もコメントを執筆頂いた方々、インタビューを快く引き受けて くださった方々、数えきれないくらいの修正を黙々と作業していただいたデータ編集の方々、そして、第三 者委員会の委員の方々にご支援を賜りました。改めて、ここで厚く御礼を申し上げます。何分、自分たちだ けで作成しておりますので、稚拙な表現も多々あったかと思います。どうぞ、忌憚のないご意見をアンケー トにて賜れましたら幸甚でございます。

2010年10月 株式会社リヴァックス CSR推進室 谷口 理保

Corporate Information

Company Name	: REVACS Corporation
Location	: 2-1-16 Naruohama,
	Nishinomiya-city, Hyogo,
	JAPAN
Established	: March 26, 1974
Representative	: Kenichi AKAZAWA, CEO
Paid-in Capital	: 81,000,000 yen
Employees	: 35 (as of April 2009)
	including 1 contractor
Annual Sales	: 1.3 billion yen (in the
	fiscal year ending March
	2010)
Main Business	: Recycling of industrial
	waste (shredding and
	drying)
	Collection and
	Transportation of
	industrial waste
	Consultancy
Group Companies	: Daiei Corporation
	(Collection of household
	waste in Nishinomiya city)
	Daikyo Corporation
	(Collection of household
	waste in Itami city)
companies are out	gr.jp/

Editorial Policy

Policy: This report is made by reference to "Guidance on Social Responsibility (ISO26000)" which International Organization for Standardization (ISO) is working on. Core subjects of this guidance are "Organizational governance" "Human rights" "Labor practices" "The environment" "Fair operating practices" "Consumer issues" and "Community involvement and development" . We deal with these core subjects in the following four sections "Organizational governance and Fair operating practices" "Environment" "Human rights and Labor practices" and "Community involvement and development and Consumer issues". In an internationalizing society, our report includes English pages for the readers who understand a language other than Japanese

to inform of our activities widely. Scope : REVACS Corporation Period : FY2009 (April 1, 2009 to March 31, 2010) *Some results and activities in FY2010 are also included. Date of issue : October 2010 (Previous: October 2009. Next: October 2011) **Reporting area** : Environmental, Social and Economic aspects Reference guideline : "Sustainable Reporting Guidelines 2006" GRI "Environmental Reporting Guidelines 2007" Ministry of the Environment

Awards in FY2009

Environmental Report Award 2009 : sponsored by Toyokeizai Inc. and Green Reporting Forum

Eco products awards 2009 : sponsored by promotion committee of Eco products awards

Past Awards

Environmental Report Award 2006 : sponsored by Toyokeizai Inc. and Green Reporting Forum

Environmental Communication Awards 2006 : sponsored by Ministry of the Environment and Global Environment Forum (GEF)

Partnership Awards 2006: sponsored by NPO partnership support center

Environmental Report Award 2007 : sponsored by Toyokeizai Inc. and Green Reporting Forum

Japan Environmental Business Awards 2008: sponsored by MIE Prefecture, Japan Environmental Business Awards committee

Contents

Corporate Information / Editorial Policy Awards / Contents Message from the CEO	60
Organizational Governance / Fair Operating Pra	
Our Business REVACS's Perspective of CSR Our Mission and Principle Management Plan Corporate Governance Target and Achievement Information Disclosure	70 73
Environment	
Environment Material Flow of the Waste Recycling of Industrial Waste Material Balance Environmental Activity Environmental Activities in the Office Reduction of Environmental Burden	83 84 85 86
Human Rights / Labor Practices	5
Occupational Health and Safety Education Personnel System	89 92 93
Community involvement and Development / Consumer i	ssues
Communication Approaches to Proper Treatment Complaints and Accidents	105
 Proposal from Third-party Committee GRI Content Index Summary of the questionnaire 	115

Message from the CEO

K. Alcazawa



Kenichi Akazawa Chief Executive Officer **REVACS Corporation**

To begin with...

We changed our company name from Daiei Service Co., Ltd., to REVACS Corporation in October 2009. In spring 2009, we redefined our mission, management principle, vision, and action guidelines to clarify what value applied to whom. The name was changed to REVACS to show stakeholders the direction in which we were moving. "REVACS" has the following meaning: "Re" stands for our business – recycling, reusing, and reducing – and new business chances with resources, reversing, and restructuring business. "E" represents our business of supplying economical and ecological energy through an equity enterprise.

The new name expresses our hope to continue providing customer and community satisfaction and maximizing value. We are therefore moving forward targeting the achievement of our mission.

Introduction

We have been engaged in the disposal of industrial waste since 1960s. Utilizing long experience, we provide appropriate service to "reduce", "reuse", "recycle" and "properly dispose of" the waste. Through our service, we contribute toward preservation of global environment and construction of recycle-oriented society. Wishing for understanding of our activities by wide range of people, we publish this "CSR Report 2010" (the ninth edition).

"Responsibility of our business for its impact on the society"

Disposal facility for industry waste is a social infrastructure, and its construction and operation may have a big impact on the local community. Moreover, it could be a big environmental burden should an accident happen. We must recognize 'An accident is the biggest negative environmental impact or destruction'. In this regard, we are certificated an integrated certification in Oct 2008 of environmental management system (ISO14001) and occupational health and safety management system (OHSAS18001) for the continued reduction of environmental burden and for an appropriate management and control of the facility as proactive measure against potential accident.

"Responsibility of contribution to our stakeholders"

We are achieving high recycling rate of industrial waste with the support of customers

(waste generators). In cooperation with NPO, 'Learning and Ecological Activities Foundation for children (LEAF)' based in Nishinomiya –Environmental Learning City –, local companies and citizens, we continue to give environmental learning classes receiving students and teachers from elementary school to high school as well as trainees from overseas an expression of our sense of responsibility to the local community.

And our stance is unchanged in the pursuit of a realization of REVACS's the basic idea "to create a company where 'those working for our clients (Partner), who are the most important assets of ours', can work with a sense of security and demonstrate their true abilities".

"Contribution to the society through business"

We seriously take to heart the "Responsibility of our business for its impact on the society" and "Responsibility of contribution to our stakeholders". Also, we are aware of the big responsibility to build a sustainable society. Through the contribution to the industry taking advantage of the characteristic of our "recycle oriented" business, and through the cooperation with stakeholders such as government institution, local community and NPO or through disclosure of information, we, together with employees, are committed to carry on as an entity that can provide a sense of security and win a wide confidence of society.

Your continued support and cooperation will be greatly appreciated.

Special thanks to Internship Students

Two internship students, Lisa Katagiri and Yun Yamanaka admitted from the student association EPSA, helped edit this report and worked even harder than our regular staff. I hope they find this experience valuable when they enter the business world.

This report is made by us, and we are nonprofessionals, so be so kind as to pardon the insufficient content and explanations. Any advice or comments you may have would be most deeply appreciated.

Message from the Editors



Riho Taniguchi, CSR Promotion Section



Lisa Katagiri, Internship student, 2nd grade, Osaka University



Yun Yamanaka, Internship student, 2nd grade, Osaka University

The purpose of this year's report is to help those who read these reports to understand our company better. To achieve this, we explain our thinking and what we did in FY2009. We used easier words, separated Japanese and English text, and implemented larger fonts. We also included two interns, who did most of the interviews and helped much in preparation. While this report is not enough to fully understand REVACS, I hope it helps and look forward to your questions and comments.

My first impressions are the open office and frank communication at REVACS. At first, five months of internship looked like a long time. With everything so fresh and new to me, however, time simply flew by! While editing the CSR Report, I learned my limitations and often began to get discouraged. As the substitute, I could include my whole mind and wonderful REVACS.

When this internship started, I had problems because I could not get used to working with a PC, talking with business people, and assuming a sense of responsibility for my work. Thanks to the REVACS' staffs' consideration and cheerful atmosphere, however, I soon became used to these. I could learn various things, having fun but also feeling stress – in the good sense. In helping make the CSR Report, I was very impressed by REVACS' sincere attitude toward information disclosure and enthusiasm toward corporate social responsibility.

I am glad to see that what I wrote became part of the CSR Report despite my poor communication and writing.

Our Business

Business flow chart

REVACS conducts a series of waste management business such as transportation of industrial waste from waste generator, intermediate treatment (separating/shredding/ drying) and transportation to the recycling company.



The nature of industrial waste is various like liquid or solid. We choose appropriate vehicle according to the type and packing of the waste for safety and sanitary transportation.



▲Lorry truck with detachable container system



▲Vacuum car



▲Flat truck

Lorry truck with detachable container system	11
Vacuum car	3
Flat truck	1

Transshipment and Storage

To process waste smoothly, we have the stock yards in two places.

◇ Reverse Management Center

Capacity	735 m
Permission article	Sludge, Waste acid, Waste alkali, Waste plastics, Animal & vegetable remnants, Metal scrap, Glass concrete and ceramics
Date of installation	March 11, 2008



♦ Stock yards in shredding building

Capacity	221 m	
Permission article	Waste oil, Cinders, Sludge, Waste plastics, Waste paper, Chips and sawdust, Waste textile, Animal and vegetable remnants, Waste rubber, Metal scrap, Glass concrete and ceramics, Mining waste, Demolition debris, Soot and dust	
Date of installation	n February 10, 2006	

Shredding treatment

Sort and shred the solid waste like waste plastics to reduce the volume.

Processing performance	50t/day (For eight hours). ※ Authorization processing performance 94t/day	
Permission article	Waste plastics, Waste paper, Chips and sawdust, Waste textile, Waste rubber, Metal scrap, Glass concrete and ceramics, Demolition debris,	
Date of installation	February 10, 2006	

Drying treatment

Organic waste from food factory is dried and processed into the 'Biosolid fuel' or compost according to the demand of the clients. It can be utilized at paper mills and cement factories as an alternative fuel.

% 'Bio solid fuel' is one of biomass fuel made from organic sludge. It is carbon-neutral that means CO₂ emission from its combustion can be counted out. (Calorie: 18.8MJ/kg)



▲ Organic waste



▲ Drying plant



Bio solid fuel

Alternative fuel for paper mills and cement factories



Compost Using as a material of fertilizer

■ Hyogo prefecture set up a system called 'Hyogo biomass eco model' in which pioneering attempts to utilize biomass is registered as such. These attempts are actively introduced to the people to promote the use of biomass in the prefecture.

Processing performance	90.9 cubic meter/day(24hours)	Mode of processing	Dryness of decompression of temperature of continuous oil
Permission article	Sludge, Waste oil, Waste acid, Waste alkali, Animaal and vegetable remnants,	Date of installation	May 1, 2007

REVACS's Perspective of CSR

CSR (Corporate Social Responsibility) in our frame of mind is as shown in the following chart. We can say that the corporation has a social responsibility to become an entity necessary for the society, to have the society evaluate its activity and to operate in line with the sustainability of both the society and the business itself.

We draw up business plans and implement them based on its corporate principle, or basic philosophy of, say, mission while responding to the changes in social condition or needs.

In the business aspect, we are naturally responsible to pursue the profit, but mere pursuit of the profit can make the business difficult to survive. In this regard, our activity has to be efficiently proceeded through innovation on the one hand, and at the same time it needs to be fair, especially in view of compliance and transparency.

In the social aspect, we actively disclose information through our website and other communication tool to introduce our business and philosophy to the public. Also, to avoid being self-righteousness, we have direct talks with stakeholders as well as the third-party committee to have our company evaluated. The various opinions given in the committee have been taken in our activities for further stepping up.

We believe we can contribute to the society through our primary business toward the realization of sustainable society through the synergic effect of our efforts in the business and the social aspects.

Also the succession of movement can be further expanded and reinforced as the individual or corporate entity grows up.



Environment

Community involvement and Development / Consumer

Senssi

Our Mission and Principle

While we go about business, the ideas that become a radical are Our Mission, Principle and Vision. And we set up the 'Action Guidelines' to achieve them by the partners.

%the partners: employees, contractors, everyone who work for our clients.

Our Mission

We strive to realize sustainable society through the waste disposal service that can be relied on with sense of security by the all stakeholders and to contribute to the benefit the partners, customers and society.

Principle

1. Contribution to the partners

We return business profits to partners because we want them to enjoy quality lives through their work worthwhile and the work leads to fulfill their sense of value.

For the reason, manager provides opportunity of partner's activity with one's acquirement.

2. Contribution to the customers

We establish the most suitable business model by our Hard (institution having social needs) and Software (our partner) to offer plans that makes more benefit with fairness.

3. Contribution to the society

We always keep the activity that we are needed by social community, and are trusted by them in mind as a member of society. We take responsibility for the impact our business has on society and for contributing to our stakeholders, supporting a sustainable society.



Vision

We aspire to be the best law-abiding and the most active information-disclosing corporation. After processing the waste, we strive to supply the marketplace with resources produced by processed waste.

Action Guidelines

1. Professionalism pride and responsibility At REVACS, we work seriously with an

awareness of money compensation and complete pride in order to satisfy our customers with work done well.

2. Good balance: independence and cooperation Independence: we strive to think independently and reflect such independent thinking in our work. Cooperation: we strive to think for everyone and work together. At REVACS, we value being flexible, and having good balance between the Independence to Cooperation.

3. Positive change and growth

At REVACS, we are always working to improve and to grow. For us, a serious attitude toward our work keeps our spirits soaring.

4. Adaptability

We adapt to the demands of different situations while being sensitive to change. We are honest about our past successes and our past failures. We work hard to adapt, even in difficult circumstances.

5. Secure reasonable profit

We recognize it to meet the prospect of the people whom we take with us for responsibility when security of reasonable profit for sustained prosperity after business model was established is indispensable.

Management Plan

To achieve our long-term Vision, we set and implement intermediate-term management plans. Plans are made for achieve the vision by analyzing the external and the internal environment. Each section's activities implement the consistency of the principle, the Vision, Environmental policy and Occupational Health and Safety policy.





5th Midterm Management Plan Review

Target	Results (Activities)	Reminder
Strengthening differentiation	 Manufacturing bio-solid-fuel by drying organic waste Recycling beverage waste Recycling liquid waste in conformance with Food Recycling Law 	•Cannot sell bio-solid-fuel Will work to sell it in the future
Information disclosure/ Accountability	 Increasing CSR report circulation 3,000 FY 2007 → 5,000 FY 2009 We increased CSR Report distribution by 50%. (cf FY 2007) 	•Received some comments difficult to read Will target more readable reports in the future
Improving profit margin	•Going into the black in FY 2009 (refer to P.69)	•Well-balanced operation •Reduced energy cost by promoting energy saving
Strengthening management base •Productivity per person up 25% over FY 2008 •Integrating certified management in FY 2008		•Improved financial grounds

Activities based on the 5th midterm management plan are listed in the following table.

6th Midterm Management Plan Statement



6th Midterm Management Plan

Our clients in manufacturing must change to be comply with the external environment as follows: making natural resource from waste, raising concern about global warming, and reducing the worldwide economy. We set up the 6th midterm management plan considering what to do for customer contribution. We are planning new facilities for becoming a natural resources supplier in the 7th midterm management plan.

Basic Policy

Real operations that can be relied on with sense of security by all stakeholders Providing the service with cost performance and customer satisfaction

Management Plan Overview

Purpose	Target	Activities
	Ensuring of 10% operating profit ratio	•Improving continuous productivity by total optimization.
Establishment of financial grounds		•Reviewing value chain for matching external environment
		 Increasing service value by selling bio-solid-fuel
	Reduced energy cost = Reduced CO2 emission	 Improving production efficiency by improving plant
		•Reducing energy consumption by upgrading
		•Reviewing transport for matching individual customers
	Accountability and transparent business activities	•Information disclosure, e.g., through CSR reports
Business activities based on safety and		•Continuing external judgment, holding the third party committee, and taking part as an internal auditor from outside
a sense of security	No work-related accidents No accidents	•Reducing potential and overt risk by continuous occupational health and safety management improvement
	No complaints	•Facility management based on maintenance management plan
		•Anti-odor measures through basic work

Financial Information

The charts below show our business performance in fiscal 2005-2009 and the forecast for fiscal 2010. Sales in March 2010 were marginal but exceeded those of the previous year. Operating and current profits increased greatly for the following reasons:

1. Improved cost considerations and productivity by visualize the revenue and expenditure

2. Improved our plant use by several activities.

We are continuing to make a stable profit by all members. For details, please see the following Internet website for waste treatment firms (Sanpai Net^{*}) for balance sheets and profit-and-loss statements for the last three years in compliance with official waste disposal evaluations. %Sanpai Net http://www.sanpainet.or.jp





^{*}Division into divisions was not used until fiscal 2006.

Voice from our consulting accountant



Mr. Shigeki Taenaka Certified Public Accountant Licensed Tax Accountant Taenaka CPA Office

In my 17 years of doing business with REVACS, I have always found something new in CEO Mr. Akazawa's thinking about financial aspects as shown in this CSR Report. Creating financial statements are a manager's responsibility, of course, but surprisingly few managers of small and medium-sized businesses seem to be aware of this. For REVACS, the CEO's keen interest in financial aspects is clear, as shown by the incisive questions so often asked by the president.

Ordinary profits went into the black this year, which is the third since the drying plant started operation – despite the difficulty of going into the black under our currently harsh economic conditions. Mr. Akazawa' s leadership and efforts left me greatly impressed.

Community involvement and Development / Consumer issues

CSR Promotion and Corporate Governance Organization

Fair management involves corporate governance consisting of an auditor's board and board of directors. Our company uses integrated management because it avoids the polite fiction of "fair management," as shown in the figure below.



Management System

We use business management system because our business is based on the environment and we wish to minimize unhappiness in the workplace. At the end of the fiscal year, we identify environmental aspects and implement risk assessment with all partners for setting up objective and targets. Objectives, targets, and programs provided for achieving targets, who, when, and how are based on a company consensus. After programs are set, they are checked at the SR (Social Responsibility) committee in every month. Other check functions are internal audits twice a year and external audits once a year. To take action, a management review is held in December to review improvements and need for changes in the management system, including the policy and objectives. Using this cycle, we continuously improve.





Compliance with the Law

We conduct in-house review whether the environment-and-OH&S related regulations are observed. In FY2009, we had no serious violations. There are parts of the environment-and-OH&S related regulations that our company applies as follows.

Environment-related regulations

 Waste Management and Public Cleansing Law
 Environment conservation agreement with Nishinomiya-city
 Air Pollution Control Law
 Act Concerning Special Measures for Total Emission Reduction of Nitrogen Oxides and Particulate Matter from Automobiles in Specified Areas
 Noise Regulation Law
 Vibration Regulation Law
 Offensive Odor Control Law
 Sewage law

OH&S-related regulations

Industrial Safety and Health Law
 Ordinance on Prevention of Anoxia
 Labor standard Law
 Fire Defense Law

SR(Social Responsibility) Committee

A SR(Social Responsibility) Committee is held monthly to examine the mode of operation and verify management performance. Meeting monthly is easy to do in the short span of one year. The SR Committee consists of the CEO, all executives and managerial staff, and labor union representative. This committee ensures overall intelligence sharing. Information needed by each section is announced to partners at each section meeting.



Appearance of SR committee

CEO Patrol

A CEO patrol is held monthly as part of management to check that procedure manuals are followed by individual sections and that workplaces are neat and tidy for efficient work. In fiscal 2009, 45 items ware pointed out, and the patrol date is not openly. Matters previously pointed out are rechecked at the next patrol.


Environment

Auditing

Internal audits twice a year) and external audits once a year were held to check OHSMS & ISO management and performance. Audits in the table below were conducted in fiscal 2009. We took part as an internal auditor outside the company for Mr. Sasa (refer to P. 77) to introduce more objectivity.



▲Internal audit in June

	Internal auditing in June	Internal auditing in January	External auditing in October
Major nonconformities	0	0	0
Minor nonconformities	1	2	0
Observations	3	1	0
Opportunities for	0	0	2
improvement	0	0	د
Noteworthy effort	0	0	1



▲External audit in October



▲Internal audit in January

Voice from our consulting lawyer



Mr. Ken Ueda Attorney at Law, Sakura Law Office

I was invited by REVACS to lecture in March on measures against the dangers of antisocial powers.

"Antisocial powers" are any group or person, such as a gangster organization, who seek economic benefit through force or fraud. It is a fact that they contact companies through trickery and use such connections to make unreasonable demands.

Seen from the view of compliance, it is prohibited to offer funds or make exchanges with them in secret, whatever the threatened disgrace. Seen from the view of risk management, it is vital that CEOs clearly shun any relationship with antisocial powers and that a system be implemented in the organization to exclude them. You should take a united approach in resolutely refusing to deal with them, whatever their approach.

REVACS places priority on compliance without being in an old way, working constantly to improve itself as a company. I can see these attitudes from holding lectures in which both management and employees take part. REVACS acts positively and quickly when it sees something worth doing. I have great expectation of REVACS' management because of how it places priority on compliance with foresight.

Target and Achievement

Environmental and Occupational Health and Safety Management system results of FY2009 ware as follows.

Objective and midterm tar	get(from FY 2007 to 2009)	Target in FY 2009
Environment	 Realization of a "Fuel supplier" who was bases on procession (disposing) of organic waste Efforts to address global warming 	 Reduction of greenhouse effect gas emissions (CO₂ etc.) City Gas: Reduce the primary unit by 74.6m¹ Diesel oil: Standard mileage over 3.93km/1 Proper treatment of waste water Grasp the amount of electricity use Prevention of the foreign body under 14:10% reductions compared with FY 2008 Prevention of overloading under 38,943kg :10% reductions compared with FY 2008
Occupational Health and Safety	• Creation of a comfortable and safe working environment for the employees	 No accident No accident with business suspension No accident with non-stop operation Reduce accident only to things under 6 :50% compared with FY 2008 Grasp the number of Mercurochrome accidents No accidents with Hypoxia Monthly patrol every month OH&S education (for oxygen deficiency, traffic rules and VDT operation) Thorough cleanup
Social contribution / Communication	 Continued efforts for all stakeholders can trust in 	Rebuild activity with external evaluations Continuous activity to obtain safety and trust from stake-holder

We set the new objective and midterm target as follow, by ending the previous in FY 2009.

Objective	e and midterm targets(FY 2010 -2012)	Targets in FY 2010
Environment	Reduction of CO2 emission for each unit requirement	 Reduction of CO₂ emission for each unit requirement in energy utilization CO₂ emission from city gas: -8% CO₂ emission from electricity: -10%
	Pursuit of waste management service that is safe and trusted	 Complaint number 0 from customer and surrounding area Water pollution control through water treatment facility

Achievement in FY 2009	Results	For reference
Reduction of greenhouse effect gas emissions		
(CO₂ etc.) City Gas:72.7㎡/ton	0	P.84、85
Diesel oil:3.93km/l	0	P.85
Deviating three times Amount of use electricity:91.9kWh/ton •7 foreign body Overloading	∆ _ O	P.88 P. 84、85 P.105
●Correspondence weight 57,000kg	×	P.105
• No accident		P.108~110
2 accidents with business suspension	×	
No accident with non-stop operation	0	
14 accidents only to things 4 Mercurochrome accidents	×	
4 Mercurochrome accidents	_	
12 times patrolExecution 100% of OH&S education	0	P.71 P.92
 Thoroughness 100% of cleanup 	0	
 Offer a outside professional for internal auditor An agricultural event is executed with customers Executed a environmental education with our client 	0	P.72 P.99 ~ 100 P.102 ~ 104

Objective and midterm	Targets in FY 2010	
Occupational Health and Safety	Creating a office environment that can work partner's being relieved (Industrial injury and accident 0)	 No accident No accident with business suspension No accident with non-stop operation Reduce accident only to things under 7 50% compared with FY 2009
Social contribution / Communication	Continuous activity to obtain safety and trust from stake-holder	 An external evaluation is continuously executed. Communications activity that deepens relations with stake-holder

Environment and Occupational Health and Safety Representative Interview



Masato Akazawa, Representative of ISO/OHSAS Management system

(Interviewer : Yun Yamanaka, internship student)

Yamanaka: Thank you for making time for me today. I would like to know about REVACS management system. Why did REVACS acquire Occupational Health and Safety Management System (OHSAS) and ISO Environmental Management certification?

Akazawa: Briefly, we acquired OHSAS certification to reduce inhouse accidents and injuries and ISO certification for administration taking the environment into consideration because our business deals directly with the environment.

Yamanaka: Why did you integrate the two?

Akazawa:We thought management system would became more specific, easier to understand, and more efficient since the two systems are similar.

Yamanaka: I was heard about OHSAS management system and risk assessment from Mr. Kojima and Mr. Shirai. (refer to p.90) Just what is ISO management system?

Akazawa: It is basically the same as OHSAS. We first evaluate how work affects the environment, and then plan how to reduce environmental effects on work. We meet accidents and complaints with corrective action, such as reconsidering plans and upgrading work so the same thing does not happen again.

Yamanaka: I see. How does the entire company check plans and share information?

Akazawa: We check first regularly in practical daily work. The CEO may, for example, walk around the premises and checks activities based on environment and safety. We also check programs made at the beginning of the fiscal year. When performance drops, we review ways to reform and upgrade it. The Social Responsibility Committee conducts overall checking each month and shares information. For sharing information daily, line and client sections, the transport section, and the recycling center division meet daily at the end of work to discuss small points and reflect on the day and plan work or advice for the next day. In addition, we also try to improve work safety and to be more efficient by visualizing working contents on a white board.

Yamanaka: How did certification affect your company?

Akazawa: Firstly, we got better at evaluating from the outside. Many of our clients, for example, work in food and have ISO14001 or OHSAS18001 certification, so when they come to REVACS, they evaluate our company's awareness favorably thanks to our ISO and OHSAS implementation. In-house, certification has raised employee awareness. Instead of working mindless before like machines, they now first consider what is actually safe and actually consider environmental impact.

Yamanaka: Thank you. Last, is there any point that needs improving in the current system?

Akazawa: Overall, I'd say most things are going pretty well, such as employee awareness, environmental impact, and occupational health and safety. If I must point something out, it would be the differences in the number of "hiyari-hatto" between sections -- incidents that could have caused accidents. We should act appropriately without waiting to consider management priority, because "hiyari-hatto" is vital to preventing accidents in advance and is required in the system.

Yamanaka: Thank you very much. Your thoughts show a company actually involved in the environment directly and checking out the dangers work could have. Sharing information and checking performance in an integrated system is indicative of your strong sense of responsibility toward stakeholders and the company itself. Thank you.

Voice from Outside Auditor for Internal Audits



Mr. Toru Sasa

Representative Director, Sasa Environmental Audit Office Ltd. CEAR registration, environmental lead auditor

Toward a zero-accidents disaster-free company

Two years have passed since I began taking part in internal auditing as a view of external auditor, in your Environmental/Occupational Health and Safety management system. I am very glad to note that management level of wastewater to Nishinomiya-city sewer from Treatment center is very improved. Water quality sometimes went over the regulation because the pH (the degree of acidity and alkalinity) changed greatly. In fiscal 2009, wastewater pH stability continued from 6.6 to 7.6 (regulation: 5.0 - 9.0) thanks to employee effort, management encouragement, and introduction of consecutive pH monitoring equipment. The last environmental problem is odor, which can, I think, be solved through the management system because equipment investment has almost finished I hope that grave accidents and incidents will be eliminated by making effective use of OHSAS management system -- certification that few competitors have. This requires perseverance. In the last internal audit, I conducted interviews for all drivers. I was fold quite frankly by them that the accident could have been prevented if they had gotten out and checked in back of them.

It appears to me that REVACS is well on the way toward being a disaster-free zeroaccident company because it solves problems using such positive, frank ideas.

Voice from Environmentalist



Ms. Shizuka Kiyota Second year of the master's course Environmental Administration Program Hosei Graduate School of

Environmental Management

To the environmental management leader

How do medium-sized and small companies successfully carry out environmental management? I would have expected that REVACS corp. give a good solution for this question, because REVACS corp. was awarded the grand prix of environmental management.

I realized three things; first thing is reducing load for environment in your main business, second thing is analyzing own strength and weakness and having competitive strategy that environment is opportunity risk, third thing is having the independent strategy beyond a regulation such as the realization of energy supplier from organic waste, that you have executed.

Therefore there is 'competitive environmental management' which you are doing as one of environmental management ways for medium-sized and small companies.

It is said the current strategy and business model for making only own benefit may not be accepted in near future.

I hope that REVACS corp. would be the leader in these conducting the strategy and business model which are aimed for the social benefit.

Community involvement and Development / Consumer

Senssi

Information Disclosure

We proactively promotion the information disclosure to internal and external, based on our vision "We aspire to be the best law-abiding and the most active information-disclosing corporation"

Web Site

In our website, we set up our not only company information and permission information but also the web camera (refer to P.105) that can see the appearances of processing in real time. Then, all people (not only our clients) can see our facilities and entrance. Also we published the flash animation that even the people in the distance can see our facility's structure.



▲Facility tour on the website



CSR Report

To have local community and our customers better understand our company, we have issued the annual report since 2002. The title of the report was changed reflecting the aspects of 'environment', 'society' and 'economy', which goes as follows: "Environmental Report" in 2002-2005, "Environmental and Social Report" in 2006 and "CSR Report" since 2007. We present accurate and comprehensive description of our activities and relevant information.



REVACS E-Mail News / REVACS E.NEWS

Our communication tools include "REVACS E-Mail News" as well as the annual report. We deliver our up-to-date information and announcement of industrial waste. On the other side, we are reporting collectively on the paper as a REVACS E.NEWS.

▲REVACS E.NEWS No.10

ST REVACS ENEWS

Waste Disposer Evaluation System

The evaluation system in order to differentiate excellent disposers is handling by Industrial waste disposal operating foundation. Processing trader's criterion is composed of three elements "Law-abiding", "Information disclosure", and "Match to environmental preservation". The system started on April 2005, and we are disclosing our information and have been regularly updated since August 2005.

16 local governments (Nishinomiya City, Hyogo Prefecture, Osaka City etc.) have been confirming the qualifications as needed since July 2006.





▲Our information on the web

▲Website "Sanpai Net"

Performance Debriefing

We actively disclose information not only to the external stakeholders but also to our employees. Monthly performance debriefing meeting has been held since December 2006, where performance such as sales and profit is reported to the employees. By this debriefing, we can think about what we do for make our section's profit. Our new company name was released from CEO to realize the meaning.



▲Internal release



[▲]Performance debriefing

Daily Meeting

For daily work improvement, we utilize information of daily sales and the profit. The information will be disclosed as a preliminary figure the next day, by using the IT infrastructure.

It improves the efficiency of the sales operation, by clarified the business negotiation phase and customer's needs using the infrastructure Sales Force.



▲Daily meeting

79

Environment

Community involvement and Development / Consumer issues

Environment

Environmental Policy

At REVACS, we conduct our business in the environmental industry. We are committed to preserving our global environment and creating a recycling society through our business of waste reuse, recycling and disposal.

- 1. We properly dispose of waste in compliance with environmental regulations and other requirements, following them closely with our deep awareness of our social responsibility.
- 2. We strive to conserve resources and energy in carrying out our business.
- 3. We contribute to industry through effective use of limited material resources by reusing and recycling waste, and also to extending the use of a valuable industrial resource, landfill.
- 4. We, as a corporate citizen of Environmental Learning City Nishinomiya, practice environmental sustainability through communication based on our sprit of partnership with the local community.
- 5. We understand the Environmental Policy, and we are constantly working to improve our environmental management system and prevention pollution. We set objectives and targets, reviewing them regularly for continuous improvement.
- 6. Our environmental Policy is available to everyone who works at/for our company. We also disclose this information upon request.

October 1, 2009 Kenichi Akazawa CEO,REVACS Corporation

Transition in CO₂ emission

The graph below shows CO₂ emission, processing, and emission per basic unit from the drying plant started in 2007.

CO₂ emitted was 5,424 tons, compared to the previous year, over 31%. This is increases processing to 57% over that of the previous year. By basic unit, emission decreased to 0.21 tons of CO₂. We reduced CO₂ emission by reducing the amount of energy used.



Material Flow of the Waste

It is a flow chart of the industrial waste that REVACS handled in FY 2009 as follows.

Total amount 52,600ton



Landfill••••••2,971t

•243t

Waste is transported to relevant landfill site according to its kind.





Containers (bottle, can and carton)

After the Drying

Recycling as Bio Solid Fuel (BSF) ••••2,395t Dried organic waste is recycled into one of biomass fuel used as boiler fuel for cement or paper factory

Recycling as fertilizer raw material •••• 1,434t Organic sludge and food waste are recycled into fertilizer for crops and plants.

Recycling for thermal (foreign body) •••98 t The heat and steam from the incineration of waste is

The heat and steam from the incineration of waste is used for energy.

Affiliated Recycling

Organic sludge and food waste are recycled into fertilizer for crops and plants. Fuel Recycling ••••••5,167t

Waste plastics, oil and liquid is recycled into supplemental fuel for cement or paper factory

Thermal Recycling ••••••2,451t The heat and steam from the incineration of waste is used for energy.

Material Recycling •••••••1,515t Recycle as raw materials

Feed Recycling ••••••456t Food waste is recycled into domestic animal' s feed.

Other recycle method •••••••390t

Incineration••



npost

Recycling of Industrial Waste

Our Recycling

We promote reusing and recycling of the waste as one of environmental policies. (refer to P.80 No.3 of environmental policy) The recycling rate of our industrial waste ware going up until established the policy. However it fell below the previous year in fiscal year 2009. We promote the sorting and cooperate to affiliated recycling companies for extending the use of a valuable industrial resource, landfill and for effective use of limited material for satisfy the client's needs.



Status of industrial waste in Japan

Nation's total waste occurrence is staying flat at 400 million ton according to Ministry of the Environment. The amount of permanent disposal is on a decline, while that of recycled waste is increasing. By this trend, it can seem the advance of recycling in the industrial.



▲Amounts of nation's waste occurrence, recycling and permanent disposal. (unit : 10thousand ton) Source : Edited 'Status of industrial waste and its disposal', Ministry of the Environment, 2002-2008

' issues

Material Balance

The following chart shows the input and output of resource and energy generated in our operation of transport and disposal of industrial waste. To conserve resource, we tackle effective use of resource both in the aspects of input and output. XInside of () are comparison ratio of previous year.

INPUT Resource and energy input for business activity

Energy

Treatment City gas: 1,800,564m (166%) * Electricity: 2,287,030kWh(131%)

→Recycling Center (shredding plant and drying plant) + Reverse Management Center

Diesel: 13kl (107%) →Heavy machinery in Recycling Center

Transport • Diesel: 198kl→Oil for our transport vehicles

Office • Gasoline: 12kl→Oil for the cars (120%) Electricity:47,837kWh(104%) City gas: 143m (172%)

Water

Service water : 3,936m (119%) Industrial water :40,355m (125%)

> Industrial waste 52,600tons(118%)

 \rightarrow Waste discharge from our client

★compared by calorific value, because using kerosene in FY2008

◎CO₂ emission factor

• Provided electricity (The Kansai Electric Power Co., Inc.) 0.000355 t - CO2/kWh •Diesel (Calorific value) 37.7GJ/KL (Emission factor) 0.0187tC/GJ •City gas (Calorific value)44.8GJ/1,000Nm (Emission factor)0.0136tC/GJ •Gasoline (Calorific value) 34.6GJ/KL (Emission factor)0.0183tC/GJ

(Source) • Act on Promotion of Global Warming Countermeasures

· 'About making of the emission factor etc. real and adjusted emission factor in FY2008 according to the electricity supplier', Ministry of Environment, December 28, 2009

Order for act on Promotion of Global Warming Countermeasures, the first table related article 3







CO₂emission 5,424tons-CO2(131%)

 Treatment City gas :4,023tons-CO2(135%) Electricity:812tons-CO₂(127%) Diesel: 33tons-CO2(106%)

 Transport Diesel:511tons-CO₂(114%)

 Office Gasoline: 28tons-CO2(120%) Electricity: 17tons-CO₂(100%) City gas: 0ton-CO₂ (185%)

Discharged water

Discharged water: 33, 391 m (130%) →The amount of water into public service

Recycled waste 49,386tons(116%)

REVACS: 30, 337 tons (150%)

Affiliated: 19,049tons (85%)

→Recycled amount of undertaken industrial waste

Landfill/Incineration 3.214tons(161%)

REVACS: Affiliated: 981tons(90%) 2,233tons(246%)

→Landfill or incinerated amount of undertaken industrial waste

Environmental Activity

Recycling Center Energy Consumption

At the Recycling Center, we use electricity, industrial water, and city gas, consumed in FY2009 as follows: Electricity: 2,287,030 kWh, industrial water: 40,355m², city gas : 1,800,564m²

*Electricity consumption included the shredding and drying plants and the Reverse Management Center.

We installed a demand monitor in July 2009 to emphasize reducing electricity consumption, reducing peak demand to 367 kWh in March 2010, compared to 420 kWh in June 2009.



▲Demand monitor



Emphasizing electricity consumptions

Oil consumption for trucks and heavy machinery

We use diesel oil in transport and heavy machinery at our site. In FY2009, diesel oil consumption increased to 210,507l over the previous year due to increased workload. To prevent air pollution and make fuel use efficient, we promoted eco-friendly driving. Car-by-car fuel consumption is reported to all drivers at monthly meetings.



Leakage Control

The entire shredding plant floor is covered with irons plate to prevent leakage of shredding waste. In FY2009, we constructed a pipeline to transport liquid waste from the shredding plant to the drying plant. We set up sandbags to prevent leakage to public lines, even if the possibility increased due to a natural disaster.



▲Underground pipeline for liquid transport



▲Sand bags for emergency

Electricity consumption

The office consumed 45,270 kWh of electricity in FY2009. In office buildings, we conduct energy saving activities, including 1) switching off lights not in use such as in lavatories and kitchens and 2) temperature control of air conditioners, etc. All employees took part in Eco Style – no ties or jackets from May to September 2008.



▲Electricity consumption for office (kWh) ※The consumption used in office could not be measured separately in FY2006 because of setting the meter

Waste from office work

Waste from office work was 1,853 kg and recycling rate was 71.9% in FY2009.

We worked to completely separate discharged waste for recycling as follows:

•Recycled: Paper -- unusable paper, corrugated cardboard, newspaper, magazines and bottles, cans, and PET bottles

•Not recyclable: Coated paper, plastics





Reduction of Environmental Burden

Odor Control

We take thorough measures to prevent odor from being generated from organic waste. At the shredding plant, four units of activated carbon-based deodorizers have been installed. We usually keep organic sludge or food waste in storage with separately shutters. The drying plant has a deodorizing furnace and chemical cleaning equipment. We clean drains monthly and clean the tank for separating oil and water to prevent odor from leaking.

We measure odor twice yearly, even though at Nishinomiya City requests only once a year, through environmental agreement.

FY 2009 results are as follows:







▲Deodorizing furnace



▲Chemical cleaning equipment



▲Storages with separately shutters

Odor measurements on Jun.18, 2009 and Feb. 24, 2009

ltem	Individual		Bou	Boundary			
nem	standard	East	West	North	South		
Ammonia	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
Methyl mercaptan	0.002	<0.0002	< 0.0002	<0.0002	< 0.0002		
Hydrogen sulfide	0.02	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002		
Methyl sulfate	0.01	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001		
Dimethyl disulfide	0.009	< 0.0009	< 0.0009	< 0.0009	< 0.0009		
Trimethylamine	0.005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005		
Acetaldehyde	0.05	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005		
Propionaldehyde	0.05	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005		
N-butyraldehyde	0.009	< 0.0009	< 0.0009	< 0.0009	< 0.0009		
Isobutyl aldehyde	0.02	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002		
N-valeraldehyde	0.009	<0.0009	< 0.0009	<0.0009	< 0.0009		
Isovaleraldehyde	0.003	<0.0003	< 0.0003	<0.0003	< 0.0003		
Isobutanol	0.9	< 0.09	< 0.09	< 0.09	< 0.09		
Ethyl acetate	3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3		
Methyl isobutyl ketone	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
Toluene	10	<1	<1	<1	<1		
Styrene	0.4	<0.04	< 0.04	<0.04	< 0.04		
Xylene	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
Propionic acid	0.03	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003		
N-butyric acid	0.001	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005		
N-valeric acid	0.0009	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005		
Isovaleric acid	0.001	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005		
Bromide density	30	<10	<10	<10	<10		

Water Pollution Control

Water used in business activities is discharged into public sewage after treatment. We added a consecutive monitor pH meter to manage water pH. We added a weekly water inspection procedure for the treatment facility to manage discharged water.

Nishinomiya City inspects water monthly. We conduct an inspection at the same time. Heavy metal status is checked annually for compliance with water standards.

Item	Unit	Regulatory standard	Result
Water temperature	°C	≦ 45	21.9
рН	_	5.0~9.0	6.9
Cadmium	mg/l	≦ 0.03	<0.005
Cyanogen	mg/l	≦ 0.3	<0.1
Lead	mg/l	≦ 0.1	<0.01
Hexavalent chromium	mg/l	≦ 0.1	<0.02
Arsenic	mg/l	≦ 0.05	<0.01
Total mercury	mg/l	≦ 0.005	<0.0005
Total chromium	mg/l	≦2	<0.02
Copper	mg/l	≦3	<0.01
Zinc	mg/l	≦5	0.05
Soluble iron	mg/l	≦ 10	0.2
Soluble manganese	mg/l	≦ 10	<0.1
Oil of animal and plant origin	mg/l	≦ 30	2
Mineral oil content	mg/l	≦5	<1

Water inspection on May 22, 2009





▲Consecutive pH monitor

Water inspection by Nishinomiya-city *Could not inspect in August by broken the measurement

	Standard	Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb.	Mar.
Water temperature	—	19	21	25	28	_ ×	30	29	21	20	12	12	14
pН	5.0~9.0	7.4	7.4	7.3	7.0	_ *	7.6	7.1	7.4	7.4	6.9	6.6	7.1
BOD	Under 600mg/l	12	31	280	6	440	130	330	22	710	340	400	86
SS	Under 600mg/l	17	1	12	3	7	19	59	<1	21	73	12	1

Air Pollution Control

Exhaust gas at chimney exits of the deodorization furnace and boiler is measured twice yearly under an environmental agreement with Nishinomiya City. We observed standards with the following results for FY2009:

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
Item	Standard		Standard		Unit	First	Second
	Exhaust standard	150	ppm	39.3	33.8		
Nitrogen Oxide	Amount of hour	0.42	Nm³	0.250	0.246		
	Amount of year	6.20	ton	3.715	3.638		
Corbicula dust	Exhaust standard	0.05	g/m³N	< 0.001	< 0.001		

Air measurement on June 18, 2009 and February 24, 2010

Occupational Health and Safety

Occupational Health and Safety Policy

Our management principle consists of "Contribution to the Partner ", "Contribution to the Customer" and "Contribution to the Community". In other words we realize that our corporate social responsibility is to enable all the employees to work for REVACS Corporation enjoying quality lives healthily and safely. Also, occupational accidents and injuries are "the biggest environmental destruction". With these things in mind we promote OH&S activity.

- 1. We comply with OH&S regulations and the requirements which we agreed with customers, community and public organizations.
- 2. We strive to ensure the safety in all our business activities doing on our own responsibilities.
- 3. We are aware that the waste management business has big potential risk, and strive to ensure the safety of transportation and to cause no occupational accidents at the recycling center and the other sites.
- 4. We strive to secure, maintain and improve both trust and security through communication is a spirit of partnership with customers, community and public organizations.
- 5. We understand the OH&S Policy and constantly work to improve our OH&S management system as proactive measure to prevent occupational injury, accidents and illness identifying possible sources of hazard in general business activity. We set objectives and targets, and review them regularly for continual improvement.
- 6. Our OH&S policy is available to everyone who works at/for our company. We also disclose this information upon request.

October 1, 2009 Kenichi Akazawa, CEO REVACS Corporation

Risk Assessment

Based on the Occupational Health and Safety Management System (OHS-MS), all the employees participated in 'Risk Assessment' once a year. In FY2009, we picked up 242 items as possible sources of hazard, and decreased the serious problems to 26 from 55. The unacceptable risks are prevented by double measures by hardware and software.

For example, automatic control systems ware installed at some high-temperatures spots in drying plant for safety, also we check and record the temperature in an hour by hand. We decrease the fire possibility by supplement a completely safe with hard system and software.

We decreased the working risks daily as follows. We ware installed the equipment for hold a safety belt at unusually working place for prevent falling from higher place. We ware installed the automatically light for prevent a risk of fall by steps.



▲Automatically light

Occupational Health, Safety, and Risk Assessment Interview



Takashi Kojima (Left), Chief Manager, Drying Plant Section

Yuhto Shirai (Right), Drying Plant Section

(Interviewer: Yun Yamanaka, internship student)

Yamanaka: Thank you for making time for me today. I would like to ask about occupational health, safety, and risk assessment. What practical actions do you take to prevent accident on site, for example?

Kojima:We are doing risk assessment to keep safety and prevent accident. Risk Assessment is finding dangerous points and operations and evaluating the degree of danger. If the total score reaches a present number of points, we review corrective action until the score is sufficiently reduced.

Yamanaka: I see. Do you make manuals and procedures after considering evaluations and corrective action in risk assessment?

Kojima: Yes. If new equipment or facilities are introduced or if procedures are changed, we consider other possible dangers and repeat risk assessment.

Yamanaka:But accidents can happen in daily work even following procedures? How do you handle these?

Kojima: We follow by doing "Hiyari-Hatto" in daily work. "Hiyari-Hatto" (close call) is a system to indicate and eliminate a dangerous point. When we find a hazard that could cause accidents, we specify the cause, consider preventive actions, and get approval by section heads.

Yamanaka: Can you give some actual "Hiyari-Hatto" examples?

Shirai:We, "Hiyari-Hatto" occurred recently when we were cleaning equipment using an alkaline solution. When a worker removed a hose, splashing the solution, we felt "Hiyari" then.

Yamanaka: I see.

Shirai: For another example, we use chemical cleaning equipment that kills plant odors using different washing solutions, but noticed a trace that the solution was dripped from plumbing because the plumbing had been damaged by age. Someone near plumbing and splashed would cause an accident.



▲Chain for protective barrier

Yamanaka: What corrective action did you take?

Shirai: First, we replaced the damaged plumbing, and then revised the procedure to wear protective eyewear when be going to the chemical cleaning equipment. Not knowing when plumbing could be damaged again and have the solution splashed, we are considering hanging a protective barrier to prevent anyone from approaching the plumbing by accident.

Kojima: Again, first we do risk assessment and take preventive action. Then, we explain the procedures to all personnel. If "Hiyari-Hatto" recurs, we review preventive action again. By repeating this and continuously reconsidering daily work procedures, we improve the precision of operation and awareness, making REVACS a safer workplace and shooting for "zero" accidents.

Yamanaka: Thank you very much. Now I understand what an important concept "Hiyari-Hatto" is in preventing accidents by taking care of small incidents and share these with others. I also see how you make workers consistently aware of possible danger systematically and help ensure their safety. Thank you for making your time.

Heinrich' s Law Risk takes the shape of a pyramid.

300

several thousand hazards

330

fatal, serious accident

accident

potential

Column) Why "Hiyari-Hatto" is important?

Heinrich's Law is important to our work.

It was discovered by Herbert William Heinrich, an assistant superintendent of the Engineering and Inspection Division of Travelers Insurance Company.

He surveyed some 5,000 accidents in the workplace.

He found a constant ratio between fatal accidents and nearaccidents of 1:29:300. In other words, for each single fatal or serious accident, there were 29 accidents and 300 potential accidents highly likely to cause injury. In addition, he found that several thousand unsafe actions and conditions, including preventable ones, occupied 98% of workplace accidents – hence Heinrich's law.



- ·If the accident is prevented, fatalities can be eliminated.
- •If unsafe actions and conditions are prevented, accident and injury can be eliminated.

In other words, we can eliminate fatal accidents and injuries through Hiyari-Hatto, or close calls, that revealed unsafe work actions and conditions .

Environment

Community involvement and Development / Consumer issues

Education

There should not be any occurrence of accidents during work, or a means for one's self-realization. To have a common goal to avoid accidents at work corresponds to share the joy of working with one's partners. Toward this goal we give periodical safety education and training for the workers.

Prevention of Oxygen Starvation and Hydrogen Sulfide Poisoning

We define oxygen starvation and hydrogen sulfide poisoning as occupational hazards occurring due to hydrogen sulfide from organic waste. Recycling Center personnel working at sludge tanks are trained monthly in wearing protective equipment such as dust masks, and the transport section cleaning clients' tanks and the client relationship section inspecting preliminary improve the knowledge by increasing certification and internal learning.

General Education and Specific Education

At the beginning of the fiscal year, we give general education to all partners, informing them of Environmental and Occupational Health and Safety Policies, our objectives and targets, and related laws. The specific education was provide by each sections and identified environmental aspects, risk assessments and procedures.

Emergency Drills

We define oxygen starvation as an emergency, providing training assumed an emergency before actual work with sections in FY2009. Through such training, we review tank cleaning and emergency procedures. We pointed out, for example, that a situation with only one exit or a small exit can cause secondary disasters. We give a train assumed fire once a year and reviewed the procedures.



▲Review meeting after drill



Personnel System

One of our management principles is "Contributing to partners," which means we return business profits to partners because we want them to enjoy quality lives through making their work worthwhile and enjoying work leading to a fulfilled sense of value. For these reasons, managers provide opportunities for partners' talents. According this principle, our personnel system is a harmonized meritocracy with payment added for long service. Our evaluation system includes what should be done to realize our Mission, management principles, and our vision.

Benefit Programs, Diversity

We address the improvement of benefit programs to create a working environment where one can work without worries. And, we promote gender-free recruitment and gender-free appointment of managerial staff. For female employees, such benefit programs as child-care leave and maternity leave have been introduced.

We strive for a better system that enables people to work without undue worries and use their ability to the full extent.

26.7%

2009



Primary benefit programs

Maternity leave
 Child-care leave
 Shorter working hours for child-care
 Volunteer leave
 Family-care leave
 Congratulatory or condolence payments
 Reemployment of retired person
 Half-day leave with pay
 Career development

Mid-Career Hiring Interview



Kazuma Hata, Client Relationship Section

(Interviewer: Lisa Katagiri, internship student)

Katagiri: To begin with, just does mid-career hiring involve?

Hata:Some companies hire personnel to step in and do a job under an irregular schedule, such as a time midway through the year. They need experience in business at other companies.

Katagiri: Have you worked for another company before?

Hata: Yes, as a finance broker.

Katagiri: Why did you decide to take up a different job?

Hata:Labor conditions, such as holidays and the work location, attracted me. Worked face to face in consumer sales, my job took up so much time that I found it difficult to lead a full private life REVACS's work conditions appealed to me and I was curious about experiencing work for sales to corporation. So I decided to look into other work.

Katagiri: What are the office and job atmosphere like?

Hata: The work was very different from what I had been doing in terms of sales, for example, but I could build up my skills naturally in an environment where employees could improve together. The work was easy pick up because the human relations were so good.

Katagiri: What do you think about prospects for the future?

Hata:Work in sales, I must make contracts with customers. I felt my work was worthy doing when my boss evaluated me. I would like to contribute to the company by increasing sales.

Katagiri: Thank you very much. Talking to you, I can see how REVACS adjusts labor conditions for personnel to work according to their individual lifestyles. REVACS clearly sees individual self-realization as very important, achieving its principle of "contributing to partners.

MVP Commendation and Length-of-Service Awards

To motivate employees, we honor employees for great acts, although not included in personnel evaluation system as MVP Employee awards twice a year. No one was commended in the first 6 months, although 2 were in the second half year. We also award employees working for the company ten years. One employee was honored in fiscal 2009 with a length-of-service award.



▲MVP Employee (3-4thQ. FY2009)



▲Length-of-service Award

Job Situation

In FY2009, three people retired but we have not made any adjustment such as is done in an early retirement system.

With this increasing workload, we are working to improve productivity and have started hiring college graduates again to guarantee core talent for the future. We are going to start mid-career hiring depending on business expansion.



Positive Labor Relations

The REVACS labor union uses a union shop consisting of employees other than executives. Labor-management negotiation is held regularly between management and labor, and many chances arise for employees to state demands at the SR Committee attended by the head of the labor union. Thanks to this communication at SR Committee meetings, management operates smoothly.

Revacs Labor Union Chair Interview



Keisuke Inatomi, Chief, Client Relationship Section

(Interviewer: Lisa Katagiri, internship student)

Katagiri: What sort of an organization is the labor union?

Inatomi: Workers organize a labor union to maintain and improve work conditions such as wages and work hours.

Katagiri: What do you mainly do?

Inatomi:Since 2008, we have held monthly Social Responsibility (SR) committee meetings for discussions with the company. We work to improve work conditions, such as personnel regulations and bonuses and to make the office more comfortable based on ISO14001 and OHSAS18001.

Katagiri: What do you do at SR committee meetings?

Inatomi: We discuss modes of operation and management performance. A REVACS labor union representative attends the meeting and tells the company our views. It is an important chance to improve the cooperative relationship between the company and personnel so that partners can enjoy quality lives.

Katagiri: Do you think the workplace environment has improved as a result of your activities?

Inatomi: I think so. In 2008, we attained an integrated ISO14001 and OHSAS18001 certification. Personnel have, working with the company, implemented environment and occupational health and safety management, and the possibility of serious accident and injury has decreased even though the plant has grown in size. This is because everyone has worked to raise awareness of the importance of occupational health and safety.

Katagiri: What prospects do you see for your labor union?

Inatomi:Well, we'd like to maintain the current work environment, work positively, and discuss improvements through cooperation. We want to put a more comfortable office in place free from conflicts with the company.

Katagiri: Thank you. Labor union activities have clearly helped build excellent employment relationships between the labor union and management!

Continuous Service Commendation Interview



Hirohiko lida, Chief, Sales Administration Section

(Interviewer: Yun Yamanaka, internship student)

Yamanaka: Thank you for making time for me today. I' d like to ask you about REVACS' s labor's environment. Now that you have worked here 10 years, what do you think of the company's personnel system and labor environment?

lida:This company pays great attention to employee health and is certified for Occupational Health and Safety Management System (OHSAS), so I can work in safety.

Yamanaka:Do all employees fully understand the current system, such as child-care and family health care leave? Do they actually use these systems fully?

lida:Yes. We are interviewed every 6 months when we undergo personnel business commitment (PBC) and all of us can see office regulations. Practically speaking, however, a few women have used child-care leave system but no men. It is hard for us to stay away from work too long, and I myself do not want to be absent because I do not want to be at home too long.

Yamanaka:Ha-ha. I see. If employees request leave, they can use the system without disadvantaging themselves, can they? By the way, I recently heard about illness and harassment in workshops as labor's problems. What do you think about this?

lida: As you can see, the office has no partitions, and we can all see each other very easily, so I don't think this office has such problems.

Yamanaka: How about a strict pecking order or discrimination against women for which Japan is notorious?

lida:Of course, a pecking order exists as a form of etiquette, but I don't find it stressful. Men and women can work equally in our office, and I think women are treated rather well. No gap exists as far as I know between men and women in personnel evaluation. Yamanaka: So REVACS is a clear, open, and fair workplace, isn' t it? What advantages does REVACS have from the viewpoint of regular employees?

lida: The attitude toward problems is an advantage. Maybe because our company is small, we always try to solve problems together. We try to participate in and improve problems and results, as you can see by the evening meetings. I feel I can be a part of solving problems. And when we can solve a problem or raise sales, we can get a stronger feeling of achievement not gotten simply from doing job. In addition, everyone can take part in monthly performance debriefings where we can find out about monthly results or situations in other sections. By sharing information, we can see our own results, which help maintain and improve our motivation.

The head of the labor union takes part in SR committee meetings each month, so if we have demands about work, we can tell them to management through the head of the labor union.

Yamanaka: How do you feel about being commended for continuous service?

lida: I realize that a decade has passed and it is a chance to refresh thinking by looking back.

Sales weren't increased when I came to work 10 years ago, but in just this few years, I have seen them increase gradually. I plan to work hard for the next 10 years to make sure I can say that "sales are increasing" or "results are being achieved" and congratulate with my colleagues.

Yamanaka:Thank you very much. I see that REVACS is an open workplace where everyone works equally. It seems that the good circulation is formed, in other words, the harder you all work to develop the company, the clearer and fairer it becomes. Thank you very much for your talking.

Communication

One of our management principles is "contributing to partners," and part of our company mission is "striving to realize a sustainable society through waste disposal service relied on with a sense of confidence by stakeholders and to help benefit partners, customers, and society." We thus view it as important to contribute to clients and society in building a sustainable social structure, going beyond pursuing profit.

Kabutoyama Nogyojuku agriculture project

Many of our clients are concerned with "food." One way to contribute to our clients and society by providing a chance for people to study and experience food and agriculture has led us to sponsor, since 2008, the "Kabutoyama Nogyojuku" agricultural learning project organized by the Learning and Ecological Activities Foundation for Children (LEAF).

Agriculture in business is a major concern of ours, precisely because we collect and transport 12,558 tons of industrial waste a year as raw materials for fertilizer to our clients. We had not had a chance to work directly with agriculture, however, so when we were asked about this sponsorship, we found a way! In the last two years, we have had good chances through taking part as a sponsor or presenting our own events, enabling us to learn many things we would not have otherwise had a chance to know.

Experiencing agriculture and a farming village

We mainly hold events enabling people to "experience" agriculture and a farming village in June and September at Kabutoyama Nogyojuku. We held it only for REVACS employee and their families in 2008, but in 2009, we invited our business connections to take part.

In June, 26 people, including business connections' employees took part, planting rice, harvesting vegetables, observing living things, and cooking curry using the potatoes, onions, and carrots harvested.

In September, 49 people took part in reaping and drying glutinous rice planted in June – including threshing and husk removal!



▲Rice Planting in June



▲Threshing in September

Relationship as a Sponsor

We sometime have contact with agriculture project participants as a sponsor. We heard many impressions from them at the opening ceremony in April, the closing ceremony in March, and the assembly in January. One of them said, "After I learned the difficult process of growing vegetables in this project, I wondered why I could buy vegetables so much cheaper at a supermarket. I think we must choose organic vegetables when we buy food to encourage farmers who are working so hard to produce harvests without using chemicals.".

At the assembly, we got a thank-you board from them, stating in part, "We can learn about actual agriculture in Japan, Japan's low food self-sufficiency, and the importance of food safety, together with the pleasure of growing vegetables and harvesting crops through this agriculture project." We were glad to have been able to contribute this way to society even a little bit.

Page 1

▲Opening ceremony



▲ Assembly





▲Closing ceremony

99

Agricultural Event Interview



Kohji Kida, Chief, Environment Management Section, Taneya Co., Ltd.

Corporate Information

Company: Taneya Co., Ltd. Representative:

Tokuji Yamamoto, CEO Founded:

Aug. 18, 1972 Paid-in Capital:

¥90 million

Employees: 973 as of May 2010

Annual Sales: ¥17.6 billion as of the end of fiscal 2009

Major Business Activities: Manufacturing traditional Japanese confections and western cake (Interviewer: Lisa Katagiri, internship student)

Katagiri: What motivated you to take part in an agricultural event?

Kida:Our Company works with REVACS on carbon recycling of packed food. When I heard about the event from the company, I decided to take part with a friend.

Katagiri: Did you have any experience with agriculture?

Kida:When I was in elementary school, a teacher held an environment class that gave me a chance to actually plant rice. Shiga Prefecture features a natural environment and has more working people than Osaka or Kyoto.

Katagiri: I understand that you harvested rice and vegetables. How did the vegetables taste?

Kida:They were fresh, juicy, and delicious, and I could really understand while farmers love their crops.

Katagiri: I took part in one in May. The harvest was smaller than usual due to unusually low temperatures, but it made realize how much time and energy farmers devote to growing crops. I was deeply impressed. What did you get from this agricultural experience?

Kida: I began to think more seriously about Japan's food selfsufficiency and recycling-centered society. It made me think again that juggling both economy and environment in the market are necessarily to form a sustainable society. People should become activity in buying environmentally friendly goods. It took real work that day to actually harvest and thresh that rice with my own hands. I began to appreciate the convenience of using machines, but felt, however, how important it was to preserve the natural and not just sacrifice it pursuing convenience.

Katagiri: How do you feel about REVACS?

Kida: I was impressed by the CEO's attitude in communicating positively with the employees. I also sympathized more with REVACS's business policies. The company supports local nonprofit organizations (NPOs) in the community and plays an active part in some field that has nothing to do with its business. After the government amended the food recycling law, waste producers and disposal companies must work together to transform society into a recycle-centered form. I am wishing to spread REVACS's activities and attitude as a fine example of how companies should operate.

Katagiri: Thank you very much. I see the importance of your taking part in the agricultural event. I felt that by raising awareness of the importance of agriculture and the natural environment, we can break a present situation and realize sustainable society.

Acceptance of Factory Visit

For REVACS, an important CSR activity is communicating with those who visit our factory. In FY 2009 alone, visits were made by 83 associations, including 453 persons. Except for 5 associations, none had business connections.

On August 6, 2009, Nishinomiya City teachers visited our facilities for outside training planned by the Nishinomiya City Board of Education. Training was held for teachers instructing their students about the environment in Nishinomiya City, which has been declared an "Environmental Learning City."



▲At class

JICA Training Program for Young Leaders

A Japan International Cooperation Agency (JICA) seminar was held by the Osaka City Environment Bureau. Trainees from Sao Paulo, Brazil, visited us on September 4, 2009, as part of JICA's training program for young leaders. Themes were how promote the 3Rs in Brazil and learning about environment education and social enlightenment. They toured our waste management facilities. We also introduced waste reduction, recycling and our CSR activities under a unified theme.



▲With all

Lectures

We had as many as six occasions of giving lectures in FY2009 as the table below.

Date	<u>5</u>	Lecture	Theme	Organizer
July 3, 20	009	Reducing waste cost Compliance with Food Recycling Law Duties of the beverage manufacturer SCM manager	Logistics supply chain Management +Retailing	Logistics Supply Chain Management +Retailing Association
October	2	Office learning	CSR activities	Our client
October	7	JICA training	ISO26000 meaning to a waste disposal company	Learning and Ecological Activities Foundation for Children (LEAF)
October	8	Improving management through energy saving	Energy saving	Nishinomiya Chamber of Commerce and Industry
Decemb 12	er	Beverage product recycling	Eco presentation	Eco-Products Exhibit 2009
January 2010	17,	Environment science/ business	REVACS Group business strategy and business model of	Waseda University Graduate School of Environment and Energy Engineering



▲JICA training

Community involvement and Development / Consumer issue

102

Lecture on Antisocial Powers

Due to the possibility of encountering antisocial forces through social communications, Mr. Ueda of the Sakura Law Office (refer to P.72) and our corporate lawyer held a seminar on "Antisocial forces defined" and "What REVACS must do for prevention.". About 30 persons, mainly REVACS office workers, attended. The seminar detailed concrete measures with examples.

Consumer Education

As an organization's social responsibility, an organization must educate consumers and work to improve the concerns. REVACS is doing so by providing environmental education to junior and senior high school students. We view it as an educational platform for future consumers.

Since 2008, we have presented environment classes to Kansai University Dai-Ichi Junior High School students each year. The school divides these classes into three steps – advanced, tours, and review. On Nov. 24, 2009, we give advanced classes to 252 second-year students. Who then visited our factory on Dec. 10.

In the advanced class, our client, Mr. Noda, of the Environment Promotion Section of Coca-Cola West Company, Limited, discussed "Waste problems in Japan and recycling empty bottles." CEO Akazawa then talked our beverage recycling system, "Where do beverages go after their sell-by date?" "When you buy something at the supermarket," he explained, "if you take the product nearest at hand, it becomes an environmentally friendly action."

On the factory tour, students saw actual operations discussed in advanced class, deepening their understanding of beverage recycling.

Exhibit in the "Eco-Products Exhibition 2009"

We exhibit our "Recycling service of beverage products", "Bio-Solid-Fuel" and "CSR activities through our main business" in "Eco-Products Exhibition 2009". And our recycling service of beverage products won the 6th Eco-Products Special Jury Award.

Exhibition Sponsored: Japan Environmental Management Association for Industry aggregate corporation, Nikkei Inc.









Environmental Education Interview



Mr.Takashi Onishi, Chief of School Affairs, Kansai University Dai-Ichi Junior High School

(Interviewer: Yun Yamanaka, internship student)

Yamanaka: Thank you for making time for me today. I' d like to ask you about your school' s environmental education and the study at REVACS.

Onishi: Our students don't have entrance examinations, so we teachers need a central focus for study over 3 years of overall environmental education, for third graders had already done environmental study at a school trip in Okinawa few years ago from then. Students' final aim -- not necessarily about environmental study -- is "Think by Act." Kansai University has the slogan "Think by Act," which means thinking autonomously, and acting both positively and yet with suitable self-restraint. We want our students to think and act this way. To give as much information as possible, we conducted advance study and post-study classes. So students could understand relationships not expected in society by accumulating different studies. We teachers hope they will work with things in which they are actually interested and can think and act on their own.

Yamanaka: Well, what do you do exactly in environmental education?

Onishi:Second graders studied about nature in Shinshu by actually communing with nature until last year. This year, they stayed at farmhouses in Wakayama Prefecture. They are taught directly by farmers about relationships between agriculture and nature, and current agriculture. Third graders took a school trip to Okinawa Prefecture to see mangroves or coral reefs, and studied about Ishigakijima and Iriomotejima ecology. From last year, students also did farm work with a group hoping to revive land no longer actively cultivated.

Yamanaka: I see. So total environmental education tied to a third grade school trip can be the start for students to act for themselves in the future, yes?

Can you tell me a little more about the role of study at REVACS?

Onishi:Study at REVACS is to study problems relating to our daily lives. Although second grade agriculture study and third grade Okinawa study are important, they are too worldly and difficult for students to link to their daily lives. When we think about what problem is close and easy for students to take action is, we came to the conclusion that we should think about garbage we produce every day. We asked REVACS to accept students' observation because of REVACS' uncommon system for separating plastic bottles and recycling contents into fuel is suitable for teaching. We also thought that students might unexpectedly discover something successive in the future.

Yamanaka: How did the students respond?

Onishi: An advanced study done by REVACS and Coca-Cola West was very easy to understand and shocked students very much. Students could find a realistic side linking the two companies – one making soft drinks and the other disposing of them, and of course, because it was the story about plastic bottles that students see and use every day. Students understood that we can reduce garbage by buying food closest to the sell-by date at a supermarket.

Yamanaka: When I watched that day's recording and pictures, I got the impression that students took notes enthusiastically and took an active part in observation. What was their impression after the study?

Onishi: I think that they participated actively thanks to a strong impression of advanced study. The most important thing they learned was that hearing is one thing and seeing through their own eyes is quite another. Students thought differently, for example, wondering how to change garbage into fuel, while others were shocked by how much was actually thrown out. Still others thought about what they could actually do, or others wondered how to practically separate bottles and contents. I think they really listened to explanations and observed things calmly and carefully.

Yamanaka: Thank you very much. The environmental education philosophy and school curriculum are admirable, I think.

And student's positive attitudes may be the result of environmental education and their teacher's devoted efforts. This is a good example of environmental education for both students and society.

Approaches to Proper Treatment

Web Camera

We set web cameras to can see our real-time factory, for confirm whether the appropriate treatment is done or not. 4 cameras are setting at follows.

①Over the truck scale at the entrance, and the others, ②The shredding plant, ③The opening of the shredding machine※ ④The drying plant.

*No.3 camera is protected by password, for prevent our customer's information



The truck scale at the entrance



▲@Shredding plant



▲③Shredding machine input (password-protected)



▲ ④ Drying plant

Prevention of the Outside-Contract Items

We depend being not only a juridical article but also on whether processing is possible, and are asking the customer for discretion. If a thing unlike a prior contract is mixed, it is difficult to treatment proper. And if it is dangerous waste, there is a possibility that it causes the accident and a fire.

When they are mixed, suddenly we announce to clients and consider the measures not to relapse. We post a notice that can't be put in on the container which set at the customer's site.



▲Notice on the container

Prevention of Overloading

To prevent overloading, we collect measurement data on a customer basis. Whenever we find overloading, we inform customers to keep the maximum loading capacity. As for the waste sent out of our facility, we check the capacity of our fleet beforehand. After checking and adjusting its volume, we load the waste on the truck.

Environment

Management of the Manifest

Preparation of the 'Manifest' (a management form) and the "Contract" are required for the transportation and disposal of industrial waste. We promote to prepare and duly control the Manifest and conclude the contract beforehand. We control 'Manifest' by registration, so we can send smoothly. By the request, we can use the 'Electric-Manifest'. (Subscriber number / Collection transportation: 2005941, Disposal : 3005863)

Stakeholder's Voice

Mr. Naohiro Kuroki

Director, SCM Division LB Co., Ltd.

Corporate Information Company: LB Co., Ltd. Representative: Seiya Kuroki, CEO Founded: Aug. 18, 1972 Paid-in Capital: 490 million yen Employees: December 22, 1956 Annual Sales: 7.9 billion yen as of December 2009

Business lines: Beverages, Juice, Milk-Based Drinks, etc. Shareholders: Asahi Breweries, Ltd., CBC Co., Ltd.

Foods manufacturers must both provide safety and a sense of security in their products and be environmentally friendly in these years. These responsibilities are our minimum level of social responsibility. It is how more important that manufacturers reduce waste than prepare waste disposal – something not only for foods manufacturers but common to all businesses.

Several years ago, I received an email from REVACS, which impressed me with its passion for recycling, leading me to visit the REVACS factory. REVACS clearly complied with the law and acted based on a management principle and management plan, including transparent business based on information disclosure.

As the proverb goes, "Business is people," And the passion of the person is right connected directly with company activity. Sometimes we had problems caused after business deals, so we visited REVACS for confirmation. No complaint and accident is the best situation, but accidents always happened in blind spots. REVACS invariably investigated causes quickly and took timely long-term measures adequately.

We look forward to working with REVACS through food manufacturing safety, providing a sense of security, and being environment-friendly.



Stakeholder's Voice



Mr. Fumitaka Hatakeyama CEO, Daiju Corporation

We first learned of REVACS at a party held by a main bank. We were going to concentrate our efforts on reverse logistics, so we wished to deal with REVACS. Our primary business is in beverage manufacturing, transporting materials and storing manufactured products, so we wished to work in reverse logistics. The last 2 years have been spent doing business with REVACS by matching the needs of both firms. The number of clients has greatly increased, thanks, I suppose, to REVACS' s sales force.

I consider REVACS' s sales force as follows:

- •REVACS' s value chain is wide drink storage, separating system, shredding and drying as fuel in one place.
- •The recycling cost is more reasonable than incineration.
- •REVACS' trustworthiness is based on proper treatment -- setting the web camera, verification of affiliates, management of the 'Manifest' and contact, installing the electric manifest
- •Sales personnel have high potential.

And so on.

I heard that when our sales person accompanied with REVACS's, he felt that REVACS's sales person had a lot of skills to present about themselves. Now, we are transporting waste from generator to REVACS in Kansai area by your request. We appreciate to you when we introduce a client to REVACS, we can make trustworthy from them.

In these 2 years, the number of clients, waste generator, was increased satisfactorily and I' d like to approach more deeply contributing to society with REVACS. I wish you are running as the leading company in the industry, with all my heart.

Corporate Information

Company: Daiju Corporation Representative: Fumitaka Hatakeyama, CEO Founded: April, 1947 Paid-in Capital: 10 million yen Employees: 78 as of April 2010 Annual Sales: 5.2 billion yen as of December 2009 Major Business Activities: Freightage, warehousing, trunk room service Group Companies:

Daiju Logistics Ltd., Kohno Traffic Co.,Ltd., Daiju Bus Co.,Ltd., Kohno Taxi Ltd., Kainan Foods Co., Ltd., Momoyama Foods Co., Ltd.



Human rights / Labor practices

Complaints and Accidents

Following is a report on complaints and accidents in the five years from fiscal 2005 to fiscal 2009. Appropriate measures were taken immediately in each of the 24 reported in fiscal 2009, detailed in the table below.

Complaints and accidents in FY2009

8 complaints

Description	Cause	Response
Offensive odor from recycling center	An urgent trouble by the heat exchanger confinement of the deodorization burner apparatus occurred, and a offensive odor has appeared outside	The cleaning of the heat exchanger is executed once every two weeks, for don't blockade
	The atmosphere smell in a dry plant has gone out outside while washing the neutralization facilities.	Explained the state of plant regular maintenance, and made the neutralization facility maintenance top priority.
	Leaked a offensive odor by decreasing the absorption power of waste water treatment facilities adjustment tank	Added a blower to the adjustment tank, for improve the absorption power
	The sludge accumulated in the rainwater drain	Clean up the drain .We added the procedure to cleaning there once a month after then
	The cause of the offensive odor was the smell of the neutralizer which treated a offensive odor	We invited him in our recycling center and explained that it was the smell of the neutralizer which treated a offensive odor and had him understand
Offensive odor from Reverse Management Center	Washing the vehicle load bed after sludge discharge at the Reverse Management Center several meters away from the factory	Change the procedure for washing the vehicle load bed after sludge discharge at the Recycling Center.
Driving is poor at the customer's site	Driver instruction insufficient	We shared this information and worked to improve driver manners.
Guard's stop instructions when leaving the customer's site	Following the vehicle went ahead, and could not noticed the guard	We asked the group company consigning collection to share this information and work to improve safety awareness.

2 environmental accidents

Description	Cause	Response
Waste leakage from container at	Welding crack due to container aging	The crack was repaired. All vehicle are provided
customer site		with sheets to protect against leakage.
	Deterioration in rubber leak-proofing	Change the rubber to more ticker and
	packing	add a screwdriver

4 personnel injuries

Description	Cause	Response
Scaled by hot water leaked from a high pressure warm water washing machine for washing plant	Risk assessment not done due to rental equipment	Change the procedure for risk assessment before renting equipment.
Bone in right arm broken on a frozen slope	Working wearing ordinary boots	Provide all drivers with nonslip boots for frozen roads.
Fall in underground tank at other disposal site	Tried to open back door using hands only	Provide all vehicles with a bow for opening the back door alone.
Bone broken in slip on office stairs	Climbing unlit stairs	Share information at the section meeting.

10 accidents involving damage only

Description	Cause	Response
Crashing a box using a forklift at the recycling center	Working without confirming safety	Share information at the section meeting.
Bumping a car at another disposal site facility	Backyard weighs on mind	Share information on danger spots at the section meeting.
Breaking a customer's forklift on site	Working without safety awareness	Share information at the section meeting.
Breaking a gutter cover when setting down a container at a customer site	Not noticing the cover had slid	Put a rubber to protect the cover.
Breaking a customer's waste yard shutter	No awareness of surroundings	Share information on danger points.
Hitting a vehicle from behind	Carelessness of the other party	Share information at the section meeting.
Bumping a guardrail with a car	Driving without safety awareness	Share information at the section meeting.
Breaking a customer's curtain rail while using industrial machinery	Spread of fine-particle was from load clouding the view	Sprinkle area with water before loading this type of waste. Put a cover to keep the view
Breaking a tank while discharging sludge	Other worker's instructions unclear in vehicle's forward/backward	Differentiate vehicle size by lines on pavement and tell individual drivers.
Bumping into a vehicle with a forklift	Speeding in narrow areas of the warehouse	Drawing lines on pavement for forklifts and divided them from places for loads.

Complaints and accidents in FY2008

3 complaints

Description	Response
A complaint of employee's driving manners from a person.	We explained driving manners to drivers to prevent recurrence.
Odor from product room of Recycling Center	We blocked a product room vent to prevented the leakage by the wind
Reporting from Nishinomiya City on a complaint of odor from a person	We made a rule to not work while the shutter was open.

2 environmental accidents

Description	Response
Medical industrial waste was mixed in plastic waste	We asked the transport company to take preventive measures and confirmed them.
Liquid waste leaked from container	We added confirmation points of the un-useful container checking before leaves.

1 person injury

Description	Response
Broken the left arm when slipped and fell on site	We could not specify the cause and shared information about this injury.

11 damage only accidents

Description	Response
Our truck hitting a car from behind	We shared accident details at the section meeting.
Truck entering a site without permission, bumping into a pole	We changed the procedure to not enter a disposal site before getting a permission
Shutter crushed when a box was moved	We shared information at the section meeting.
Fence broken while a box was being moved by a forklift	We installed wheels on boxes to decrease time for forklift use.
A light broken at the client's container yard	We could not specify the cause, so we changed the rules to require a client's presence.
High-pressure vacuum fender crushed while a forklift was being driven	We shared accident details at the section meeting.

Left back light of high-pressure vacuum broken by industrial machine	We shared accident details at the section meeting.
Container knocked while a vehicle was backing	We forbade driving the same type of vehicle.
Steel plate was turned up while a container was changed	We shared accident details and reinstructed section member to obey guidance.
Eave trough crushed by a backing truck	We shared accident details at the section meeting.
Eave trough crushed when a container was set	We shared accident details at the section meeting.

Complaints and accidents in FY2007

4 complaints

Description	Response
The final disposer on manifest E	The format was revised to check the final waste disposers.
Factory's address on manifest E	We confirmed the community integration had caused this change. We requested the waste disposer to give notice when the permit changes in future.
Employee's driving manner	After an investigation, the driving manners were comprehended to prevent recurrences.
Odor from the vacuum	The cause of a bad smell was steam from the vacuum. We made sure that we discharged the steam after going through the deodorizer.

3 environmental accidents

Description	Response
Excess of water quality standard	pH controlling facility was installed.
Oil leakage at the disposal site	We made sure that we use the drum after checking its condition. This was added to the manual and everyone understood it.
Small fire in the drying plant	We took action to prevent similar accidents in future with reequipping and adding procedures. Our preventive measures were submitted to Nishinomiya-city.

1 personnel injury

Description	Response
Stepped on a nail	We made sure that we use protective shoes or iron inner sole which prevent running a nail.

2 accidents involving damage only

Description	Response
Impact accident with car behind	Re-routing. We made sure that we detour the road to enter the disposal site without changing in direction.
Collapse of the waste while transporting	Alternative car and cleaners were sent. We took action to prevent similar accidents in future with setting the clamps and the manual of preventing the

Complaints and accidents in FY2006 *Basis environment only before FY 2006

*Basis environment only before FY 2000

Description	Response
Drop of the sludge at the collection site	Added the manual a checking process of pointing a finger
Irritating odor and smoke at the disposal site	The transport company and the waste generator went through measures and responses.
Leakage at the disposal site	Added the manual a checking process of pointing a finger.
Transport to the unconfirmed disposer	It is decided to have a daily meeting so that all the people involved confirm the schedule and disposal site.
Mingled waste	Posted a notice on the container and checked the contents in the container at throwing in.
Bad smell from the container	A measure was set for the future to check the stain and smell of the containers before delivery.
Loss of manifests	We improved the method to return a manifest when our group company transports the waste.
Fire breakout at disposal site	The cause of the fire was gasoline of a motorcycle. All employees were made to comprehend the procedure to collect gasoline prior to discharge of such waste.

Complaints and accidents in FY2005

Description	Response
Accident during a pit cleaning	Making up of the work instruction requesting preoperational monitoring of pH value and oxygen concentration etc., was adopted in the manual.
Loss of a manifest	Driver' s signing on a receipt upon receiving a manifest was obligated.
Leakage in the disposal site	Thorough instruction was given to carry out the packing of container without fail.
Scatter on the road in a disposal site	To prevent the similar incidents, the condition of driving in the disposal site was confirmed at the meeting.

Proposal from Third Party Committee

[The members of Third Party Committee]



Academic Dr. Kentaroh Azuma Associate professor, Faculty

of Business Administration, Ritsumeikan University



Lawyer Ms. Yoko Hiyama Representative Lawyer, Legal Profession Corporation Ethos Green



Industrial business Ms. Mari Tabata

Manager, CSR Office CSR & Environment Dep., Osaka Gas Co.,Ltd.



Industrial business Mr. Masashi Noda

Senior Manger, Environmental Control Office, Production Headquarters, Production Innovation Office, Otsuka Chemical Co.,Ltd.



Worker Keisuke Inatomi Executive Chairman, REVACS Labor Union



Facilitator Ms. Eriko Nashioka

Director, Institute for Environmental Management Accounting The Third Party Committee was held on July 27, 2010. It is a significant occasion for us to have our activities evaluated by the stake holders and to hear relevant suggestions from them.



<Summary>

It is safe to say that REVACS' s business is Corporate Social Responsibility (CSR) itself in that it is on the front line of environmental issues providing infrastructure for construction of recycle-oriented society.

Your business that produces Bio-Solid-Fuel seems to have equivalent value to the other environmental businesses which engage in generation of new energies using solar photovoltaic or wind power generators.

In the next phase, we suggest that you clearly define your position in the recycle-oriented society and improve the value of corporate brand through commercialization of Bio-Solid-Fuel.

Among business reports commonly published by many major corporations, that of REVACS's stands out with its informative contents.

The fact that the reports are planned and completed by your own staff shows that your CSR management policy is well understood by the employees.

We expect the company to run the business taking in our recommendation and to keep transmitting your message toward the realization of sustainable society.

1. CSR in primary business (active CSR)

The future of REVACS is clearly stated in your corporate vision: 'After processing the waste, we strive to supply the marketplace with resources produced using processed waste.'

REVACS has achieved high recycling rate. It is not a mere waste disposer anymore, but an infrastructure to support recycle-oriented society. Reuse or recycle of the waste as much as possible has become a requirement of the society. REVACS is an indispensable entity in recycle-oriented society, as it brings value to the wastes and returns them to the society as new resources. We would like you to clearly define your position in a recycle-oriented society and appeal it by all means.

In addition, we suggest that you will express



intelligibly the course how the wastes are treated and turned into resources such as fertilizer or fuels and how they are utilized in the society.



2. To improve the brand value

We expect that bio-solid-fuel (BSF), which is produced by REVACS, be commercialized and get on the market in the next phase. Several problems are to be solved before BSF is sold. Especially, it is important to clarify what value to be added.



As for bases of BSF's added value, we can count on its traceability (a fuel of traceable original substance) and a favorable market environment which finds added values in the organically processed commodities.

As for the use of BSF, we suggest REVACS should be focused on the reduction of CO₂ in the local companies rather than in the big companies elsewhere where only several percent of reduction is expected.

Tying up with a company who can share the same added value can make a prospective starting point for you.

Though a big sales profit may not be expected by commercializing this product, but we would like to strongly suggest that REVACS actively materialize this project, which will add to the history of your business and provide further value with your corporate brand.

BSF has an advantage of being 'carbon-neutral', and it is exempted from the CO₂ emission measurement. Why not actively appeal the fact? For example, you may put it in this way: "Using 1 ton of BSF you can reduce such and such ton of CO₂ emission!" and "REVACS contributes to the society in this way".

Proposal from Third Party Committee

3. Corporate Governance

The company supporting social infrastructure tends to take its usual business operation is equal to CSR itself. However, real CSR seems to be consisted of two elements. The first is 'compliance' which requires compliance with laws and regulations, and second, 'voluntary activities' which can be enriched according to the corporate efforts. When a company can adequately appeal what voluntary efforts it has done beyond the mere compliance, it will be fully acknowledged by the society as a company that tackles CSR issues.

In the report, description on conditions of corporate governance and other business infrastructure was not full enough. The reliability of the company will be better appealed if you actively transmit information on compliance or corporate governance. We look forward to your effort with this matter.

Safety and sense of security is an essential requirement for so called in vein industry. REVACS creates sense of security through positive information disclosure and seeks to secure safety through acquisition of integrated management system of ISO14001 and OHSAS18001 certification, which is unusual in the vein industry. CEO's philosophy which goes 'Employees should not become unhappy in the workplace or the resources of their happiness' seems to have resulted in substantial integrated management system of the company.

More noteworthy is that REVACS, which recycles wastes into compost, is positively involved in the agricultural scene by sponsoring food and agricultural education classes or holding agricultural events.

4. Issued CSR Report

We were impressed by the fact that a smallsized company is making such quality reports through its own resources. It must be a proof of well-managed in-house information sharing. It seems that the consciousness of CSR comes to be infiltrated in all employees while they participate in the publication of the report It is good that the report contains voices of various in-house and outside stake holders. Present issue carries a report of the interview by internship students, which added a new and unique concept to the report. We think this kind of article is only possible where in-house staff is concerned from planning to publishing.

5. Suggestions and modifications with the report (O: revised or corrected upon suggestion, *:to be carried over to next issue)

- 1) Include a description about the company name change (O)
- 2) Include a system chart of corporate governance (O)
- 3) Describe specific results of annual check of law compliance (O)
- 4) Numerical data, such as material balance, needs to be accompanied by easy-to-understand comparison with the previous year's results. (O)
- 5) Positive description of 'Diesel Consumption' is recommended, because it is related to increase in sales. (O)
- 6) Describe REVACS's history to show changes over the past years (*)
- 7) Use the latest CSR words, such as "Work-Life Balance" (*)
- 8) Describe the course of recycled wastes by specifically showing their usage. (*)
- 9) Feature the year's highlights in easy-to-understand style. (*)
- 10) Explain your business is clearing the cancellation of external diseconomy by using "Environmental accounting" (*)



• Upon the suggestion of Third-party Committee



We appreciate all committee members for fruitful discussions.

FY2009 was the third year of the drying plant operation. We poured our efforts on improving the plant's operation rate and securing the profit in total business. As a results, operation rate has increased to annual 85.5%, and operating profit ended in the black. to ensure a stable operation. Regrettably, we could not yet commercialize the Bio Solid Fuel affected by the slumping economy etc.

At the same time, we have several points yet to be improved, as have been pointed out, in analyzing or reviewing the management plan or business operation, e.g. lack of data-based sufficient quantitative evaluation. We are considering these matters in current year continuously.

We are determined to provide the consumers as well as the clients with such opportunities as they can be exposed to the present status of waste treatment and think about their life as consumers through our transparent business operation and disclosing efforts. In our operation, we continue our efforts to reduce environmental load and to improve energy efficiency. We regard the business's CSR (Corporate Social Responsibility) is not what absolves us from the responsibility for negative effect or environmental load caused by the business activity, but it is a requirement for the business to objectively show the stance of contribution to the society through its primary business. We believe CSR rests in 'the very effort itself made in pursuit of sustainability of the businesses'.

We are going to have the partners and stakeholders understand through our positive communication and other various activities.

Member of REVACS



Kenichi Akazawa, CEO



Masato Akazawa, Executive Vice President, Director of Recycling Center



Masatoshi Shinoda, Director of Management Division



Kazuyuki Haraguchi, Director of Sales Division



Takashi Itoh, Manager of Corporate Planning Section



Satomi Hirai, Manager of Accountant Section

GRI Content Index

	Indicator	Pages
1. 1	nd Analysis Statement from CEO	P.61
1. 2 2 Organizati	Description of key impacts, risks, and opportunities ional Profile	P.61
2. 1	Name of the organization.	P.59
2.2	Primary brands, products, and/or services	P.59
2.3 2.4	Operational structure of the organization Location of organization's headquarters	P.59
2.5	Countries	P.59
2.6	Nature of ownership and legal form	SN
2.7 2.8	Markets served	P.59 P.59
2. 0	Scale of the reporting organization Significant changes during the reporting period	P.61
2. 10	Awards received in the reporting period	P.60
3 Report Pa		
Report Prot 3_1	Reporting period	P.59
3_2	Date of most recent previous report	P.59
3_3	Reporting cycle	P.59
3_4 Report Sco	Contact point for questions pe and Boundary	back cove
3_5	Process for defining report content	P.59
3_6	Boundary of the report	P.59
3_7 3_8	Specific limitations on the scope	P.59 NC
3 9	Basis for reporting on others Data measurement techniques	P.30
3_10	Explanation of the effect of any re-statements	NC
3_11	Significant changes from previous reporting	NC
GRI Conter 3 12	Table identifying the location	P.115
Assurance		F.115
3_13	Policy and current practice with external assurance	P.111~114
	e, Commitments, and Engagement	
Governance 4. 1	e Governance structure of the organization	P.70
4. 2	Indicate whether the Chair of the highest governance body is also an CEO	NC
4.3	Number of members of the highest governance body and/or non-executive members.	NC
4.4 4.5	Mechanisms to provide recommendations	<u>-</u>
4.5	Linkage between compensation and the organization's performance Evasion of conflict of interest problem	<u>=</u>
4.7	Method of deciding governance member	
4.8	Internally developed statements	P.66
4.9	Organization method of management Processes for evaluating the highest governance body	P.70~71 P.111~114
	ents to External Initiatives	F.111~114
4_11	Precautionary approach or principle	P.66
4_12 4_13	Subscribes or endorses initiatives	P.59
4 13	Memberships in associations	P.99
Stakeholde 4_14	r Engagement	P.65
Stakeholde 4_14 4_15	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage	P.65 —
Stakeholde 4_14 4_15 4_16	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement	— P.111~114
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_16 4_17	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns	-
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_16 4_17	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement	— P.111~114
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managem Economic	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns ent Approach and Performance Indicators on Management Approach	— P.111~114 P.114
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managem Economic	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managem Economic	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns ent Approach and Performance Indicators on Management Approach	— P.111~114 P.114
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic Disclosure Economic F	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns ent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators	P.111~114 P.114 P.69 P.66
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns ent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F Economic F	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value	P.111~114 P.114 P.69 P.66
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P Economic P	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns ent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managem Economic Disclosure Economic F Economic F	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government	 P.111~114 P.114 P.69 P.66 NC P.69
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic Disclosure Economic F Economic F ECONOMIC F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre:	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic Disclosure Economic F Economic F ECONOMIC F ECC ECC ECC ECC ECC ECC Market Pre:	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre- EC5 EC6 EC7 Indirect Eco	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management ommer Impacts	P111-114 P114 P69 P66 NC P69 P69 P69 NC NC NC NC NC
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_16 4_17 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC6 EC7 Indirect Ecc EC8	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management Dinexts Infrastructure investments and servicesfor public benefit	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P ECONOMIC P EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre- EC5 EC6 EC7 Indirect Eco	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management Onderstruer investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts	P111-114 P114 P69 P66 NC P69 P69 P69 NC NC NC NC NC
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P Economic P ECC EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC5 EC6 EC7 Indirect Eco EC9 Environment	r Engagement List of stakeholder List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Indicators on Management Approach Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Itel On Management Approach	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P ECONOMIC P ECONOMIC P ECC EC2 EC2 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environment	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tal On Management Approach Goals and Performance	P11-11- P114 P69 P69 P66 NC P69 P69 P69 NC NC NC NC NC NC NC P99 P69
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P ECONOMIC P ECC EC1 EC2 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environment	r Engagement List of stakeholder List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Indicators On Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management onomic Impacts Infirstructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tal	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P ECONOMIC P ECC EC1 EC2 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environment	r Engagement List of stakeholder List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P ECONOMIC P ECC EC1 EC2 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environment	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts nomagement Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmer	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tal on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managerr Economic P Economic P Economic P ECC EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC5 EC6 EC7 Indirect Eco EC9 Environment	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts nomagement Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmet Disclosure Materials EN1 EN1 EN2	r Engagement List of stakeholder List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Ital On Management Approach Goals and Performance Policy	P69 P69 P66 NC P69 P66 NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC P99 P69 P69 P73-74 P80 P70 P73-74
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_16 4_17 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC6 EC7 Indirect Ecc EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmet Disclosure Materials EN1 EN2 Energy	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tool Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information	P69 P69 P66 NC P69 P66 NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC P69 P69 P69 P69 P69 P73-74 P80 P70 P73-74 P.84 P.73-74
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managem Economic Disclosure Economic Disclosure Economic F ECO ECC ECC ECC ECC ECC ECC ECC	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption	
Stakeholde 4 14 4 15 4 15 4 16 4 17 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC6 EC7 Indirect Ecc EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmet Disclosure Materials EN1 EN2 Energy EN3 EN4 EN4 EN4 EN4 EN4 EN4 EN4 EN4	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tool Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information	P69 P69 P66 NC P69 P66 NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC P69 P69 P69 P69 P69 P73-74 P80 P70 P73-74 P.84 P.84 P.84 P.84 P.84 P.84 P.84
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managem Economic Disclosure Disclosure Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre- EC5 EC7 Indirect Ec6 EC9 Environmer Disclosure Materials EN1 EN1 EN2 Energy EN3 EN4 EN5 EN6	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management nomic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts total on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Avareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency	
Stakeholde 4 14 4 15 4 15 4 16 4 17 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmel Disclosure Materials EN1 EN2 EN3 EN4 EN4 EN5 EN5 EN6 EN7	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management onomic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tal on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Lenergy saved due to efficiency improvements.	P69 P69 P66 NC P69 P66 NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC P69 P69 P69 P69 P69 P73-74 P80 P70 P73-74 P.84 P.84 P.84 P.84 P.84 P.84 P.84
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Managem Economic Disclosure Disclosure Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre- EC5 EC7 Indirect Ec6 EC9 Environmer Disclosure Materials EN1 EN1 EN2 Energy EN3 EN4 EN5 EN6	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure and proportion of suppliers Local and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency. Amount of indirect energy reduction	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmet Disclosure Materials EN1 EN2 Energy EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 Water	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management nomic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts total on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Avareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency	P69 P69 P66 NC P69 P66 NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC NC P99 P69 P69 P69 P73-74 P80 P70 P73-74 P80 P70 P73-74 P84 P84 P84 P84 P84 P84
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 5 Managen Economic F Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmet Disclosure Materials EN1 EN2 Energy EN3 EN5 EN5 EN5 EN5 EN5 EN5 EN5 EN5	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management normic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_16 4_17 5 Managem Economic F Economic F E	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts total Monitoring and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Energy saved due to efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused	
Stakeholde 4 14 4 15 4 15 4 16 4 17 5 Managen Economic Disclosure Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmer Disclosure Materials EN1 EN2 EN3 EN4 EN3 EN4 EN5 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN9 EN8 EN9 EN8 EN9 EN1 EN8 EN9 EN1 EN1 EN2 EN4 EN5 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN9 EN1 EN1 EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN7 EN8 EN9 EN1 EN8 EN9 EN1 EN8 EN9 EN1 EN8 EN9 EN1 EN8 EN9 EN1 EN8 EN9 EN1 EN8 EN9 EN1 EN1 EN5 EN7 EN8 EN7 EN8 EN9 EN1 EN8 EN9 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1	r Engagement List of stakeholder List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Indicators On Management Approach Goals and Performance Indicators Pelicy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management onomic Impacts Infirastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Monitoring and Performance Policy Organizational responsibility Training and avareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source Volume of water recycled and reused // Property, and area with high biodiversity	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_16 4_17 5 Managem Economic F Economic F E	r Engagement List of stakeholder List of stakeholder List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Indicators On Management Approach Cost and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Policy Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management onmic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Monitoring and Performance Policy Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source Volume of water recycled and reused Property and area with high biodiversity Description of significant impacts on biodiversity Description of significant impacts on biodiversity	
Stakeholde 4 114 4 15 4 15 4 16 4 17 5 Managen Economic Disclosure Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmer Disclosure Materials EN1 EN2 EN3 EN4 EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN7 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN7 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN8 EN1 EN1 EN1 EN8 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management normic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tal on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused // Property and area with high biodiversity Description of significant impacts on biodiversity Habitats protected or restored Strategies, current actions, and future plans for managing	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic Disclosure Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmer Disclosure Disclosure Disclosure Disclosure Materials EN1 EN1 EN2 Energy EN3 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Pirect economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management Jormic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Monitoring and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused / Property and area with high biodiversity Description of significant impacts on biodiversity Habitais protected or restored Strategies, current actions, and future plans for managing Number of IUCN Red List	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic Disclosure Economic Disclosure Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC6 EC7 Indirect Ec6 EC7 Indirect Ec6 EC9 Environmer Disclosure Materials EN1 EN2 Energy EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and describing significant indirect economic impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tot on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused / Property and area with high biodiversity Description of significant impacts on biodiversity Habitats protected or restored Strategies, current actions, and future plans for managing Number of IUCN Red List Effluents, and Waste	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic Disclosure Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmer Disclosure Disclosure Disclosure Disclosure Materials EN1 EN1 EN2 Energy EN3 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management nomic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Monitoring and Performance Policy Organizational responsibility Training and Awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source. Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused // Property and area with high biodiversity Description of significant impacts on biodiversity Habitats protected or restored Strategies, current actions, and future plans for managing Number of IUCN Red List Effluents, and Waste Total greenhouse gas emissions by weight	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic Disclosure Disclosure Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC6 EC7 Indirect Ec6 EC7 Indirect Ec6 EC9 Environmer Disclosure Materials EN1 EN2 Energy EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach Management Approach Goals and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management onomic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tal on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Indirect energy consumption Indirect energy consumption Indirect energy consumption Total water withdrawal by source Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused / Property and area with high biodiversity Description of significant impacts on biodiversity Habitas protected or restored Strategies, current actions, and future plans for managing Number of IUCN Red List Effluents, and Waste Total greenhouse gas emissions and reductions achieved	
Stakeholde 4_14 4_15 4_16 4_17 5 Manager Economic Disclosure Economic F Economic F Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC7 Indirect Ecc EC8 EC9 Environmer Disclosure Materials EN1 EN2 EN3 EN4 EN5 EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN5 EN6 EN7 Water EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Indicators Policy Additional Contextual Information Performance Indicators Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management nomic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts Monitoring and Performance Policy Organizational responsibility Training and Avareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy consumption Energy saved due to efficiency improvements. Products with high energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source. Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused // Property and area with high biodiversity Description of significant impacts on biodiversity Habitats protected or restored Strategies, current actions, and future plans for managing Number of IUCN Red List Effluents, and Waste Total greenhouse gas emissions and reductions achieved Effuents, and Waste Total greenhouse gas emissions and reductions achieved Effuents, and Waste Total greenhouse gas emissions and reductions achieved Effusitives to reduce GHG emissions and reductions achieved Effusitives to reduce GHG emissions and reductions achieved Emissions of ozone-depleting substances by weight	
Stakeholde 4_14 4_15 4_15 4_16 4_17 5 Managen Economic Disclosure Economic Disclosure Economic F EC1 EC2 EC3 EC4 Market Pre: EC5 EC6 EC7 Indirect Ec6 EC7 Indirect Ec8 EC9 Environmer Disclosure Materials EN1 EN2 Energy EN3 EN4 EN5 EN6 EN7 Water EN8 EN7 Water EN8 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1 EN1	r Engagement List of stakeholder Basis for identification whom to engage Approaches to stakeholder engagement Responded to key topics and concerns nent Approach Management Approach Goals and Performance Indicators on Management Approach Goals and Performance Policy Additional Contextual Information Performance Direct economic value risks and opportunities due to climate change Coverage of the organization's defined benefit plan obligations Financial assistance from government Sence Range of ratios of standard entry level wage compared to local minimum Policy, practices, and proportion of suppliers Local hiring and proportion of suppliers Local hiring and proportion of senior management onomic Impacts Infrastructure investments and servicesfor public benefit Understanding and describing significant indirect economic impacts tor on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Materials used by weight or volume Recycled input materials Direct energy consumption Indirect energy efficiency Amount of indirect energy reduction Total water withdrawal by source Water sources affected by withdrawal of water Volume of water recycled and reused / Property and area with high biodiversity Habitas protected or restored Strategies, current actions, and future plans for managing Number of IUCN Red List Effluents, and Waste Total greenhouse gas emissions and reductions achieved	

	Indiantes.	Deres
EN23	Indicator Total number and volume of significant spills	Pages P.108~110
EN24 EN25	Weight of transported, imported, exported, or treated waste biodiversity value of water bodies	NC NC
Products an		NC
EN26 EN27	Initiatives to mitigate environmental impacts	P.85~86 P.83
Compliance	Recycling ratio of product etc	P.03
EN28	Monetary and total number of noncompliance	P.71
Transport EN29	Significant environmental impacts of transporting products	P.85
Overall	organicant environmental impacts of dataporting products	1.00
EN30. Social	Total environmental protection expenditures	-
	ices and Decent Work	
Disclosure of	on Management Approach	P.73 74
	Goals and Performance Policy	P.89
	Organizational responsibility	P.70
	Training and awareness Monitoring and Follow-Up	P.92 P.72
	Additional Contextual Information	P.73 74
Employmen LA1		P.59
LA2	Total workforce by each Total number and rate of employee turnover	P.95
LA3	Benefits provided to full-time employees	P.95
Labor/Mana LA4	gement Relations Percentage of employees covered	P.95
LA5	Minimum notice period(s) regarding operational changes	NC
Occupation LA6	al Health and Safety Percentage of total workforce represented in formal H&S committees	P.69
LA7	Rates of injury, occupational diseases, lost days, and absenteeism, and umberabsenteeism, and number	P.73 74
LA8	Education programs in place to assist workforce members	P.73 74
LA9 Training and	Health and safety topics covered in formal agreements	P.95
LA10	Average hours of training per year	
LA11 LA12	Programs for career development Percentage of employees receiving regular reviews.	P.93 NC
	 Percentage of employees receiving regular reviews. d Equal Opportunity 	
LA13	Composition of governance bodies according diversity	P.95
LA14 Human Righ	Ratio of basic salary of men to women by employee category.	_
	on Management Approach	
	Goals and Performance Policy	P.66
	Organizational responsibility	-
	Training and awareness	—
	Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information	P.72
	and Procurement Practices	
HR1 HR2	Percentage and total number of significant investment	
HR3	Percentage of significant suppliers that have undergone Total hours of employee training on policies	
Non-discrim	nination	
HR4	Total number of incidents of discrimination and actions taken.	
Freedom of		-
HR5	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom	
HR5 Child Labor	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom	
HR5 Child Labor HR6	Association and Collective Bargaining Core	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor ctices	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor ctices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights	-
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor critices Percentage of security personnel trained in the human rights	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor citices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people	-
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor inclices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant isk for incidents of forced or compulsory labor Core of the second s	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor octices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure o	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Core and the term of term of the term of the term of term of the term of the term of term	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor excices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Disclosure of Community S01 Corruption	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Corectices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Follow-Up Impact statement of business to community	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure o Community S01 Corruption S02	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Corpulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor control of the second	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents operations identified as having significant risk for incidents Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Core of the second	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor control operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Coreations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor control operations in the function of the forced or compulsory labor operations in the function of the forced or compulsory labor operations in the function of the forced or compulsory labor operations and Performance Policy Organizational responsibility Intraining and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of employees trained in organization's anti-comption policies and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Y	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents operations identified as having significant risk for incidents Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Core of the second	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Society Disclosure of Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor edices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility. Training and Avareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of engloyees trained in organization's anti-comption policies and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Y Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties etitive Behavior	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of orced or compulsory labor computed to the second s	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Society Disclosure of Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S03 S03 S03 S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor edices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of engloyees tained in organization's anti-comption policies and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Y Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties stitive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Corpations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor conserved to the second s	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor edices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of engloyees tained in organization's anti-comption policies and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Y Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties etitive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Corpations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor conserved to the process of the proces of the process of the process of the process of the proc	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor ctices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of employees trained in organization's ant-comption Percentage of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number sponsibility n Management Approach Monetary value of significant fines and total number sponsibility Monetary number of sponsibility Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number sponsibility Monetary value of significant fines and total number Sponsibility Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor Corpations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor conserved to the process of the proces of the process of the process of the process of the proc	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor consecutives Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of employees trained in organizations and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Public policy positions Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number possibility management Approach Monetary subue of significant fines and total number possibility Monetary subue of significant fines and total number possibility Monagement Approach Goals and Performance Public policy positions Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary subue of significant fines and total number possibility Monagement Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor ctices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of train organizations ant-comption polices and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Y Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties stitive Behavior Monagement Approach Goals and Performance Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of employees trained in organization's anti-comption polices and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Y Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties stitive Behavior Monatary value of significant fines and total number ponsibility Training and Aproach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information lealth and Safety	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor consecutives Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of employees trained in organization's ant-comption. Percentage of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number possibility on Management Approach Goals and Performance Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number possibility on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information leatth and Safety Percentage of significant products Total number of incidents of non-compliance	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of Compliance S08 Product Res Disclosure of Profuet Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of Prefixed Res Disclosure of Prefixed Res Discl	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor ctices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of train organizations anti-comption polices and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties stitive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number sponsibility Training and Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Monetary value of significant fines and total number sponsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information lealth and Safety Percentage of significant products Total number of incidents of non-compliance Service Labeling	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pra HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor compulsory Labor Operations dentified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor retices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of employees trained in organization s anti-comption policies and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Y Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number ponsibility on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational response to incidents of corruption. Y Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number ponsibility Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information teath and Safety Percentage of significant products Total number of incidents of non-compliance Service Labeling Type of product and service information	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of Disclosure of Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of PR1 PR1 PR2 Product and PR3 PR3 PR4 PR5	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor citices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of trained in organization's anti-comption policies and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Public policy positions Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monagement Approach Goals and Performance Protectage and total number of business units analyzed for risks related to comption. Percentage of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total value of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monagement Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility. Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information lealth and Safety Percentage of significant products Total number of incidents of non-compliance Service Labeling Type of product and service information Total number of incidents of non-compliance with regulations Practices related to customer satisfaction	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S03 S03 S03 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product and PR1 PR2 Product and PR3 PR4 PR5 Marketing C	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor compulsory Labor Operations dentified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor compulsory Labor Operations dentified as having significant risk for incidents of roced or compulsory labor computed to the provident of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of employees trained in organization's anti-comption policies and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties stitive Behavior Total value of significant fines and total number ponsibility Organizational responsibility Training and Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information eatth and Safety Percentage of significant products Total number of incidents of non-compliance Service Labeling Type of product and service information Total number of incidents of non-compliance with regulations Practices related to customer satisfaction Ommunications	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of Disclosure of Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of PR1 PR1 PR2 Product and PR3 PR3 PR4 PR5	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor control of the security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of enployees trained in organization's ant-comption. Percentage of enployees trained in organization's ant-comption policies and procedures. Actions taken in response to incidents of corruption. Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number ponsibility Organizational responsibility Training and Avareness Monitoring and Pellow-Up Public policy positions Total number of legal actions for anticompetitive behavior Monetary value of significant fines and total number ponsibility Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information ealth and Safety Percentage of significant products Total number of incidents of non-compliance Service Labeling Type of product and service information Total number of incidents of non-compliance with regulations Programs for adherence to marketing communications Programs for adherence to marketing communications	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S03 S03 Public Polic S05 S05 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product Res Disclosure of S08 Product and PR1 PR2 Pr6 Compliance S08 Product and PR3 PR4 PR5 Marketing C PR6 PR7 Customer P	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor compulsory Labor Operations dentified as having significant risk for incidents of forced or compulsory labor ctices Percentage of security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and Avareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of employees trained in organizations and corruption Percentage of employees trained in organizations and corruption Percentage of financial and in-kind contributions to political parties stitive Behavior Total value of financial and in-kind contributions to political parties stitive Behavior Monetary value of significant fines and total number ponsibility Organizational responsibility Training and Avareness Monitoring and Follow-Up Monetary value of significant fines and total number ponsibility Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information Eath and Safety Percentage of significant products Total number of incidents of non-compliance Service Labeling Type of product and service information Total number of incidents of non-compliance stafaction Ormunications Programs for adherence to marketing communications Programs for adherence to marketing communications Total number of incidents of non-compliance with regulations Trate number of incidents of non-compliance with regulations Programs for adherence to marketing communications Programs for incidents of non-compliance with regulations Total number of incidents of non-compliance with regulations Programs for adherence to marketing communicat	
HR5 Child Labor HR6 Forced and HR7 Security Pre HR8 Indigenous HR9 Society Disclosure of Community S01 Corruption S02 S03 S04 Public Polic S05 S06 Anti-Compe S07 Compliance S08 Product Res Disclosure of Disclosure of Pisclosure of Product Res Disclosure of Product Res Disclosure of Product Res Disclosure of Product Res Disclosure of Product Res Disclosure of PR1 PR2 Product and PR3 PR4 PR5 Marketing O PR6 PR7	Association and Collective Bargaining Core Operations identified in which the right to exercise freedom Operations identified as having significant risk for incidents Compulsory Labor Operations identified as having significant risk for incidents of roced or compulsory labor control of the security personnel trained in the human rights Rights Total number of incidents of violations involving rights of indigenous people on Management Approach Goals and Performance Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Impact statement of business to community Percentage of enployees trained in organization's ant-comption. Percentage of enployees trained in organization's ant-comption. Public policy positions Total value of financial and in-kind contributions to political parties titive Behavior Total number of significant fines and total number poposibility on Management Approach Goals and Performance Public policy positions Total number of significant fines and total number poposibility on Management Approach Goals and Performance Public policy positions Total number of significant fines and total number Policy Organizational responsibility Training and awareness Monitoring and Follow-Up Additional Contextual Information ealth and Safety Percentage of significant products Total number of incidents of non-compliance Service Labeling Type of product and service information Total number of incidents of non-compliance with regulations Practices related to customer satisfaction ommunications Programs for adherence to marketing communications Total number of incidents of non-compliance with regulations Practices related to customer satisfaction ommunications Programs for adherence to marketing communications Total number of incidents of non-compliance with regulations Practices related to customer satisfaction ommunications	

 $\mathsf{NC} \cdots \mathsf{Not} \ \mathsf{correspond}, - \cdots \mathsf{No} \ \mathsf{description}, \ \mathsf{in} \ \mathsf{HP} \cdots \mathsf{http://www.revacs.com}, \\ \mathsf{SN} \cdots \mathsf{http://www.sanpainet.or.jp} \ \mathsf{NC} \ \mathsf{NC} \cdots \mathsf{http://www.sanpainet.or.jp} \ \mathsf{NC} \ \mathsf{$

Summary of the questionnaire ('CSR Report 2009')

What is your overall impression of the report?

Thank you for returning your questionnaires with valuable comments about 'CSR Report 2009' issued October 2009. We are pleased to report the results as follows.

What information was impressive or interesting to you?



Editor's Notes

Thank you for reading this whole report. In editing this report, I have had great cooperation from everyone over the years. This year, many thanks go to the stakeholders who commented in "Voice from Stakeholders", the interviewees who responded so pleasantly, the designer who responded to so many requests and, needless to say, Third Committee members. As you know, we are nonprofessionals, and I am sure there are insufficient phrases and explanations. Any advice or comments you may have would be most deeply appreciated.

October 2010 **Riho Taniguchi** CSR Promotion Section, REVACS Corporation

お問い合わせ先

株式会社リヴァックス CSR推進室 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜2-1-16 TEL:0798-47-7626 FAX:0798-41-5680 E-mail:csr@revacs.com

本報告書は当社HP上でもご覧いただけます(PDF版) http://www.revacs.com/download.html

Contact information

REVACS Corporation 2-1-16, Naruo-hama, Nishinomiya-city, Hyogo, 663-8142 JAPAN TEL: +81-(0)798-47-7626 FAX: +81-(0)798-41-5680 E-mail:csr@revacs.com

This report is available on our website (PDF version) http://www.revacs.com /e-download.html







